

全学共通教養科目

(授業科目名 五十音順)

科目名	衣・食・住 I	前期	2 単位
サブタイトル	世界の食文化	メディア(講義)	
担当者	松本 衣代		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

多様な食文化の学習を通じて、異文化の生活習慣を理解し、柔軟に受けとめる姿勢を養うことを目標とする。自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

[授業概要]

【メディア授業】

食文化は基本的な生活文化であり、あまりにも身近で日常的であるがために、自らの食習慣や食に対する捉え方が当然のことであり普遍的なものであると思いがちである。この授業では、具体的な事例を通して異なる食文化の諸相を学びながら、自らの食文化を改めて内省し、比較対照によって自文化を相対化することを試みる。また、食文化の変容や受容の事例を通して、食文化が、実際には固定的なものでも不変のものでもないということ、生活文化としての食文化とは何かを学ぶ。授業はオムニバス形式とし、各分野の専門家を特別学外講師として招いて実施する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

毎回の授業の予習や復習や日頃から、世界の食部に関するニュース等に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]

I. アジア太平洋地域の食文化

①東アジアの食文化――

1. 日本の米食・肉食・魚食文化 (特別学外講師)
2. 韓国の食文化 (特別学外講師)

②東南アジアの食文化――フィリピン・ラオスを中心に

1. フィリピンの食文化 (特別学外講師)
2. ラオスの食文化 (特別学外講師)
3. ブータンの食文化 (特別学外講師)

③太平洋地域の食文化――ニューギニア島、ミクロネシア地域の食文化:

1. 根菜を主とする食文化
2. ニューギニア島の食文化

II. アフリカの食文化:

1. アフリカの食の特質 (特別学外講師)
2. 雑穀、バナナ、キャッサバ～作物の起源と伝播～ (特別学外講師)
3. アフリカ狩猟採集民の食 (特別学外講師)

III. 欧米の食文化:

1. アメリカの食文化(特別学外講師)
2. 欧州の食文化(特別学外講師)

IV. まとめ

1. 世界から見た日本食

科目名	衣・食・住 I	前期	2 単位
サブタイトル	世界の食文化	メディア(講義)	
担当者	松本 衣代		
<p>[成績評価方法] レポート(70%), 授業中の課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは後日添削後, 返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容 : 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 随時配布資料</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	衣・食・住Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	食の楽しみと健康	講義	
担当者	本田 まり、佐藤 誓子、松本 衣代、吉川 豊、木村 大輔		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	参加体験型授業	実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の楽しみやおいしさは、味覚だけでなく様々な感覚や心身状態の影響を受けることを理解している。 ・食の楽しみは、子どもから高齢者、傷病者などすべてにおいて重要であることを理解している。 <p>[授業概要]</p> <p>人は必要な栄養素を食べ物で摂取することで生命を維持している。また、バランスよく栄養素を摂取することが健康のために重要であることが諸研究で明らかにされてきた。さらに食は「何を、誰とどのように食べるか」によって、栄養成分で得られる以上の健康と豊かさを与えてくれる。本講義では、それぞれの分野で実務経験を有する講師がオムニバス形式により、専門的観点から「食の楽しみと健康」について講述し、「どのように食べるか」について考えていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日頃から授業に関するニュース等に関心をもち、予習復習を合わせて4時間程度の自己学習に努めてください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、食の楽しみと食育 (健康スポーツ栄養学科 本田まり) 2. 乳幼児の食の楽しみと食育(健康スポーツ栄養学科 本田まり) 3. 糖質、脂質、たんぱく質の消化と吸収1 (健康スポーツ栄養学科 木村大輔) 4. 糖質、脂質、たんぱく質の消化と吸収1 (健康スポーツ栄養学科 木村大輔) 5. 嗅覚:匂いの化学 (健康スポーツ栄養学科 吉川豊) 6. 視覚:美味しさと見た目 (リジェネカフェオーナー 佐伯志保里) 7. 味覚①:食べるを楽しむ (健康スポーツ栄養学科 佐藤誓子) 8. 味覚②美味しさを感じる仕組み(健康スポーツ栄養学科 松本衣代) 9. 触覚:テクスチャーと味 (大和製衡株式会社 岡部修一) 10. 味覚③味覚テスト (健康スポーツ栄養学科 松本衣代) 11. 食物アレルギーの子どもの食の楽しみと健康(一般社団法人LFA Japan代表 大森真友子) 12. 高齢者、傷病者の食の楽しみと健康 (健康スポーツ栄養学科 本田まり) 13. テスト、まとめ (健康スポーツ栄養学科 本田まり) 			

科目名	衣・食・住Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	食の楽しみと健康	講義	
担当者	本田 まり、佐藤 誓子、松本 衣代、吉川 豊、木村 大輔		
<p>[成績評価方法] レポート60%、テスト20%、授業への取組20%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポートは、代表者の授業の際に口頭でフィードバックする予定です。 ・テストは、テスト終了後に解説をします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：レポート、小テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	イタリア語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉富 文		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] イタリア語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。</p> <p>[授業概要] この授業では、旅先やイタリア人スタッフのいるレストランなどでのちょっとしたコミュニケーションをイタリア語でできるようになることを目指して、イタリア語の初歩を学習します。 挨拶やアルファベットの発音から始め、基本的な文法事項を学習し、得た文法知識を応用させて、簡単な会話へと発展させていきます。 英語が苦手な人も大丈夫。みんなゼロからのスタートです。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習復習合わせて2時間程度です。 授業で学習した内容をふり返り、本当に理解できているか確認しましょう。 教科書に出てきた単語や表現の意味や使い方を単語帳やノートにまとめましょう。 授業で指示された練習問題に取り組みましょう。</p> <p>[授業計画] 1. イタリアについて 2. イタリア語の挨拶とアルファベット 3. カフェで注文する(名詞と冠詞) 4. 居場所や出身地を言う(文の語順、動詞essere)1 5. 居場所や出身地を言う(文の語順、動詞essere)2 6. 食べ物の味を言う(形容詞1) 7. 身に付けている物の色を説明する(形容詞2) 8. 自分の持ち物や年齢を言う(動詞avere、0~20の数) 9. 何を買うか言う・住んでいる所、働いている所を言う(-are動詞規則活用)1 10. 何を買うか言う・住んでいる所、働いている所を言う(-are動詞規則活用)2 11. 行き先を言う・今夜の予定について話す・職業を言う(-are動詞不規則活用)1 12. 行き先を言う・今夜の予定について話す・職業を言う(-are動詞不規則活用)2 13. まとめ、名詞・冠詞・形容詞・essere・avere・-are動詞についての解説</p>			

科目名	イタリア語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉富 文		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、受講態度(40%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 答案用紙を回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：試験(60%)、受講態度(40%)で評価します。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：試験(60%)、受講態度(40%)で評価します。</p> <p>[教科書(ISBN)] Italiano Italianoーイタリア語はじめの一步ー 著者名：マッテオ・カスターニャ、吉富 文著 出版社：朝日出版社 (978-4-255-55314-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	イタリア語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉富 文		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

よく使われる文や表現が理解でき、自分の身の回りについて表現できたり現地での買い物などで簡単なやり取りができたりするレベルを目指す。

[授業概要]

前期の学習でイタリア語の音や文法に慣れてきたことと思います。

後期は前期に引き続き、文法事項を学習しながら会話によるコミュニケーションへとつなげていきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業について予習復習合わせて2時間程度です。

授業で学習した内容をふり返り、本当に理解できているか確認しましょう。

教科書に出てきた単語や表現の意味や使い方を単語帳やノートにまとめましょう。

授業で指示する課題に取り組みましょう。

[授業計画]

1. 前期のおさらい
2. 食べたい物、飲みたい物を言う(-ere動詞規則活用1)
3. 余暇について話す(-ere動詞規則活用2)
4. 何を飲むか言う(-ere動詞不規則活用1)
5. 情報を尋ねる(-ere動詞不規則活用2)
6. 好みを言う(-ire動詞規則活用1)
7. バカンスの予定を話す(-ire動詞規則活用2)
8. いつ、何をするか言う(-ire動詞不規則活用1)
9. 今夜の予定を言う(-ire動詞不規則活用2)
10. カフェで注文する(名詞・定冠詞・形容詞の複数形)
11. 時刻を言う・20~100までの数
12. しなければならないことを言う(補助動詞)
13. まとめ、-ere動詞・-ire動詞・補助動詞・名詞、定冠詞、形容詞の複数形について解説

科目名	イタリア語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉富 文		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、受講態度(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 答案を回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：試験(60%)、受講態度(40%)で評価します。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：試験(60%)、受講態度(40%)で評価します。</p> <p>[教科書(ISBN)] Italiano Italianoーイタリア語はじめの一步ー 著者名：マッテオ・カスターニャ、吉富 文著 出版社：朝日出版社 (978-4-255-55314-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 優大		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. classroom activities (based on Chapter 1) 3. classroom activities (based on Chapter 1) 4. classroom activities (based on Chapter 2) 5. classroom activities (based on Chapter 2) 6. classroom activities (based on Chapter 3) 7. classroom activities (based on Chapter 3) 8. classroom activities (based on Chapter 4) 9. classroom activities (based on Chapter 4) 10. classroom activities (based on Chapter 5) 11. classroom activities (based on Chapter 5) 12. classroom activities (based on Chapter 6) 13. classroom activities (based on Chapter 6)</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 優大		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Keynote 2 著者名: David Bohlke 出版社: CENGAGE Learning (978-1-305-96504-1)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ニコラス レノ、T. ジョン		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] Lesson 1, Course Introduction, orientation; introducing ourselves; Conversation 4: Today Lesson 2, Conversation 5: Your Day Lesson 3, Unit Test Lesson 4, Focus 1: Do you like celery? Lesson 5, Conversation 8: Food You Like Lesson 6, Unit Test Lesson 7, Focus 2: What did you do in Europe? Lesson 8, Conversation 2: Past Trips Lesson 9, Unit Test Lesson 10, Conversation 3: Around the City Lesson 11, Focus 3: What's a nice place to see the fall leaves? Lesson 12, Unit Test Lesson 13, Review and Final Test</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ニコラス レノ、T. ジョン		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Feedback and explanations for the assignments will be given during class.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Challenger α1 著者名:ECC 出版社:ECC</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 基礎的な英文を理解する能力を養い、自立して英語力を向上させる足がかりとする。</p> <p>[授業概要] 古今東西から集積された大小様々な《糸》によって折り合わせた《織物》(texture)とも言うべき、『ハリー・ポッター』という名の《テキスト》(text)を丁寧に《紐解く》</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 該当箇所の精読(少なくとも、各授業の初めに行なう小テストの準備)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Ch. 1 3. Ch. 2 & 3 4. Ch. 4 5. Ch. 5 6. Ch. 6 7. Ch. 7 & 8 8. Ch. 9 & 10 9. Ch. 11 & 12 10. Ch. 13 & 14 11. Ch. 15 & 16 12. Ch. 17 13. 半期のまとめ(テスト) 			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
<p>[成績評価方法] [1] 授業内課題50点 [2] 期末テスト50点</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・授業内課題・小テスト→個別に返却 ・期末テスト→manabaで一斉返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] Harry Potter and the Philosopher's Stone. 著者名: J. K. Rowling 出版社: Bloomsbury (9.78E+12)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業内で紹介</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	桂山 康司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.			
[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.			
[授業計画] 『はじめてのアカデミックライティング』を用いて、アカデミックライティングを行う上での基礎力を身に付ける。同時に、プリントを用いて英文和訳の訓練を行うことを通じて、自然な英文とはどのようなものかについての理解を深める。 1. 導入。自然な英文とはどのようなものかについての解説を行う。和文英訳問題プリントを配布。 2. 『アカデミックライティング』UNIT 1, Lesson 1に対する解答並びに解説。和文英訳問題プリントにある第1回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導する。 3. 『アカデミックライティング』UNIT 1, Lesson 2に対する解答並びに解説。和文英訳問題プリントにある第2回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導する。 4. 『アカデミックライティング』UNIT 2, Lesson 1に対する解答並びに解説。和文英訳問題プリントにある第3回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導する。 5. 『アカデミックライティング』UNIT 2, Lesson 2に対する解答並びに解説。和文英訳問題プリントにある第4回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導する。 6. 『アカデミックライティング』UNIT 3, Lesson 1に対する解答並びに解説。和文英訳問題プリントにある第5回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導する。 7. 『アカデミックライティング』UNIT 3, Lesson 2に対する解答並びに解説。和文英訳問題プリントにある第6回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導する。 8. 『アカデミックライティング』UNIT 4, Lesson 1に対する解答並びに解説。和文英訳問題プリントにある第7回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導する。 9. 『アカデミックライティング』UNIT 4, Lesson 2に対する解答並びに解説。和文英訳問題プリントにある第8回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導する。 10. 『アカデミックライティング』UNIT 5, Lesson 1に対する解答並びに解説。和文英訳問題プリントにある第9回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導する。 11. 『アカデミックライティング』UNIT 5, Lesson 2に対する解答並びに解説。和文英訳問題プリントにある第10回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導する。 12. アカデミックイングリッシュの特徴についての補足説明を行います。 13. 理解度確認テスト並びにその解説。			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	桂山 康司		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>[教科書(ISBN)] 『はじめてのアカデミックライティング』 著者名: 田地野彰監修 出版社: 朝日出版社 (978-4-255-15648-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. classroom activities (based on textbook chapter 1) 3. classroom activities (based on textbook chapter 1) 4. classroom activities (based on textbook chapter 2) 5. classroom activities (based on textbook chapter 2) 6. classroom presentations (based on textbook chapter 3) 7. classroom presentations (based on textbook chapter 3) 8. classroom activities (based on textbook chapter 4) 9. classroom activities (based on textbook chapter 4) 10. classroom activities (based on textbook chapter 5) 11. classroom activities (based on textbook chapter 5) 12. classroom activities (based on textbook chapter 6) 13. classroom activities (based on textbook chapter 6)</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment (Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを通じて教員のコメントを添付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：授業内課題、プレゼンテーション課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] Voices <Level 2> Student Book (192 pp) with Spark Access + e-Book (1 year access) 著者名: Emily Bryson, Gary Pathare, Chia Suan Chong, Lewis Lansford, Christien Lee, Daniel Barber, Marek Kic 出版社: Cengage Learning. (9.78E+12)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし (none)</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English</p> <p>[授業概要]</p> <p>This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Review upcoming course materials. Active participation during class time is necessary.</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction Unit 1: Nice to meet you! 2. Unit 1 continued 3. Unit 2: What do you do? 4. Unit 2 continued 5. Unit 3: Do you like noodles? 6. Unit 3 continued and mid-term test 7. Unit 4: How often do you exercise? 8. Unit 4 continued 9. Unit 5: I'm listening to music. 10. Unit 5 continued 11. Unit 6: Where were you yesterday? 12. Unit 6 continued 13. Review and final test 			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, mid-term assessment(test): 20%, Final assessment(Test): 20%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Answers and explanations on each unit will be given in class.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Presentation, mid-term assessment(test), Final assessment(Test)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Presentation, mid-term assessment(test), Final assessment(Test)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Presentation, mid-term assessment(test), Final assessment(Test)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Presentation, mid-term assessment(test), Final assessment(Test)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: Active participation, Presentation, mid-term assessment(test), Final assessment(Test)</p> <p>[教科書(ISBN)] Smart Choice 1 (4th edition) Student Book & Online Practice 著者名: Wilson, Ken 出版社: Oxford University Press (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	虹林 桃子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業の復習、および次回の授業で読むChapterの予習</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. Classroom activities (based on textbook chapter 1) 3. Classroom activities (based on textbook chapter 2) 4. Classroom activities (based on textbook chapter 2) 5. Classroom activities (based on textbook chapter 3) 6. Classroom activities (based on textbook chapter 3) 7. Classroom activities (based on textbook chapter 4) 8. Classroom activities (based on textbook chapter 4) 9. Classroom activities (based on textbook chapter 5) 10. Classroom activities (based on textbook chapter 5) 11. Classroom activities (based on textbook chapter 6) 12. Classroom activities (based on textbook chapter 6) 13. Overall Review</p> <p>異文化への理解を深め、英語についての知識や表現力を身につけることを目指す。 本授業ではテキストで紹介される代表的なイギリス恐怖小説の一部を読んでいます。文化的背景について学びながら物語の展開を追い、英語表現や語彙を身につけることを目標としています。リーディングとリスニングを中心にディスカッションも行い、英語をアウトプットする機会を設けます。</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	虹林 桃子		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Feedback and explanations for the assignments will be given during class.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 愛と恐怖の物語 Wicked and Shuddering Tales with Love 著者名: Yuko Hosokawa 出版社: 開文社 (978-4-87571-151-3)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]

This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.

Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]

1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. classroom activities (based on textbook chapter 1)
4. classroom activities (based on textbook chapter 2)
5. classroom activities (based on textbook chapter 2)
6. classroom presentations (based on textbook chapter 3)
7. classroom presentations (based on textbook chapter 3)
8. classroom activities (based on textbook chapter 4)
9. classroom activities (based on textbook chapter 4)
10. classroom activities (based on textbook chapter 5)
11. classroom activities (based on textbook chapter 5)
12. classroom activities (based on textbook chapter 6)
13. classroom activities (based on textbook chapter 6)

科目名	英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを通じて教員のコメントを添付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] Voices <Level 2> Student Book (192 pp) with Spark Access + e-Book (1 year access) 著者名: Emily Bryson, Gary Pathare, Chia Suan Chong, Lewis Lansford, Christien Lee, Daniel Barber, Marek Kic 出版社: Cengage Learning. (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし (none)</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	T. ジョン		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] Lesson 1, Review term 1; course introduction reminders; Situation 6: Catching Up Lesson 2, Focus 4: Where's she going to go? Lesson 3, Unit Test Lesson 4, Situation 2: Checking in at a Hotel Lesson 5, Situation 5: Asking about Hotel Facilities Lesson 6, Unit Test Lesson 7, Conversation 7: Family Members Lesson 8, Conversation 6: Relatives Lesson 9, Unit Test Lesson 10, Situation 7: Making an Appointment Lesson 11, Situation 8: Going to an Appointment Lesson 12, Unit Test Lesson 13, Review and Final Test</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	T. ジョン		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出物の返却など</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Challenger α1 著者名:ECC 出版社:ECC</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 優大		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English			
[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.			
[授業計画] 1. Introduction 2. classroom activities (based on Chapter 7) 3. classroom activities (based on Chapter 7) 4. classroom activities (based on Chapter 8) 5. classroom activities (based on Chapter 8) 6. classroom activities (based on Chapter 9) 7. classroom activities (based on Chapter 9) 8. classroom activities (based on Chapter 10) 9. classroom activities (based on Chapter 10) 10. classroom activities (based on Chapter 11) 11. classroom activities (based on Chapter 11) 12. classroom activities (based on Chapter 12) 13. classroom activities (based on Chapter 12)			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 優大		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Keynote 2 著者名: David Bohlke 出版社: CENGAGE Learning (978-1-305-96504-1)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な英文を理解する能力を養う ・理解した英文から発展的に思考をめぐらせる ・自立して英語力を向上させる足がかりとする <p>[授業概要]</p> <p>まずは、英文を字義通りに理解できるよう取り組み、そこから、その背後に潜む人々の心情や思考に想いを馳せる。そして、英語話者と日本語話者との共通点及び相違点を意識し、繊細かつ器の大きな英語力を自律的に習得し続ける契機とする(して欲しい)。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>指定するテキストの精読</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 永遠に誓う100年の約束 2. 父子が目にする生死の狭間 3. 禁断の欲望 4. 狂うほど愛す／愛されて狂う 5. 「ワイルド」な男の「法外」な思い 6. 「博士」が生んだ「怪物」 7. 前半の振り返り(テスト) 8. 父の空隙と生死の天秤 9. 重いハートと男の友情 10. 'work'に捧ぐ'private-life' 11. 「子ども」へと繰り返し「飛ぶ」先に 12. クリスマスの降雪と「燃える」恋人 13. 後半の振り返り(テスト) 			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
<p>[成績評価方法] [1] 授業内課題 40点 [2] 授業内課題 60点</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内課題・中間テスト→個別に返却 期末テスト→manabaで一斉返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] (授業内で配布)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	桂山 康司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English			
[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.			
[授業計画] 単に表面上の大意を把握するだけでは飽き足らずに、さらに、言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方 を感得するには、文学に親しむことが一番の近道です。しかし、文学というのはどこか近寄りがたいところがあっ て、文学作品をただ漫然と読むだけでは、どこまで味わうことができているのか、おぼつかないところがあり、いわ んや、日本人には外国語である英語で書かれた作品を味読するとなればその困難は言うまでもないでしょう。そんな 悩みのある方にお勧めなのが、英文は平易と見えても、その語る内容には、簡単には読み飛ばせない、奥行き を感じさせる古典作品の講読です。ここでは、イギリスの詩人・批評家・小説家であるウェイン(1925-94)の佳品 The Valentine Generation と、イギリスの小説家エイミス(1922-95)の短編 Interesting Things を、こまやかな想い の一点一点を丹念に拾い上げながら精読し、愛や、人というものについて、一緒に考えてみましょう。 1. 導入。短編小説の表現上の特質を、長編小説や詩と対比することで、解説します。 2. テキストpp. 20~22を精読します。 3. テキストpp. 23~25を精読します。 4. テキストpp. 26~28を精読します。 5. テキストpp. 29~32を精読します。 6. テキストpp. 33~36を精読します。 7. テキストpp. 37~40を精読します。 8. テキストpp. 1~3を精読します。 9. テキストpp. 4~7を精読します。 10. テキストpp. 8~11を精読します。 11. テキストpp. 12~15を精読します。 12. テキストpp. 16~19を精読します。 13. テキスト本文についての理解度確認テスト・解説。 毎回、十分な準備と、しっかりした心構えで出席することが必要です。がんばりましょう。			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	桂山 康司		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>[教科書(ISBN)] 『Twentieth-Century British Authors』 著者名: 九頭見一士 編注 出版社: 金星堂 (4-7647-0356-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.</p> <p>[授業計画] 1.classroom activities (based on textbook chapter 7) 2. classroom activities (based on textbook chapter 7) 3. classroom activities (based on textbook chapter 8) 4. classroom activities (based on textbook chapter 8) 5.classroom presentations (based on textbook chapter 9) 6. classroom presentations (based on textbook chapter 9) 7. classroom activities (based on textbook chapter 10) 8. classroom activities (based on textbook chapter 10) 9. classroom activities (based on textbook chapter 11) 10. classroom activities (based on textbook chapter 11) 11. classroom activities (based on textbook chapter 12) 12. classroom activities (based on textbook chapter 12) 13. Overall review</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを通じて教員のコメントを添付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] Voices <Level 2> Student Book (192 pp) with Spark Access + e-Book (1 year access) 著者名: Emily Bryson, Gary Pathare, Chia Suan Chong, Lewis Lansford, Christien Lee, Daniel Barber, Marek Kic 出版社: Cengage Learning. (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし (none)</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review upcoming course materials. Active participation during class time is necessary.</p> <p>[授業計画] 1. Unit 7: Which one is cheaper? 2. Unit 7: Continued 3. Unit 8: They're very friendly. 4. Unit 8: Continued 5. Unit 9: You can visit the zoo. 6. Unit 9: Continued and mid-term test 7. Unit 10: Is there a coffee shop? 8. Unit 10: Continued 9. Unit 11: I had a good time. 10. Unit 11: Continued 11. Christmas cultural event 12. Unit 12: I'm going to go by car 13. Unit 12: Continued and final test</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, mid-term assessment(test): 20%, Final assessment(Test): 20%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] In class or by email.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Presentation, mid-term assessment(test), Final assessment(Test)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Presentation, mid-term assessment(test), Final assessment(Test)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Presentation, mid-term assessment(test), Final assessment(Test)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Presentation, mid-term assessment(test), Final assessment(Test)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: Active participation, Presentation, mid-term assessment(test), Final assessment(Test)</p> <p>[教科書 (ISBN)] Smart Choice 1 (4th edition) Student Book & Online Practice 著者名: Wilson, Ken 出版社: Oxford University Press (9.78E+12)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	虹林 桃子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業の復習、および次回の授業で読むChapterの予習</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Classroom activities (based on textbook chapter 7) 2. Classroom activities (based on textbook chapter 7) 3. Classroom activities (based on textbook chapter 8) 4. Classroom activities (based on textbook chapter 8) 5. Classroom activities (based on textbook chapter 9) 6. Classroom activities (based on textbook chapter 9) 7. Classroom activities (based on textbook chapter 10) 8. Classroom activities (based on textbook chapter 10) 9. Classroom activities (based on textbook chapter 11) 10. Classroom activities (based on textbook chapter 11) 11. Classroom activities (based on textbook chapter 12) 12. Classroom activities (based on textbook chapter 12) 13. Overall Review <p>異文化への理解を深め、英語についての知識や表現力を身につけることを目指す。 本授業ではテキストで紹介される代表的なイギリス恐怖小説の一部を読んでいきます。文化的背景について学びながら物語の展開を追い、英語表現や語彙を身につけることを目標としています。リーディングとリスニングを中心にディスカッションも行い、英語をアウトプットする機会を設けます。</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	虹林 桃子		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 愛と恐怖の物語Wicked and Shuddering Tales with Love 著者名:Yuko Hosokawa 出版社:開文社 (978-4-87571-151-3)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]

This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.

Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]

- 1.classroom activities (based on textbook chapter 7)
2. classroom activities (based on textbook chapter 7)
3. classroom activities (based on textbook chapter 8)
4. classroom activities (based on textbook chapter 8)
- 5.classroom presentations (based on textbook chapter 9)
6. classroom presentations (based on textbook chapter 9)
7. classroom activities (based on textbook chapter 10)
8. classroom activities (based on textbook chapter 10)
9. classroom activities (based on textbook chapter 11)
10. classroom activities (based on textbook chapter 11)
11. classroom activities (based on textbook chapter 12)
12. classroom activities (based on textbook chapter 12)
13. Overall review

科目名	英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment (Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを通じて教員のコメントを添付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：授業内課題、プレゼンテーション課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] Voices <Level 2> Student Book (192 pp) with Spark Access + e-Book (1 year access) 著者名: Emily Bryson, Gary Pathare, Chia Suan Chong, Lewis Lansford, Christien Lee, Daniel Barber, Marek Kic 出版社: Cengage Learning. (9.78E+12)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし (none)</p>			

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊 理恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 異文化への理解を深め、英語についての知識や表現力を身につけることを目指す。</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] 1. Introduction and classroom activities (based on textbook Lesson 1) 2. Classroom activities (based on textbook Lesson 1) 3. Classroom activities (based on textbook Lesson 2) 4. Classroom activities (based on textbook Lesson 2) 5. Classroom activities (based on textbook Lesson 3) 6. Classroom activities (based on textbook Lesson 3) 7. Classroom activities (based on textbook Lesson 4) 8. Classroom activities (based on textbook Lesson 4) 9. Classroom activities (based on textbook Lesson 5) 10. Classroom activities (based on textbook Lesson 5) 11. Classroom activities (based on textbook Lesson 6) 12. Classroom activities (based on textbook Lesson 6) 13. Overall review</p>			

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊 理恵子		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間中の応答</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation Final assessment</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: Active participation Presentation Final assessment</p> <p>[教科書(ISBN)] Notting Hill【New Format Edition】 著者名: Richard Curtis 著 Kim R. Kanel 編 神谷久美子 編 出版社: 松柏社 (978-4-88198-590-8) Viewpoints: Japan and England すつきり日英比較 著者名: Terry O' Brien 著 三原 京 著 立本 秀洋 著 木村 博是 著 出版社: 南雲堂 (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

P10000770 [GSH2-001]

[2健心]*前期火1

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊 理恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 異文化への理解を深め、英語についての知識や表現力を身につけることを目指す。</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] 1. Introduction and classroom activities (based on textbook Lesson 1) 2. Classroom activities (based on textbook Lesson 1) 3. Classroom activities (based on textbook Lesson 2) 4. Classroom activities (based on textbook Lesson 2) 5. Classroom activities (based on textbook Lesson 3) 6. Classroom activities (based on textbook Lesson 3) 7. Classroom activities (based on textbook Lesson 4) 8. Classroom activities (based on textbook Lesson 4) 9. Classroom activities (based on textbook Lesson 5) 10. Classroom activities (based on textbook Lesson 5) 11. Classroom activities (based on textbook Lesson 6) 12. Classroom activities (based on textbook Lesson 6) 13. Overall review</p>			

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊 理恵子		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間中の応答</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation Final assessment</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: Active participation Presentation Final assessment</p> <p>[教科書(ISBN)] Notting Hill【New Format Edition】 著者名: Richard Curtis 著 Kim R. Kanel 編 神谷久美子 編 出版社: 松柏社 (978-4-88198-590-8) Viewpoints: Japan and England すつきり日英比較 著者名: Terry O' Brien 著 三原 京 著 立本 秀洋 著 木村 博是 著 出版社: 南雲堂 (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

P10000770A [GSH2-001]

[2健]*前期火3

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 基礎的な英文を理解する能力を養い、自立して英語力を向上させる足がかりとする。</p> <p>[授業概要] 古今東西から集積された大小様々な《糸》によって折り合わせた《織物》(texture)とも言うべき、『ハリー・ポッター』という名の《テキスト》(text)を丁寧に《紐解く》</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 該当箇所の精読(少なくとも、各授業の初めに行なう小テストの準備)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Ch. 1 3. Ch. 2 & 3 4. Ch. 4 5. Ch. 5 6. Ch. 6 7. Ch. 7 & 8 8. Ch. 9 & 10 9. Ch. 11 & 12 10. Ch. 13 & 14 11. Ch. 15 & 16 12. Ch. 17 13. 半期のまとめ(テスト) 			

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
<p>[成績評価方法] [1] 授業内課題50点 [2] 期末テスト50点</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・授業内課題・小テスト→個別に返却 ・期末テスト→manabaで一斉返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Harry Potter and the Philosopher's Stone. 著者名: J. K. Rowling 出版社: Bloomsbury (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業内で紹介</p>			

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To study English vocabulary and essential conversation management associated with hospitals, doctors, and patients for students in pursuit of becoming healthcare professionals.</p> <p>[授業概要] In this English for Specific Purposes course we will focus on situational conversations common to encounters in hospitals, and in doctor/patient relations. Vocabulary learning will emphasize not only daily conversational content but also work specific related content. We will cover the four basic skills of English including grammar points, listening exercises, reading, and conversation. The course will be suitable for all levels of student. It is expected that students will actively participate in the lessons through role play, impromptu conversation practice, and discussions. There will be occasional reading and writing assignments to be done for homework.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review vocabulary for each lesson and complete the self-study review tasks.</p> <p>[授業計画] 1. Getting to know your classmates 2. Parts of the Body 3. Application Forms 4. Patient Interviews 5. Illnesses 6. Vital Signs 7. Examining a Patient 8. Review I 9. Talking about Pain Levels 10. Talking about Treatment 11. Wounds, Infections, & Allergies 12. Taking a Medical History 13. Summary</p>			

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Answers and explanations on each unit will be given in class and on Manaba.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Medical English English for Medical Purposes 著者名: Virginia Allum 出版社: Cengage (978-89-6218-531-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本 渚子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 異文化への理解を深め、英語についての知識や表現力を身につけることを目指す。</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. Classroom activities (based on textbook chapter 1) 3. Classroom activities (based on textbook chapter 1) 4. Classroom activities (based on textbook chapter 3) 5. Classroom activities (based on textbook chapter 3) 6. Classroom activities (based on textbook chapter 5) 7. Classroom activities (based on textbook chapter 5) 8. Classroom activities (based on textbook chapter 7) 9. Classroom activities (based on textbook chapter 7) 10. Classroom activities (based on textbook chapter 9) 11. Classroom activities (based on textbook chapter 9) 12. Classroom activities (based on textbook chapter 9) 13. Overall review</p>			

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本 渚子		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Quizzes 30%, Assignments 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間中の応答</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Issues That Matter〈人類の未来と向き合うための15章〉 著者名: David Peaty 著 出版社: 金星堂</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊 理恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 異文化への理解を深め、英語についての知識や表現力を身につけることを目指す。</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] 1. Introduction and classroom activities (based on textbook Unit 7) 2. Classroom activities (based on textbook Lesson 7) 3. Classroom activities (based on textbook Lesson 8) 4. Classroom activities (based on textbook Lesson 8) 5. Classroom activities (based on textbook Lesson 9) 6. Classroom activities (based on textbook Lesson 9) 7. Classroom activities (based on textbook Lesson 10) 8. Classroom activities (based on textbook Lesson 10) 9. Classroom activities (based on textbook Lesson 11) 10. Classroom activities (based on textbook Lesson 11) 11. Classroom activities (based on textbook Lesson 12) 12. Classroom activities (based on textbook Lesson 12) 13. Overall review</p>			

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊 理恵子		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間中の応答</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation Final assessment</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: Active participation Presentation Final assessment</p> <p>[教科書(ISBN)] Notting Hill【New Format Edition】 著者名: Richard Curtis 著 Kim R. Kanel 編 神谷久美子 編 出版社: 松柏社 (978-4-88198-590-8) Viewpoints: Japan and Englandすつきり日英比較 著者名: Terry O' Brien 著 三原 京 著 立本 秀洋 著 木村 博是 著 出版社: 南雲堂 (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊 理恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 異文化への理解を深め、英語についての知識や表現力を身につけることを目指す。</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] 1. Introduction and classroom activities (based on textbook Unit 7) 2. Classroom activities (based on textbook Lesson 7) 3. Classroom activities (based on textbook Lesson 8) 4. Classroom activities (based on textbook Lesson 8) 5. Classroom activities (based on textbook Lesson 9) 6. Classroom activities (based on textbook Lesson 9) 7. Classroom activities (based on textbook Lesson 10) 8. Classroom activities (based on textbook Lesson 10) 9. Classroom activities (based on textbook Lesson 11) 10. Classroom activities (based on textbook Lesson 11) 11. Classroom activities (based on textbook Lesson 12) 12. Classroom activities (based on textbook Lesson 12) 13. Overall review</p>			

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	渡邊 理恵子		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間中の応答</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Active participation Presentation Final assessment</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: Active participation Presentation Final assessment</p> <p>[教科書(ISBN)] Notting Hill【New Format Edition】 著者名: Richard Curtis 著 Kim R. Kanel 編 神谷久美子 編 出版社: 松柏社 (978-4-88198-590-8) Viewpoints: Japan and Englandすつきり日英比較 著者名: Terry O' Brien 著 三原 京 著 立本 秀洋 著 木村 博是 著 出版社: 南雲堂 (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 基礎的な英文を理解する能力を養い、自立して英語力を向上させる足がかりとする。</p> <p>[授業概要] 外科手術や心臓発作、注射など《心臓》の動作に直結する英語表現だけでなく、生命の誕生から幼児、成人、老人、さらには死者(追悼)に至る《心》の機微が表出する英語表現を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 該当箇所の精読</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 《幼児》の表現 2. 《出産》の表現 3. 《母子》の表現 4. 《目》の表現 5. 《生ノ性》の表現 6. 《生誕》の表現 7. 前半の振り返り(テスト) 8. 《思春期》の表現 9. 《司法》の表現 10. 《老人》の表現 11. 《子ども》の表現 12. 《追悼》の表現 13. 後半の振り返り(テスト) 			

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
<p>[成績評価方法] [1] 授業内課題 40点 [2] テスト 60点</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内課題・中間テスト→個別に返却 期末テスト→manabaで一斉返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業内で配布(購入は不要)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	虹林 桜		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 主に美術館での芸術鑑賞に直結した単語と文法の基礎を運用できるようになることを目指す。英語で芸術に触れることを想定し、各々で興味を追及するのに必要な語彙数を確実に増やすことを一番の目標とする。</p> <p>[授業概要] 中学・高校で学習した文法と語彙をベースにして、実践的なリーディング力とリスニング力を養うことを主眼とする。各自が読んで理解し、聞いて理解し、自分自身で運用できる単語や言い回しの数を増やすため、芸術を楽しみながら、基本的なリーディングやリスニングなどを行う。一回の授業につき一つの芸術作品を扱い、その作品についての解説文を英語で読み聞きする。補助教材として、適宜動画や資料を使用して理解を深める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] リーディングセクションを読んで分からない単語を調べてきたり、各自関心のある事項について書籍などで理解を深めたりすることを推奨する。</p> <p>[授業計画] 1 授業概要説明 (内容・評価方法など) 2 作品① 英語で作品鑑賞 3 作品② 英語で作品鑑賞 4 作品③ 英語で作品鑑賞 5 レビュー(これまでの習熟度確認と小テスト) 6 作品④ 英語で作品鑑賞 7 作品⑤ 英語で作品鑑賞 8 作品⑥ 英語で作品鑑賞 9 レビュー(これまでの習熟度確認と小テスト) 10 作品⑦ 英語で作品鑑賞 11 作品⑧ 英語で作品鑑賞 12 作品⑨ 英語で作品鑑賞 13 レビュー(これまでの習熟度確認と小テスト)</p>			

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	虹林 桜		
<p>[成績評価方法] Active participation/ discussion: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出物の返却、授業のリアクションペーパーの質疑やコメントを取りあげて共有</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本 渚子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 異文化への理解を深め、英語についての知識や表現力を身につけることを目指す。</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. Classroom activities (based on textbook chapter 2) 3. Classroom activities (based on textbook chapter 2) 4. Classroom activities (based on textbook chapter 4) 5. Classroom activities (based on textbook chapter 4) 6. Classroom activities (based on textbook chapter 6) 7. Classroom activities (based on textbook chapter 6) 8. Classroom activities (based on textbook chapter 8) 9. Classroom activities (based on textbook chapter 8) 10. Classroom activities (based on textbook chapter 10) 11. Classroom activities (based on textbook chapter 10) 12. Classroom activities (based on textbook chapter 10) 13. Overall review</p>			

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本 渚子		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Quiz 30%, Assignments 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] Quizzes and assignments will be returned after correction.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Issues That Matter〈人類の未来と向き合うための15章〉 著者名：David Peaty 著 出版社：金星堂</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	外国語コミュニケーション I		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	R. コナーズ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Remedial study toward the enhancement of practical English skills 実践的英語運用能力の獲得</p> <p>[授業概要] The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society. 本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students will be expected to do assignments from the previous class. 前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。</p> <p>[授業計画] 1. Introduction/ Unit 1 A: Food and Health 2. Unit 1 B 3. Unit 2 A: Call of the Wild 4. Unit 2 B 5. Unit 3 A: History Detectives 6. Unit 3 B 7. Unit 4 A: Traditions and Rituals 8. Unit 4 B 9. Unit 5 A: Finding Wonders 10. Unit 5 B 11. Unit 6 A: Reef Encounters 12. Unit 6 B 13. Final Project</p>				

科目名	外国語コミュニケーション I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Presentation 30%, Final Project 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] In class and by email</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>[教科書(ISBN)] Reading Explorer 2 Third Edition 著者名：Macintyre/ Bohlke 出版社：National Geographic Learning (9780357124703)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	外国語コミュニケーション I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準的な英文を理解する能力を養う。 ・ネイティブスピーカーと同等以上に理解する能力を目指す。 ・自立して英語力を向上させる足がかりとする。 <p>[授業概要]</p> <p>Jane AustenのPride and Prejudice(原作1813;映画版2005年)を《訳=ヤク》ありで視聴し、基礎的な語彙と文法を実践的に学ぶ。</p> <p>また、語学的な技能だけでは理解しえない英文の背後にある地理的・文化的な《訳=ワケ》も知り、総合的で確かな英語力を養成する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>該当箇所を自力で正確に理解すること</p> <p>[授業計画]</p> <p>Lesson 1, Course Introduction, orientation; introducing ourselves Lesson 2, Focus 1: Are you Thomas? Lesson 3, Conversation 1: Your City Lesson 4, Focus 3: Do you like to collect things? Lesson 5, Focus 4: Do you usually drive to work? Lesson 6, Focus 5: How was the weather? Lesson 7, Review Lesson 8, Focus 6: What`s your sister`s name? Lesson 9, Focus 8: Where is he? Lesson 10, Focus 9: Where`s the Northside Immigration Office? Lesson 11, Focus 10: What can you do in Odaiba? Lesson 12, Situation 3: Feeling Sick Lesson 13, Review</p>			

科目名	外国語コミュニケーション I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内での個別対応、及びmanabaでの一斉返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	外国語コミュニケーション I		前期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	R. コナーズ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Remedial study toward the enhancement of practical English skills 実践的英語運用能力の獲得</p> <p>[授業概要] The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society. 本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students will be expected to do assignments from the previous class. 前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。</p> <p>[授業計画] 1. Introduction/ Unit 1 A: Food and Health 2. Unit 1 B 3. Unit 2 A: Call of the Wild 4. Unit 2 B 5. Unit 3 A: History Detectives 6. Unit 3 B 7. Unit 4 A: Traditions and Rituals 8. Unit 4 B 9. Unit 5 A: Finding Wonders 10. Unit 5 B 11. Unit 6 A: Reef Encounters 12. Unit 6 B 13. Final Project</p>				

科目名	外国語コミュニケーション I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Presentation 30%, Final Project 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] In class and by email</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>[教科書(ISBN)] Reading Explorer 2 Third Edition 著者名: Macintyre/ Bohlke 出版社: National Geographic Learning (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	外国語コミュニケーション I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 基礎的な英文を理解する能力を養い、自立して英語力を向上させる足がかりとする。</p> <p>[授業概要] 古今東西から集積された大小様々な《糸》によって折り返させた《織物》(texture)とも言うべき、『ハリー・ポッター』という名の《テキスト》(text)を丁寧に《紐解く》</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 該当箇所の精読(少なくとも、各授業の初めに行なう小テストの準備)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Ch. 1 3. Ch. 2 & 3 4. Ch. 4 5. Ch. 5 6. Ch. 6 7. Ch. 7 & 8 8. Ch. 9 & 10 9. Ch. 11 & 12 10. Ch. 13 & 14 11. Ch. 15 & 16 12. Ch. 17 13. 半期のまとめ(テスト) 			

科目名	外国語コミュニケーション I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・授業内課題・小テスト→個別に返却 ・期末テスト→manabaで一斉返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Harry Potter and the Philosopher's Stone. 著者名: J. K. Rowling 出版社: Bloomsbury (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業内で紹介</p>			

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] Remedial study toward the enhancement of practical English skills. 実践的英語運用能力の獲得</p> <p>[授業概要] The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society. 本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students will be expected to do assignments from the previous class. 前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。</p> <p>[授業計画] 1. Unit 7 A: Dollars and Scents 2. Unit 7 B 3. Unit 8 A: Great Explorers 4. Unit 8 B 5. Unit 9 A: Identity 6. Unit 9 B 7. Unit 10 A: Facing Change 8. Unit 10 B 9. Unit 11 A: Fact or Fake? 10. Unit 11 B 11. Unit 12 A: Going to Extremes 12. Unit 12 B 13. Final Project</p>			

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		
<p>[成績評価方法] Active participation30%, Presentation 30%, Final project 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] In class and by email</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>[教科書(ISBN)] Reading Explorer 2 Third Edition 著者名：Macintyre/ Bohlke 出版社：National Geographic Learning (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] いかなる分野であっても必須となる基礎的な英語力の形成を主眼とし、そこから、《境界線》上に位置する英語を大局的に見直し(履修者の英語も例外でなく)、現状の《境界線》—あるいは《殻》—を破ることを目指す。</p> <p>[授業概要] 基礎的な英語を実践的に学び、《horizon》の拡張を目指す。各回では、異なる〈世界〉にまたがる英語——イギリスとアメリカ、母語と外国語、文字と映像etc.——に触れ、〈辞書的・文法書的な英語〉と〈生身の英語〉との共通点及び相違点を体感し、思考する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 指定する英文の精読</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 《言語》の境界線 3. 《媒体》の境界線①(聴覚) 4. 《媒体》の境界線②(視覚) 5. 《テキスト》の境界線 6. 《テキスト》の境界線 7. 前半の振り返り(テスト) 8. 《国》の境界線①(英語圏の内外) 9. 《国》の境界線②(英語圏) 10. 《人間》の境界線 11. 《時》の境界線 12. 《生死》の境界線 13. 後半の振り返り(テスト) 			

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
<p>[成績評価方法] Active participation40%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内課題と中間テストは個別に返却、期末テストはmanabaで一斉返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業で配布(購入は不要)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業内で紹介</p>			

科目名	外国語コミュニケーションⅡ		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	R. コナーズ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English 日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得</p> <p>[授業概要] The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society. 本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内で指定された箇所(練習問題や作文)、または与えられた課題を必ず仕上げてきて、次の授業に臨むこと。</p> <p>[授業計画] 1. Unit 7 A: Dollars and Scents 2. Unit 7 B 3. Unit 8 A: Great Explorers 4. Unit 8 B 5. Unit 9 A: Identity 6. Unit 9 B 7. Unit 10 A: Facing Change 8. Unit 10 B 9. Unit 11 A: Fact or Fake? 10. Unit 11 B 11. Unit 12 A: Going to Extremes 12. Unit 12 B 13. Final Project</p>				

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		
<p>[成績評価方法] Active participation30%, Presentation 30%, Final project 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] In class and by email</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：Active participation, Assignment, Final assessment(Project)</p> <p>[教科書(ISBN)] Reading Explorer 2 Third Edition 著者名：Macintyre/ Bohlke 出版社：National Geographic Learning (9780357124703))</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 基礎的な英文を理解する能力を養い、自立して英語力を向上させる足がかりとする。</p> <p>[授業概要] The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業内で指定された英文を、自力で理解できるよう反復すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション、代名詞[一人称] 2. ニュアンス、冠詞、星 3. アルファベット、代名詞[三人称]、声 4. 疑問(文)、方向 5. 体験と(文)構造 6. 上下、(女)性 7. 前半の振り返り(テスト) 8. 病、世界、未来 9. 方言、食 10. 階級、時制、自然 11. 時制②、子ども、ヴァイオリン 12. 過去(形)、食卓 13. 後半の振り返り(テスト) 			

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉野 久和		
<p>[成績評価方法] Active participation40%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内課題と中間テストは個別に返却、期末テストはmanabaで一斉返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(授業内で配布)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし(授業内で紹介)</p>			

科目名	基礎 I	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリア I	講義	
担当者	阿部 まゆみ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>充実した大学生活を過ごすために具体的な行動計画を立てることができる</p> <p>1.自己理解を深め、自身の長所を3つ以上あげることができる</p> <p>2.学生生活で「やりたいこと」を他者に説明することができる</p> <p>3.自分に必要な「やるべきこと」を他者に説明することができる</p> <p>4.キャリア形成の指針となる、自身の大切にしたい価値観について述べるができる</p> <p>[授業概要]</p> <p>充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動できるようになります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 神戸女子大学での学び 2. 行吉学園・神戸女子大学について学ぶ 学園理事長講和・サポートセンターツアー 3. 自己理解(1) 大学生の自分について考える 4. 自己理解(2) これまでの、これからの自分について考える 5. 自己理解(3) 学生としての力 6. 自己理解(4) 社会人基礎力 7. 金融の知識を高める 学外特別講師を迎えて 8. コミュニケーショントレーニング(1) 合意形成・コンセンサス 9. コミュニケーショントレーニング(2) アサーティブコミュニケーション 10. 活躍する先輩に学ぶ 学科卒業生が語る「私の神女時代」 11. アセスメント検査解説 問題解決力を身に着ける 12. 行動計画の立案 大学生活のプランを立てる 13. ふりかえりとまとめ <p>* 授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。</p>			

科目名	基礎 I	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリア I	講義	
担当者	阿部 まゆみ		
<p>[成績評価方法] 1.授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど)(30%) 2.課題(40%) 3.まとめの課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど) 課題 まとめの課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「MY LIFE MY CAREER」 著作・発行 神戸女子大学全学共通教育部</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎 I	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリア I	講義	
担当者	横内 光子、藤原 由子、奥井 早月		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 「大学生としての学び」「キャリアマインド」の素地をつくる 1. 自立した大学生生活の基本的なリズムをつくる。 2. 自分の良さを知り、自信が持てるようになる。 3. 4年間で頑張りたいと思うことを明確にする。 4. 大学を卒業し、就職するには、日々の基礎力鍛錬が重要であることを認識し実践する。</p> <p>[授業概要] 充実した大学生生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。「自分」を見つめ直し、将来なりたい自分を描き、そのためにどのように大学生生活を過ごしたらよいかを自分で考え、歩み出すあなたを応援します。 大学生としての学び、キャリアマインドの素地をつくるために、看護学部の教育理念と教育目標を理解し、4年間で何をどのように学ぶかをイメージする。またその時に必要とされる基本的な学習方法や態度を学び、学生生活を具体的にデザインする。さらに看護職が活躍している様々な場や看護職の役割を知って、自分自身の将来像を描き、目標を立てる。様々な立場の講師を招き、大学での学び、マナー、情報収集の方法、レポートの書き方等を学び、さらに将来像である看護職としての理解を深めていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業ごとに与えられる課題に関する資料等をよく読み、授業内容を復習しておくこと。次回授業の課題について1週間の間に十分に考え、自分なりの考えをまとめて授業に臨むこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション「看護学部の教育理念と教育目標、4年間の学び」、未来を描く「大学生生活をデザインする」(横内光子)(4月8日 月曜日)3限 2. 大学生生活の過ごし方(1)「大学の授業とノート・テイキング」(奥井早月)(4月15日 月曜日)3限 3. 情報収集の基礎(横内光子)(4月22日 月曜日)3限 4. 図書館の利用方法(奥井早月)(5月6日 月曜日)3限 5. 成長する学生生活(1)「クリティカル・リーディング(1)」(藤原由子)(5月13日 月曜日)3限 6. 行吉学園・神戸女子大学の歴史を学ぶ「行吉学園理事長をむかえて」(理事長・横内光子)(5月20日 月曜日)3限 7. 大学生生活の過ごし方(2)「学生生活と健康管理」(奥井早月)(5月27日 月曜日)3限 8. 成長する学生生活(2)「クリティカル・リーディング(2)」(藤原由子)(6月3日 月曜日)3限 9. 大学生生活で磨く社会人基礎力(1)「レポートの書き方(1)」(横内光子)(6月10日 月曜日)3限 10. 大学生生活で磨く社会人基礎力(2)「レポートの書き方(2)」(横内光子)(6月17日 月曜日)3限 11. 大学生生活の過ごし方(3)「大学生としてのマナー」(学外特別講師・藤原由子)(6月24日 月曜日)3限 12. 今の自分を知る「自分の将来像を描く」(ベネッセ・横内光子)(7月1日 月曜日)3限 13. 活躍する先輩に学ぶ(学外特別講師・横内光子)(7月8日 月曜日)3限</p> <p>* 授業計画の内容・順序は、進度・講師などの都合によって入替・変更することがあります。</p> <p>教室 F310</p>			

科目名	基礎 I	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリア I	講義	
担当者	横内 光子、藤原 由子、奥井 早月		
<p>[成績評価方法]</p> <p>レポート(70%)、学習態度(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは、manab等で全体に対して講評する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: グループワーク・課題評価・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題・グループワーク</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: グループワーク</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題・グループワーク・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 課題・グループワーク・レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 第3版 著者名: 佐藤望他編著 出版社: 慶應義塾大学出版会 (978-4-7664-2656-4)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 大学生 学びのハンドブック 5訂版 著者名: 世界思想社編集部編 出版社: 世界思想社 (978-4-7907-1749-2) 「わかる」とはどういうことか - 認識の脳科学 著者名: 山鳥 重 出版社: ちくま新書 (978-4480059390) 新人が学ぶということ 認知学習論からのし視点 著者名: 今井むつみ, 野島久雄, 岡田浩之 出版社: 北樹出版 (978-4779303210) <新版>日本語の作文技術(朝日文庫) 著者名: 本多 勝一 出版社: 朝日新聞出版 (978-4022930026)</p>			

科目名	基礎 I	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリア I	講義	
担当者	阿部 まゆみ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>充実した大学生活を過ごすために具体的な行動計画を立てることができる</p> <p>1.自己理解を深め、自身の長所を3つ以上あげることができる</p> <p>2.学生生活で「やりたいこと」を他者に説明することができる</p> <p>3.自分に必要な「やるべきこと」を他者に説明することができる</p> <p>4.キャリア形成の指針となる、自身の大切にしたい価値観について述べるができる</p> <p>[授業概要]</p> <p>充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動できるようになります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 神戸女子大学での学び 2. 行吉学園・神戸女子大学について学ぶ 学園理事長講和・サポートセンターツアー 3. 自己理解(1) 大学生の自分について考える 4. 自己理解(2) これまでの、これからの自分について考える 5. 自己理解(3) 学生としての力 6. 自己理解(4) 社会人基礎力 7. 金融の知識を高める 学外特別講師を迎えて 8. コミュニケーショントレーニング(1) 合意形成・コンセンサス 9. コミュニケーショントレーニング(2) アサーティブコミュニケーション 10. 活躍する先輩に学ぶ 学科卒業生が語る「私の神女時代」 11. アセスメント検査解説 問題解決力を身に着ける 12. 行動計画の立案 大学生活のプランを立てる 13. ふりかえりとまとめ <p>* 授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。</p>			

科目名	基礎 I	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリア I	講義	
担当者	阿部 まゆみ		
<p>[成績評価方法] 1.授業中の提出物(小テスト、レスポなど)(30%) 2.課題(40%) 3.まとめの課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポなど) 課題 まとめの課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「MY LIFE MY CAREER」 著作・発行 神戸女子大学全学共通教育部</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位																										
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義																											
担当者	阿部 まゆみ																												
[アクティブラーニング授業]																													
PBL(課題解決型)		反転授業																											
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○																										
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク																											
その他		実務経験のある教員による授業	○																										
<p>[到達目標]</p> <p>性別によって異なる社会環境を理解し、キャリアビジョンを描くことができる</p> <p>1.女性の多様な働き方を知り、メリットとデメリットを説明することができる</p> <p>2.世の中の職業を理解し、自分の適性を他者に説明することができる</p> <p>3.身近な女性から働き方を学び、なりたいキャリア像を述べるすることができる</p> <p>4.キャリア形成の指針となる、自身のキャリアアンカーについて説明することができる</p> <p>[授業概要]</p> <p>卒業後の進路選択に備えて、「女性の働き方」について学び、考える授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持った教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。女性を取り巻く社会状況全般について学ぶことに加えて、身近な女性へのキャリアインタビューなども行い、自身の将来像をより具体的にイメージできるようになります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. イントロダクション</td> <td>ライフキャリアデザインとは何か</td> </tr> <tr> <td>2. 女性のライフデザイン(1)</td> <td>社会との関わりと人生における役割</td> </tr> <tr> <td>3. 女性のライフデザイン(2)</td> <td>働くとは仕事とは 様々な雇用形態と法律</td> </tr> <tr> <td>4. 女性のライフデザイン(3)</td> <td>女性のライフコースと経済的自立</td> </tr> <tr> <td>5. 知っておきたい労働法</td> <td>学外特別講師を迎えて</td> </tr> <tr> <td>6. 就職にむけて(1)</td> <td>ウェブテストから自身の強みを知る</td> </tr> <tr> <td>7. 就職にむけて(2)</td> <td>ウェブテストによる筆記試験対策</td> </tr> <tr> <td>8. DV被害に遭わないために</td> <td>学外特別講師を迎えて</td> </tr> <tr> <td>9. 活躍する先輩に学ぶ</td> <td>内定を得た4年生に聞く就職活動</td> </tr> <tr> <td>10. コミュニケーショントレーニング(1)</td> <td>自分も相手も尊重するマナー</td> </tr> <tr> <td>11. コミュニケーショントレーニング(2)</td> <td>文章表現力をつける</td> </tr> <tr> <td>12. 女性のキャリアデザイン(1)</td> <td>キャリアインタビューの計画立案と準備</td> </tr> <tr> <td>13. 女性のキャリアデザイン(2)</td> <td>キャリアインタビューの発表・共有 まとめ</td> </tr> </table> <p>※授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。</p>				1. イントロダクション	ライフキャリアデザインとは何か	2. 女性のライフデザイン(1)	社会との関わりと人生における役割	3. 女性のライフデザイン(2)	働くとは仕事とは 様々な雇用形態と法律	4. 女性のライフデザイン(3)	女性のライフコースと経済的自立	5. 知っておきたい労働法	学外特別講師を迎えて	6. 就職にむけて(1)	ウェブテストから自身の強みを知る	7. 就職にむけて(2)	ウェブテストによる筆記試験対策	8. DV被害に遭わないために	学外特別講師を迎えて	9. 活躍する先輩に学ぶ	内定を得た4年生に聞く就職活動	10. コミュニケーショントレーニング(1)	自分も相手も尊重するマナー	11. コミュニケーショントレーニング(2)	文章表現力をつける	12. 女性のキャリアデザイン(1)	キャリアインタビューの計画立案と準備	13. 女性のキャリアデザイン(2)	キャリアインタビューの発表・共有 まとめ
1. イントロダクション	ライフキャリアデザインとは何か																												
2. 女性のライフデザイン(1)	社会との関わりと人生における役割																												
3. 女性のライフデザイン(2)	働くとは仕事とは 様々な雇用形態と法律																												
4. 女性のライフデザイン(3)	女性のライフコースと経済的自立																												
5. 知っておきたい労働法	学外特別講師を迎えて																												
6. 就職にむけて(1)	ウェブテストから自身の強みを知る																												
7. 就職にむけて(2)	ウェブテストによる筆記試験対策																												
8. DV被害に遭わないために	学外特別講師を迎えて																												
9. 活躍する先輩に学ぶ	内定を得た4年生に聞く就職活動																												
10. コミュニケーショントレーニング(1)	自分も相手も尊重するマナー																												
11. コミュニケーショントレーニング(2)	文章表現力をつける																												
12. 女性のキャリアデザイン(1)	キャリアインタビューの計画立案と準備																												
13. 女性のキャリアデザイン(2)	キャリアインタビューの発表・共有 まとめ																												

科目名	基礎Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	阿部 まゆみ		
<p>[成績評価方法] 1.授業中の提出物(小テスト、レスポなど)(30%) 2.課題(40%) 3.まとめの課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポなど) 課題 まとめの課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「MY LIFE MY CAREER」 著作・発行 神戸女子大学全学共通教育部</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位																										
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義																											
担当者	阿部 まゆみ																												
[アクティブラーニング授業]																													
PBL(課題解決型)		反転授業																											
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○																										
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク																											
その他		実務経験のある教員による授業	○																										
<p>[到達目標]</p> <p>性別によって異なる社会環境を理解し、キャリアビジョンを描くことができる</p> <p>1.女性の多様な働き方を知り、メリットとデメリットを説明することができる</p> <p>2.世の中の職業を理解し、自分の適性を他者に説明することができる</p> <p>3.身近な女性から働き方を学び、なりたいキャリア像を述べるすることができる</p> <p>4.キャリア形成の指針となる、自身のキャリアアンカーについて説明することができる</p> <p>[授業概要]</p> <p>卒業後の進路選択に備えて、「女性の働き方」について学び、考える授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持った教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。女性を取り巻く社会状況全般について学ぶことに加えて、身近な女性へのキャリアインタビューなども行い、自身の将来像をより具体的にイメージできるようになります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. イントロダクション</td> <td>ライフキャリアデザインとは何か</td> </tr> <tr> <td>2. 女性のライフデザイン(1)</td> <td>社会との関わりと人生における役割</td> </tr> <tr> <td>3. 女性のライフデザイン(2)</td> <td>働くとは仕事とは 様々な雇用形態と法律</td> </tr> <tr> <td>4. 女性のライフデザイン(3)</td> <td>女性のライフコースと経済的自立</td> </tr> <tr> <td>5. 知っておきたい労働法</td> <td>学外特別講師を迎えて</td> </tr> <tr> <td>6. 就職にむけて(1)</td> <td>ウェブテストから自身の強みを知る</td> </tr> <tr> <td>7. 就職にむけて(2)</td> <td>ウェブテストによる筆記試験対策</td> </tr> <tr> <td>8. DV被害に遭わないために</td> <td>学外特別講師を迎えて</td> </tr> <tr> <td>9. 活躍する先輩に学ぶ</td> <td>内定を得た4年生に聞く就職活動</td> </tr> <tr> <td>10. コミュニケーショントレーニング(1)</td> <td>自分も相手も尊重するマナー</td> </tr> <tr> <td>11. コミュニケーショントレーニング(2)</td> <td>文章表現力をつける</td> </tr> <tr> <td>12. 女性のキャリアデザイン(1)</td> <td>キャリアインタビューの計画立案と準備</td> </tr> <tr> <td>13. 女性のキャリアデザイン(2)</td> <td>キャリアインタビューの発表・共有 まとめ</td> </tr> </table> <p>※授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。</p>				1. イントロダクション	ライフキャリアデザインとは何か	2. 女性のライフデザイン(1)	社会との関わりと人生における役割	3. 女性のライフデザイン(2)	働くとは仕事とは 様々な雇用形態と法律	4. 女性のライフデザイン(3)	女性のライフコースと経済的自立	5. 知っておきたい労働法	学外特別講師を迎えて	6. 就職にむけて(1)	ウェブテストから自身の強みを知る	7. 就職にむけて(2)	ウェブテストによる筆記試験対策	8. DV被害に遭わないために	学外特別講師を迎えて	9. 活躍する先輩に学ぶ	内定を得た4年生に聞く就職活動	10. コミュニケーショントレーニング(1)	自分も相手も尊重するマナー	11. コミュニケーショントレーニング(2)	文章表現力をつける	12. 女性のキャリアデザイン(1)	キャリアインタビューの計画立案と準備	13. 女性のキャリアデザイン(2)	キャリアインタビューの発表・共有 まとめ
1. イントロダクション	ライフキャリアデザインとは何か																												
2. 女性のライフデザイン(1)	社会との関わりと人生における役割																												
3. 女性のライフデザイン(2)	働くとは仕事とは 様々な雇用形態と法律																												
4. 女性のライフデザイン(3)	女性のライフコースと経済的自立																												
5. 知っておきたい労働法	学外特別講師を迎えて																												
6. 就職にむけて(1)	ウェブテストから自身の強みを知る																												
7. 就職にむけて(2)	ウェブテストによる筆記試験対策																												
8. DV被害に遭わないために	学外特別講師を迎えて																												
9. 活躍する先輩に学ぶ	内定を得た4年生に聞く就職活動																												
10. コミュニケーショントレーニング(1)	自分も相手も尊重するマナー																												
11. コミュニケーショントレーニング(2)	文章表現力をつける																												
12. 女性のキャリアデザイン(1)	キャリアインタビューの計画立案と準備																												
13. 女性のキャリアデザイン(2)	キャリアインタビューの発表・共有 まとめ																												

科目名	基礎Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	阿部 まゆみ		
<p>[成績評価方法] 1.授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど)(30%) 2.課題(40%) 3.まとめの課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど) 課題 まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業中の提出物(小テスト、レスポンスなど) 課題 まとめの課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 「MY LIFE MY CAREER」 著作・発行 神戸女子大学全学共通教育部</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	小路 浩子、洪 愛子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- 1.自己認識を深めることによって、どのような生き方、どのような働き方を目指すのか、そのために何をどのように学ぶべきなのかを考えることができる。
- 2.女性の特徴を理解することによって、社会に貢献する女性としての生き方を考え、自分のライフプランを考えることができる。
- 3.看護職として、どのような就業の場や活動の場があるのかを知り、将来の就職活動の基礎知識を得る。

[授業概要]

具体的な就職活動を念頭に置き、社会や仕事についての基本的知識を得ることによって、自らの人生設計、仕事観、ワークスタイル、働くことに関する自己意識を深め、各自の将来を考える。授業は、課題への取組、グループディスカッション、演習等を行い、主体的な参加のもとに進める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

経済・政治・社会現象など世の中の流れに関心をもつこと。そして自分のやりたいことを重視し、かつ健康を考慮して、自分にとって「理想の人生」を具体的に考えてみる。各回、予習復習をあわせて4時間程度

[授業計画]

1. 科目概要説明:【授業ガイダンス・演習】女性の生き方・女性のライフヒストリー・自分自身を振り返る(小路)(4月12日金曜日)4限
2. 自己分析①:エゴグラムSHEを使って、自分の心や行動の特徴を知る(TA学校教育心の開発研究所 山本昭一所長)担当(小路)も同席(4月18日木曜日)3限
3. 自己分析②:エゴグラムSHEを使って、自分の心や行動の特徴を知る(TA学校教育心の開発研究所 山本昭一所長)担当(小路)も同席(4月18日木曜日)4限
4. 女性の心身の特徴を知る:女性の身体の特徴と疾患、妊娠などの実態を知り、女性として大切にすることを考える(レディースクリニックハヤシ 林知恵子院長)担当(小路)も同席(4月25日木曜日)2限
5. 看護とはどんな仕事か①:様々な看護職の活動状況を学ぶ(洪)(5月10日金曜日)4限
6. 看護とはどんな仕事か②:様々な看護職の活動状況を学ぶ(洪)(5月10日金曜日)5限
7. 女性の生き方①:【フィールドワーク】身近な女性のライフヒストリーをきいて様々な女性の生き方や価値観を知る(小路)(5月17日金曜日)4限
8. 女性の生き方②:【ディスカッション・演習】身近な女性のライフヒストリーから様々な女性の生き方や価値観を考える(小路)(5月24日金曜日)4限
9. 女性の生き方③:【プレゼンテーション・ディスカッション】身近な女性のライフヒストリーから様々な女性の生き方や価値観を考える(小路)(5月24日金曜日)5限
10. マイキャリア・マイライフプラン①:【講義と演習】これまでの経験を振り返り、これからの自分を考える(小路)(5月31日金曜日)4限
11. マイキャリア・マイライフプラン②:【演習】これまでの経験を振り返り、これからの自分を考える(小路)(5月31日金曜日)5限
12. マイキャリア・マイライフプラン③:【演習】これまでの経験を振り返り、これからの自分を考える(小路)(6月7日金曜日)4限
13. マイキャリア・マイライフプラン④:【グループディスカッション】これまでの経験を振り返り、これからの自分を考える(小路)(6月7日金曜日)5限

科目名	基礎Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	小路 浩子、洪 愛子		
<p>[成績評価方法] 課題レポート(80点: 課題は授業内で提示します) グループディスカッションにおける取り組み(20点: 参加態度、演習の成果物、学外特別講師の講義に対する感想・学びの提出状況及び記載内容)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・レポートは、後日添削して返却します。 ・グループディスカッションにおける取り組みは、その都度助言します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 課題レポート、グループディスカッションにおける取組</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題レポート、グループディスカッション・演習における取組</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題レポート、グループディスカッションにおける取組</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 課題レポート、演習・グループディスカッションにおける取組</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 課題レポート、演習・グループディスカッションにおける取組</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 課題レポート、演習・グループディスカッションにおける取組</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(プリント配布)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

P10020030 [GSI2-001]

[2看]*前期金4&一部金5

科目名	基礎Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	田和 真希		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>自身と社会に対する理解を深め、生涯を通じたキャリア形成、ライフプランをより明確にできる</p> <p>1.就職に関する情報に触れ、自らの適性について述べることができる</p> <p>2.企業が求める課題に対し、グループで解決策を見だし発表することができる</p> <p>3.社会の出来事に対し、多角的に理解し、説明することができる</p> <p>4.キャリア形成の指針となる、自身のキャリアアンカーに添った職業選択ができる</p> <p>[授業概要]</p> <p>就職活動に備えて、職業選択のための情報収集やその整理方法を学ぶと共に、ES作成や面接対策にもつながる、論理的で個性的なアウトプットの方法を身に着けます。キャリアの研究を行い著書のある教員が、キャリア理論に基づいたワークやグループディスカッションの指導を行い、興味関心のある社会問題を通して自己理解を深められるようになります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>次の授業のテキストの指定箇所を読み、質問事項を考えておいてください。</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回 イントロダクション ライフプランニングとは？キャリアプランとは？</p> <p>第2回 自己理解(1) 社会人基礎力 社会人基礎力診断</p> <p>第3回 自己理解(2) 多様化する女性の生き方</p> <p>第4回 課題解決プログラム(1)</p> <p>第5回 課題解決プログラム(2)</p> <p>第6回 課題解決プログラム(3)</p> <p>第7回 課題解決プログラム(4)</p> <p>第8回 就職に向けて(1)</p> <p>第9回 就職に向けて(2)</p> <p>第10回 社会理解(1) 時事問題</p> <p>第11回 社会理解(2) 時事問題</p> <p>第12回 社会理解(3) 時事問題</p> <p>第13回 ふりかえりとまとめ</p> <p>** 授業計画の形式・内容・順序は、社会状況・進捗状況によって入替・変更することがあります。</p>			

科目名	基礎Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	田和 真希		
<p>[成績評価方法] 授業中の提出物(小テスト・レスポンス等) (30%) 課題 (40%) まとめの課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: □ 授業中の提出物、課題、まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の提出物、課題、まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の提出物、課題、まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の提出物、課題、まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業中の提出物、課題、まとめの課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業中の提出物、課題、まとめの課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし manabaで資料を公開する。</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上 操		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。</p> <p>[授業概要] 個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(施設・設備の使い方等) 2. ストレッチングの意義とその効果について 3. 各部位のストレッチング方法を習得する 4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について/体力テスト 5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて/体力テスト 6. 各種のトレーニング方法の特徴について/体力テスト 7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得/体力テスト 8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について/基礎体力づくり① 9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について/基礎体力づくり② 10. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり① 11. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり② 12. 基礎体力づくり 13. まとめ 			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上 操		
<p>[成績評価方法] 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実技、受講態度・課題レポート提出</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 積極的な受講態度姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 課題レポート提出</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上 操		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(施設・設備の使い方等) 2. ストレッチングの意義とその効果について 3. 各部位のストレッチング方法を習得する 4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について/体力テスト 5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて/体力テスト 6. 各種のトレーニング方法の特徴について/体力テスト 7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得/体力テスト 8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり① 9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり② 10. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり① 11. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり② 12. 基礎体力づくり 13. まとめ 			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上 操		
<p>[成績評価方法] 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実技、受講態度・課題レポート提出</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 積極的な受講態度姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 課題レポート提出</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大沼 勇人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。</p> <p>[授業概要] 個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(施設・設備の使い方等) 2. ストレッチングの意義とその効果について 3. 各部位のストレッチング方法を習得する 4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について/体力テスト 5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて/体力テスト 6. 各種のトレーニング方法の特徴について/体力テスト 7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得/体力テスト 8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について/基礎体力づくり① 9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について/基礎体力づくり② 10. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり① 11. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり② 12. 基礎体力づくり 13. まとめ 			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大沼 勇人		
<p>[成績評価方法] 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート等は後日または授業内で返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

P10001410B [GSI1-007]

[1栄A]*前期水1

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	小島 理永		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。</p> <p>[授業概要] 個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(施設・設備の使い方等) 2. ストレッチングの意義とその効果について 3. 各部位のストレッチング方法を習得する 4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について/体力テスト 5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて/体力テスト 6. 各種のトレーニング方法の特徴について/体力テスト 7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得/体力テスト 8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり① 9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり② 10. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり① 11. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり② 12. 基礎体力づくり 13. まとめ 			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	小島 理永		
<p>[成績評価方法] 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート等は後日または授業内で返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：実技</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：実技</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：課題レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	西山 清子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。</p> <p>[授業概要] 個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(施設・設備の使い方等) 2. ストレッチングの意義とその効果について 3. 各部位のストレッチング方法を習得する 4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について/体力テスト 5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて/体力テスト 6. 各種のトレーニング方法の特徴について/体力テスト 7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得/体力テスト 8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり① 9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり② 10. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり① 11. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり② 12. 基礎体力づくり 13. まとめ 			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	西山 清子		
<p>[成績評価方法] 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート等は後日または授業内で返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上 操		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(施設・設備の使い方等) 2. ストレッチングの意義とその効果について 3. 各部位のストレッチング方法を習得する 4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について/体力テスト 5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて/体力テスト 6. 各種のトレーニング方法の特徴について/体力テスト 7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得/体力テスト 8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり① 9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり② 10. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり① 11. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり② 12. 基礎体力づくり 13. まとめ 			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上 操		
<p>[成績評価方法] 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実技、受講態度・課題レポート提出</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 積極的な受講態度姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 課題レポート提出</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	金谷 和幸		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。</p> <p>[授業概要] 個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(施設・設備の使い方等) 2. ストレッチングの意義とその効果について 3. 各部位のストレッチング方法を習得する 4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について/体力テスト 5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて/体力テスト 6. 各種のトレーニング方法の特徴について/体力テスト 7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得/体力テスト 8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり① 9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり② 10. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり① 11. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり② 12. 基礎体力づくり 13. まとめ 			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	金谷 和幸		
<p>[成績評価方法] 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート等は後日または授業内で返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上 操		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。</p> <p>[授業概要] 個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(施設・設備の使い方等) 2. ストレッチングの意義とその効果について 3. 各部位のストレッチング方法を習得する 4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について/体力テスト 5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて/体力テスト 6. 各種のトレーニング方法の特徴について/体力テスト 7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得/体力テスト 8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり① 9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息时间、テスト法について/基礎体力づくり② 10. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり① 11. トレーニングの理解と指導法について/基礎体力づくり② 12. 基礎体力づくり 13. まとめ 			

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	野之上 操		
<p>[成績評価方法] 実技(50%)、受講態度・課題レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：実技、受講態度・課題レポート提出</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：積極的な受講態度姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：課題レポート提出</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 優大		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To be able to understand short essays written in English</p> <p>[授業概要] The aim of this course is to give students primary skills for reading texts written in English. In addition to acquiring skills for reading English, students are expected to learn how to communicate with people with various cultural backgrounds through reading essays on the author's experiences abroad.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Hitchhiking Around the World 2. Olympic Spirit! 3. The Power of Greetings 4. Where's My Hotel? 5. Our Global Connections 6. Welcome Home! 7. The Secret of Life 8. Is This Seat Taken? 9. Exploring World Religions 10. Let's Study Abroad! 11. What's the Most Difficult Language? 12. A Crowded Planet! 13. Vocabulary Roadblocks 			

科目名	教養英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 優大		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Assignments: 30%, Final assessment(Test or Essay): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Off to the World! Adventures in Language and Life 著者名: Kip A. Cates 栗原典子□出版社: 金星堂□978-4-7647-3981-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English. Advanced class: TOEIC score (400~600) Standard class: TOEIC score (300~400)</p> <p>[授業概要]</p> <p>This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. classroom activities (based on textbook chapter 1) 3. classroom activities (based on textbook chapter 1) 4. classroom activities (based on textbook chapter 2) 5. classroom activities (based on textbook chapter 2) 6. classroom presentations (based on textbook chapter 3) 7. classroom presentations (based on textbook chapter 3) 8. classroom activities (based on textbook chapter 4) 9. classroom activities (based on textbook chapter 4) 10. classroom activities (based on textbook chapter 5) 11. classroom activities (based on textbook chapter 5) 12. classroom activities (based on textbook chapter 6) 13. classroom activities (based on textbook chapter 6) 			

科目名	教養英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを通じて教員のコメントを添付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] Voices <Level 2> Student Book (192 pp) with Spark Access + e-Book (1 year access) 著者名: Emily Bryson, Gary Pathare, Chia Suan Chong, Lewis Lansford, Christien Lee, Daniel Barber, Marek Kic 出版社: Cengage Learning. (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし (none)</p>			

科目名	教養英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 優大		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To be able to understand short essays written in English</p> <p>[授業概要] The aim of this course is to give students primary skills for reading texts written in English. In addition to acquiring skills for reading English, students are expected to learn how to communicate with people with various cultural backgrounds through reading essays on the author's experiences abroad.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Hitchhiking Around the World 2. Olympic Spirit! 3. The Power of Greetings 4. Where's My Hotel? 5. Our Global Connections 6. Welcome Home! 7. The Secret of Life 8. Is This Seat Taken? 9. Exploring World Religions 10. Let's Study Abroad! 11. What's the Most Difficult Language? 12. A Crowded Planet! 13. Vocabulary Roadblocks 			

科目名	教養英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上 優大		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Assignments: 30%, Final assessment(Test or Essay): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Off to the World! Adventures in Language and Life 著者名: Kip A. Cates 栗原典子□出版社: 金星堂□978-4-7647-3981-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル	基本動詞の習得と基礎的表現力の強化	演習	
担当者	桂山 康司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- ①文語、口語のどちらの一方にも偏ることなく、バランスのとれた表現力を身に付けることができる。
- ②自身の英語力を自覚することを通じて、自然な英文とはどのようなものかについて十分理解できるようになる。
- ③言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。
- ④自分の思いを相手にうまく伝えることができるようになる。

[授業概要]

欧米の標準的な人がどの程度の教養をもち、どのような英文を読み書きしているのかを、標準英語による実例を通じて実感し、英語表現の特質や文化的背景についての理解を深める。
 ここでは、『5分間 基本動詞を用いた実用英語表現』を用いて日常の平易な慣用表現を習得するためのドリルを行います。同時に、プリントを用いて英文和訳の基礎的訓練を行います。
 毎回、十分な準備と、しっかりした心構えで出席することが必要です。がんばりましょう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。

[授業計画]

1. 導入。基本動詞や慣用句について、また、口語表現と文語表現のそれぞれの特徴について解説します。
2. 『基本動詞』UNIT 1, 2(GIVE)に取り上げられている熟語、慣用句についての解説。加えて、和文英訳問題プリントにある第1回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
3. 『基本動詞』UNIT 1, 2(GIVE)に対する設問の解答。同UNIT 3, 4(GET)に取り上げられている熟語、慣用句についての解説。加えて、和文英訳問題プリントにある第2回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
4. 『基本動詞』UNIT 3, 4(GET)に対する設問の解答。同UNIT 5, 6(HAVE)に取り上げられている熟語、慣用句についての解説。加えて、和文英訳問題プリントにある第3回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
5. 『基本動詞』UNIT 5, 6(HAVE)に対する設問の解答。同UNIT 7, 8(TAKE)に取り上げられている熟語、慣用句についての解説。加えて、和文英訳問題プリントにある第4回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
6. 『基本動詞』UNIT 7, 8(TAKE)に対する設問の解答。同UNIT 9, 10(MAKE)に取り上げられている熟語、慣用句についての解説。加えて、和文英訳問題プリントにある第5回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
7. 『基本動詞』UNIT 9, 10(MAKE)に対する設問の解答。同UNIT 11, 12(BRING, CALL)に取り上げられている熟語、慣用句についての解説。加えて、和文英訳問題プリントにある第6回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
8. 『基本動詞』UNIT 11, 12(BRING, CALL)に対する設問の解答。同UNIT 13, 14(DO, PUT)に取り上げられている熟語、慣用句についての解説。加えて、和文英訳問題プリントにある第7回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
9. 『基本動詞』UNIT 13, 14(DO, PUT)に対する設問の解答。同UNIT 15, 16(COME, GO)に取り上げられている熟語、慣用句についての解説。加えて、和文英訳問題プリントにある第8回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
10. 『基本動詞』UNIT 15, 16(COME, GO)に対する設問の解答。同UNIT 17, 18(LOOK, HOLD)に取り上げられている熟語、慣用句についての解説。加えて、和文英訳問題プリントにある第9回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
11. 『基本動詞』UNIT 17, 18(LOOK, HOLD)に対する設問の解答。同UNIT 19, 20(KEEP, RUN)に取り上げられている熟語、慣用句についての解説。加えて、和文英訳問題プリントにある第10回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
12. 『基本動詞』UNIT 19, 20(KEEP, RUN)に対する設問の解答。加えて、和文英訳問題プリントにある第11回課題文を英訳してきてもらい、板書等を用いて添削指導を行います。
13. テキストや和文英訳についての理解度確認テスト・解説。

科目名	教養英語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル	基本動詞の習得と基礎的表現力の強化	演習	
担当者	桂山 康司		

[成績評価方法]

Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment (Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度

[教科書 (ISBN)]

『5分間 基本動詞を用いた実用英語表現』 著者名: 友繁義典 他 出版社: 南雲堂 (978-4-523-17764-7)

[参考書 (ISBN)]

なし

科目名	教養英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル	Developing balanced English skills	演習	
担当者	井上 優大		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>To be able to get the main points of English short texts or conversations To be able to express ideas in English using simple vocabulary and grammar</p> <p>[授業概要]</p> <p>The class aims to develop students' four skills of English in a balanced manner. Class activities will include watching short videos, reading short articles, writing down your ideas, and presenting them. The chapters are based on topics familiar to the youth, which should help students get interested and engaged in class.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Unique Travel Experiences 3. Our Future Under Water? 4. A DIY-Sushi Party with Friends 5. Naughty but Lovely: Australia's Cockatoos 6. How to Become a Good Journalist 7. Cooling is Heating? 8. Universal Credit: Helping or Hurting the Poor? 9. Fashion's Resale Evolution 10. Finding Treasures in the Trash 11. Climate Protectors Going to Prison. 12. The Changing Meaning of "Home" 13. Women Still Dying in Pregnancy 			

科目名	教養英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル	Developing balanced English skills	演習	
担当者	井上 優大		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment (Test or Essay): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] INTEGRITY Beginner: Vitalize Your English Studies with Authentic Videos 著者名: 竹内 理 佐々木 顕彦 川光 大介 森安 瑞希 出版社: 金星堂 (978-4-7647-4174-4)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	教養英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English. Advanced class: TOEIC score (400~600) Standard class: TOEIC score (300~400)</p> <p>[授業概要] This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.</p> <p>[授業計画] 1.classroom activities (based on textbook chapter 7) 2. classroom activities (based on textbook chapter 7) 3. classroom activities (based on textbook chapter 8) 4. classroom activities (based on textbook chapter 8) 5.classroom presentations (based on textbook chapter 9) 6. classroom presentations (based on textbook chapter 9) 7. classroom activities (based on textbook chapter 10) 8. classroom activities (based on textbook chapter 10) 9. classroom activities (based on textbook chapter 11) 10. classroom activities (based on textbook chapter 11) 11. classroom activities (based on textbook chapter 12) 12. classroom activities (based on textbook chapter 12) 13. Overall review</p>			

科目名	教養英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家 輝		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを通じて教員のコメントを添付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内課題、プレゼンテーション課題、期末レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] Voices <Level 2> Student Book (192 pp) with Spark Access + e-Book (1 year access) 著者名: Emily Bryson, Gary Pathare, Chia Suan Chong, Lewis Lansford, Christien Lee, Daniel Barber, Marek Kic 出版社: Cengage Learning. (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし (none)</p>			

科目名	教養英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル	Developing balanced English skills	演習	
担当者	井上 優大		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To be able to get the main points of English short texts or conversations To be able to express ideas in English using simple vocabulary and grammar</p> <p>[授業概要] The class aims to develop students' four skills of English in a balanced manner. Class activities will include watching short videos, reading short articles, writing down your ideas, and presenting them. The chapters are based on topics familiar to the youth, which should help students get interested and engaged in class.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class but also active participation is necessary.</p> <p>[授業計画] 1. Introduction 2. Unique Travel Experiences 3. Our Future Under Water? 4. A DIY-Sushi Party with Friends 5. Naughty but Lovely: Australia's Cockatoos 6. How to Become a Good Journalist 7. Cooling is Heating? 8. Universal Credit: Helping or Hurting the Poor? 9. Fashion's Resale Evolution 10. Finding Treasures in the Trash 11. Climate Protectors Going to Prison. 12. The Changing Meaning of "Home" 13. Women Still Dying in Pregnancy</p>			

科目名	教養英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル	Developing balanced English skills	演習	
担当者	井上 優大		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment (Test or Essay): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] INTEGRITY Beginner: Vitalize Your English Studies with Authentic Videos 著者名: 竹内 理 佐々木 顕彦 川光 大介 森安 瑞希 出版社: 金星堂 (978-4-7647-4174-4)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	教養英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル	文学的表現の味読	演習	
担当者	桂山 康司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>①クローズ・リーディング(close reading)を実践することで、優れた英文をじっくり味わうことができるようになる。 ②言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。 ③相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。 ④異文化理解を通じて、人間理解を深めることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>単に表面上の大意を把握するだけでは飽き足らずに、さらに、言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ得るには、優れた英文の実例、例えば、文学作品に親しむことが一番の近道です。しかし、文学などというものはどこか近寄りがたいところがあって、ただ漫然と読むだけでは、どこまで味わうことができているのか、おぼつかないところがあり、いわんや、日本人には外国語である英語で書かれた作品を味読するとなればその困難は言うまでもないでしょう。そんな悩みのある方にお勧めなのが、英文は平易と見えても、その語る内容には、簡単には読み飛ばせない、奥行きを感じさせる古典作品や名演説文等の味読です。ここでは、イギリスの小説家・劇作家であるモーム(1874-1965)の佳品 The Romantic Young Lady を、こまやかな想いの一つ一つを丹念に拾い上げながら精読し、愛や、人というものについて、一緒に考えてみましょう。 毎回、十分な準備と、しっかりした心構えで出席することが必要です。がんばりましょう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入。短編小説の表現上の特質を、長編小説や詩と対比することで、解説します。 2. テキストpp. 4~6を精読します。 3. テキストpp. 6~8を精読します。 4. テキストpp. 10~12を精読します。 5. テキストpp. 12~14を精読します。 6. テキストpp. 16~18を精読します。 7. テキストpp. 18~20を精読します。 8. テキストpp. 22~24を精読します。 9. テキストpp. 24~26を精読します。 10. テキストpp. 28~30を精読します。 11. テキストpp. 30~32を精読します。 12. テキストpp. 34~36を精読します。 13. テキスト本文についての理解度確認テスト・解説。 			

科目名	教養英語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル	文学的表現の味読	演習	
担当者	桂山 康司		
<p>[成績評価方法] Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>[教科書(ISBN)] 『詳注・詳解 英語の読み方』 著者名: 行方昭夫他 編注 出版社: 音羽書房鶴見書店 (978-4-7553-0119-3)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木 佑真		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 基本的な語彙を使って、4技能の基本的なコミュニケーションが取れるようになることを到達目的とする。</p> <p>[授業概要] ネイティブスピーカーの英語に加え、アジア、ヨーロッパなど、ノンネイティブスピーカーのバラエティに富んだ英語を取り入れた教材を使い、各国の文化や様々な英語に触れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、レッスン1 2.ユニット1 College Life Japan 1 3.ユニット1 College Life Japan 2 4.ユニット2 Mobile Phones England 1 5.ユニット2 Mobile Phones England 2 6.ユニット3 Movies India 7.ユニット3 Movies India 8.ユニット3 Movies India 9.ユニット4 Dating Mexico 10.ユニット4 Movies India 11.ユニット5 International Food Korea 12.ユニット6 World Englishes Singapore 13.まとめ</p>			

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木 佑真		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Assignments 30%, Final assessment (Test or Essay) 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間中の応答</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：Active participation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：Active participation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：Active participation</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：Assignments Final assessment</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：Assignments Final assessment</p> <p>[教科書(ISBN)] Global Activator 著者名：塩崎正 Gregory A. King 出版社：金星堂 (978-4-7647-4003-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル	アカデミックイングリッシュの特質	演習	
担当者	桂山 康司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>①クローズ・リーディング(close reading)を実践することで、優れた英文をじっくり味わうことができるようになる。 ②言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。 ③相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。 ④異文化理解を通じて、人間理解を深めることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>欧米の標準的な知識人がどの程度の教養をもち、どのような英文を読み書きしているのかを、アカデミックイングリッシュの実例を通じて実感し、英語史や文化的背景についての理解を深めます。そのために、『学術語彙集』を活用し、また、別途、配布する例文集の読解を通じて、学術語彙の習得を行います。毎回、十分な準備と、しっかりした心構えで出席することが必要です。がんばりましょう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1. 導入。大学における外国語教育の意義とその目的を解説し、アカデミックイングリッシュを目標とすることの理由を説明したあと、『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」1-35の解説をします。 2. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」1-35に関する例文の読解を行い、同36-70に対する解説をします。 3. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」36-70に関する例文の読解を行い、同71-105に対する解説をします。 4. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」71-105に関する例文の読解を行い、同106-140に対する解説をします。 5. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」106-140に関する例文の読解を行い、同141-175に対する解説をします。 6. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」141-175に関する例文の読解を行い、同176-210に対する解説をします。 7. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」176-210に関する例文の読解を行い、同211-245に対する解説をします。 8. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」211-245に関する例文の読解を行い、同246-280に対する解説をします。 9. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」246-280に関する例文の読解を行い、同281-315に対する解説をします。 10. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」281-315に関する例文の読解を行い、同316-350に対する解説をします。 11. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」316-350に関する例文の読解を行い、同351-382に対する解説をします。 12. 『語彙集』掲載の「文系・理系共通語彙」351-382に関する例文の読解を行います。学術語彙の特徴についての補足説明を行います。 13. 授業で取り上げた例文についての理解度確認テスト・解説。</p>			

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル	アカデミックイングリッシュの特質	演習	
担当者	桂山 康司		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Assignments 30%, Final assessment (Test or Essay) 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：理解度確認テスト、小テスト、授業態度</p> <p>[教科書(ISBN)] 『京大術語彙データベース 基本英単語1110』 著者名：京都大学英語学術語彙研究グループ 他 出版社：研究社 (978-4-327-45221-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本 渚子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 基本的な語彙を使って、4技能の基本的なコミュニケーションが取れるようになることを到達目的とする。</p> <p>[授業概要] ネイティブスピーカーの英語に加え、アジア、ヨーロッパなど、ノンネイティブスピーカーのバラエティに富んだ英語を取り入れた教材を使い、各国の文化や様々な英語に触れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、ユニット1 College Life Japan 1 2.ユニット1 College Life Japan 2 3.ユニット2 Mobile Phones England 1 4.ユニット2 Mobile Phones England 2 5.ユニット3 Movies India 1 6.ユニット3 Movies India 2 7.ユニット4 Dating Mexico 1 8.ユニット4 Dating Mexico 2 9.ユニット5 International Food Korea 1 10.ユニット5 International Food Korea 2 11. ユニットの復習 (ユニット1～5) 12. 試験 13.まとめ</p>			

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本 渚子		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Assignments 30%, Final assessment (Test or Essay) 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間中の応答</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Global Activator 著者名: 塩崎正 Gregory A. King 出版社: 金星堂 (978-4-7647-4003-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養英語Ⅱ-2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木 佑真		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 基本的な語彙を使って、4技能の基本的なコミュニケーションが取れるようになることを到達目的とする。</p> <p>[授業概要] ネイティブスピーカーの英語に加え、アジア、ヨーロッパなど、ノンネイティブスピーカーのバラエティに富んだ英語を取り入れた教材を使い、各国の文化や様々な英語に触れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、ユニット7 Weekends / Vacations Hong Kong 2.ユニット8 Music / Songs USA 1—Africa—American English—1 3.ユニット8 Music / Songs USA 1—Africa—American English—2 4.ユニット9 Sports Australia 1 5.ユニット9 Sports Australia 2 6.ユニット10 Shopping China 1 7.ユニット10 Shopping China 2 8.ユニット11 Traveling / Studying Overseas USA 2—Midwestern English—1 9.ユニット11 Traveling / Studying Overseas USA 2—Midwestern English—2 10.ユニット12 Festivals / Parties Germany 11.ユニット13 Part-time / Future Jobs Brazil 12.ユニット14 Experiences The Philippines 13.まとめ</p>			

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	荒木 佑真		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Assignments 30%, Final assessment (Test or Essay) 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間中の応答</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Global Activator 著者名: 塩崎正 Gregory A. King 出版社: 金星堂 (978-4-7647-4003-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル	文学的表現の味読	演習	
担当者	桂山 康司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>①クローズ・リーディング(close reading)を実践することで、優れた英文をじっくり味わうことができるようになる。 ②言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。 ③相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。 ④異文化理解を通じて、人間理解を深めることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>単に表面上の大意を把握するだけでは飽き足らずに、さらに、言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ得るには、優れた英文の実例、例えば、文学作品に親しむことが一番の近道です。しかし、文学などというものはどこか近寄りたいたいところがあって、ただ漫然と読むだけでは、どこまで味わうことができているのか、おぼつかないところがあり、いわんや、日本人には外国語である英語で書かれた作品を味読するとなればその困難は言うまでもないでしょう。そんな悩みのある方にお勧めなのが、英文は平易と見えても、その語る内容には、簡単には読み飛ばせない、奥行きを感じさせる古典作品や名演説文等の味読です。ここでは、アメリカの小説家フォークナー(1897-1962)の短編小説の佳品 A Rose for Emily を、こまやかな想いの一つ一つを丹念に拾い上げながら精読し、愛や、人というものについて、一緒に考えてみましょう。</p> <p>毎回、十分な準備と、しっかりした心構えで出席することが必要です。がんばりましょう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1 時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入。短編小説の表現上の特質を、長編小説や詩と対比することで、解説します。 2. テキストpp. 7~8を精読します。 3. テキストpp. 8~9を精読します。 4. テキストpp. 10~11を精読します。 5. テキストpp. 11~12を精読します。 6. テキストpp. 13~14を精読します。 7. テキストpp. 14~15を精読します。 8. テキストpp. 16~17を精読します。 9. テキストpp. 17~18を精読します。 10. テキストpp. 18~19を精読します。 11. テキストpp. 19~20を精読します。 12. テキストpp. 20~21を精読します。 13. テキスト本文についての理解度確認テスト・解説。 			

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル	文学的表現の味読	演習	
担当者	桂山 康司		

[成績評価方法]

Active participation: 30%, Presentation: 30%, Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、授業態度

[教科書(ISBN)]

『A Rose for Emily and Other Stories』 著者名: William Faulkner 出版社: 英宝社 (978-4-269-02025-2)

[参考書(ISBN)]

なし

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本 渚子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 基本的な語彙を使って、4技能の基本的なコミュニケーションが取れるようになることを到達目的とする。</p> <p>[授業概要] ネイティブスピーカーの英語に加え、アジア、ヨーロッパなど、ノンネイティブスピーカーのバラエティに富んだ英語を取り入れた教材を使い、各国の文化や様々な英語に触れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、ユニット6 World Englishes Singapore 1 2.ユニット6 World Englishes Singapore 2 3.ユニット7 Weekends/ Vacations Hong Kong 1 4.ユニット7 Weekends/ Vacations Hong Kong 2 5.ユニット8 Music/ Songs USA 1- African- American English 1 6.ユニット8 Music/ Songs USA 1- African- American English 2 7.ユニット9 Sports Australia 1 8.ユニット9 Sports Australia 2 9.ユニット10 Shopping China 1 10.ユニット10 Shopping China 2 11.ユニット復習(ユニット6～10) 12.試験 13.まとめ</p>			

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本 渚子		
<p>[成績評価方法] Active participation 30%, Assignments 30%, Final assessment (Test or Essay) 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時間中の応答</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Global Activator 著者名: 塩崎正 Gregory A. King 出版社: 金星堂 (978-4-7647-4003-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援	演習	
担当者	曾田 里美、下司 実奈		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 子育て支援活動に参加して子どもやその保護者の話を聴くこと、活動内容や自分の思いを適切に伝えることができるようになる。</p> <p>[授業概要] この授業は、大学において毎月実施している子育て支援活動に参加してもらいます。活動では、教員の指導のもと、日常生活ではなかなか体験できないような親子遊びを考えて提供していきます。活動を通して親子と一緒に楽しみながら、子育て支援を展開していくうえでの配慮や工夫、子どもや保護者に対する適切な関わりについて体得していくことを目指します。 担当教員は児童福祉施設での実践経験を活かして、子どもや保護者との関わり方を指導します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の講義について予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度) 日頃より子どもや子育てに関する問題、子どもの興味や遊びに関心をもつとともに、活動の準備として自分が担当する役割についてシミュレーションしておいてください。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション・子育て支援とは (下司・曾田) 2. 子育て支援活動①の準備 (下司・曾田) 3. 子育て支援活動① (下司・曾田) 4. 子育て支援活動① (下司・曾田) 5. 子育て支援活動②の準備 (下司・曾田) 6. 子育て支援活動② (下司・曾田) 7. 子育て支援活動② (下司・曾田) 8. 子育て支援活動③の準備 (下司・曾田) 9. 子育て支援活動③ (下司・曾田) 10. 子育て支援活動③ (下司・曾田) 11. 子育て支援活動④の準備 (下司・曾田) 12. 子育て支援活動④ (下司・曾田) 13. 子育て支援活動④ (下司・曾田)</p> <p>※受講人数を10人に制限します。 第1回のオリエンテーション時に授業概要・趣旨を説明したうえで、受講希望を確認します。 受講希望者が10人を超えた場合は、抽選により選考します。</p> <p>※子育て支援活動①～④は、月1回土曜日(午前)に2コマ行います。 日程についてはオリエンテーション時に発表します。</p>			

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援	演習	
担当者	曾田 里美、下司 実奈		
<p>[成績評価方法] 授業(活動)参加態度(60%)、振り返りレポート(40%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは後日添削して返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:活動状況、振り返りレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:活動状況、振り返りレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:活動状況、振り返りレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:活動状況、振り返りレポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	地域の課題解決実践	演習	
担当者	吉川 祐介、小沢 康英、秋山 学		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>(1)地域の企業等とつながりを持ち、実社会での実践的課題を知る。 (2)解決する課題を把握し、解決策を検討する姿勢を強める。 (3)グループワークを通じて、チーム連携のための工夫や配慮を理解する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>地域の企業等が抱えるさまざまな課題を知り、グループワークを行いながら、解決の方向性を検討する。そのため、地域の企業等を招いてその現状や課題について説明を受けたり、対象企業への聞き取りなどを行うことで、課題の重点を把握する。その課題に対し、解決策を検討し、検討結果を発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>社会動向への関心を広めるなかで、前回の授業内容の理解を深め、次回の授業の予習をしておくこと。各回、予習・復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の進め方の確認(吉川祐介) 2. グループワークの進め方(小沢康英) 3. 課題の把握、解決策の枠組み(小沢康英) 4. 地域の企業等による現状の説明(吉川祐介) 5. 対象企業に対する聞き取りなど(吉川祐介) 6. 課題の抽出(吉川祐介、秋山学、小沢康英) 7. 課題の絞り込み(吉川祐介、秋山学、小沢康英) 8. 解決の方向性の検討(吉川祐介、秋山学、小沢康英) 9. 解決の方向性の確定(吉川祐介、秋山学、小沢康英) 10. 解決の具体策の検討(吉川祐介、秋山学、小沢康英) 11. 解決の具体策のまとめ(吉川祐介、秋山学、小沢康英) 12. 課題解決策の発表(秋山学) 13. 課題解決への取り組みの振り返り(秋山学) <p>※パソコン必携。</p>			

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	地域の課題解決実践	演習	
担当者	吉川 祐介、小沢 康英、秋山 学		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題(100%)等で、総合的に判断して評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の発表時に随時フィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業中の課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業中の課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業中の課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2単位
サブタイトル	地域子育て支援	演習	
担当者	曾田 里美、下司 実奈		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 地域における子育て支援の必要性を理解するとともに、活動への参加を通して子どもや保護者に適切に関われるようになる。</p> <p>[授業概要] この授業は、大学において毎月実施している子育て支援活動に参加してもらいます。活動では、大学という環境の中でこそ展開できるプログラムを学生自身が考案し、準備します。活動の前には、どのような遊びをどのように展開するのかという企画、活動に向けての準備(練習)、活動の後にはその振り返りを行います。これらのプロセスを通して、参加する親子と一緒に楽しみながら、子どもの発達にあわせた働きかけ、言葉かけを工夫し、子どもやその保護者と適切に関わる実践力を体得していくことを目指します。 担当教員は児童福祉施設での実践経験を活かして、子どもや保護者との関わり方を指導します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の講義について予習・復習を行うこと(各回、予習・復習を合わせて1時間程度)。 日頃より子どもや子育てに関する問題、子どもの興味や遊びに関心をもつとともに、活動の準備として自分が担当する役割のシミュレーションをしておいてください。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション・4回のプログラムの企画 (下司・曾田) 2. 子育て支援活動①の準備 (下司・曾田) 3. 子育て支援活動① (下司・曾田) 4. 子育て支援活動① (下司・曾田) 5. 子育て支援活動②の準備 (下司・曾田) 6. 子育て支援活動② (下司・曾田) 7. 子育て支援活動② (下司・曾田) 8. 子育て支援活動③の準備 (下司・曾田) 9. 子育て支援活動③ (下司・曾田) 10. 子育て支援活動③ (下司・曾田) 11. 子育て支援活動④の準備 (下司・曾田) 12. 子育て支援活動④ (下司・曾田) 13. 子育て支援活動④ (下司・曾田)</p> <p>※受講人数を10人に制限します。 第1回のオリエンテーション時に授業概要・趣旨を説明したうえで、受講希望を確認します。受講希望者が10人を超えた場合は、抽選により選考します。</p> <p>※子育て支援活動①～④は、月1回土曜日(午前中)2コマ行います。 日程についてはオリエンテーション時に発表します。</p>			

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	地域子育て支援	演習	
担当者	曾田 里美、下司 実奈		
<p>[成績評価方法] 授業(活動)参加態度(60%)、活動の振り返りレポート(40%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:活動状況、振り返りレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:活動状況、振り返りレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:活動状況、振り返りレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:活動状況、振り返りレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:活動状況、振り返りレポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2単位
サブタイトル	ITビジネス～女性×神戸×心理を軸に～	演習	
担当者	浅木森 和夫、吉川 祐介		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] ITビジネスの基礎知識の認識と課題解決力の養成し、最終課題としての社会で通用するビジネスモデルの提案ができる。</p> <p>[授業概要] ITは、社会課題を解決してウェルビーイングを実現する、今もっとも必要なツールの1つと言っても過言ではありません。本授業では、神戸を中心に活躍するITビジネスの実業家から与えられた課題を、グループで解決提案をするかたちで学びを進めます。 IT業界は、社会での存在感と価値は今後さらに高まることは明白です。若年者はITへの適応力が高いということもあり、今後のキャリアとしてIT業界で活躍する方も多いでしょうし、どの業界であってもITビジネスを活かすことが強く求められます。 重要なことはITは技術だけがあればよいのではなく、人が幸せを感じることはなにかという人の心理に基づいて、そしてビジネスとして成立させる視点も不可欠です。それらをふまえて学外特別講師から講義頂きます。最終課題として、グループで実現可能なITビジネスを1つ提案してもらいます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各講師から出されるITビジネスに関する課題に対してグループで解決策を提示します。与えられた課題の解決策を提案できるよう準備をしてください。準備学習の時間:各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. 授業計画、ITビジネスとは、課題①検討(浅木森・吉川)□ 2. 課題①検討のグループワーク(外部講師)(浅木森・吉川)□ 3. 課題①の解決策発表、課題②検討(浅木森・吉川)□ 4. 課題②検討のグループワークの検討(外部講師)(浅木森・吉川)□ 5. 課題②の解決策発表、課題③検討(浅木森・吉川)□ 6. 課題③検討の個人ワーク(外部講師)(浅木森・吉川)□ 7. 課題③の解決策発表、課題④検討(浅木森・吉川)□ 8. 課題④検討の個人のワーク(外部講師)(浅木森・吉川)□ 9. 課題④の解決策発表、課題⑤検討(浅木森・吉川)□ 10. 課題⑤検討のグループワーク(外部講師)(浅木森・吉川)□ 11. 課題⑤の解決策発表、最終課題検討のグループワーク(浅木森・吉川)□ 12. 最終課題の中間発表と検討(外部講師)(浅木森・吉川)□ 13. 最終課題の発表と振り返り(浅木森・吉川)□ ※2023年度開講時から2025年度までの開講です。□ ※受講には情報Aと情報Cを履修していることが望ましいです。パソコン必携です。</p>			

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	ITビジネス～女性×神戸×心理を軸に～	演習	
担当者	浅木森 和夫、吉川 祐介		
<p>[成績評価方法] 個人の取り組み60%(毎回の課題)、グループの取り組み40%(プロセス評価20%成果物評価20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題の発表時に随時フィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] いちばんやさしいITパスポート 著者名:高橋 京介 出版社:SBクリエイティブ (978-4815618407)</p>			

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	心理・社会的介入	講義	
担当者	津田 理恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>心理・社会的介入方法について理解できる 回想法が理解できる 音楽療法が理解できる 動物介在療法が理解できる 園芸療法が理解できる</p> <p>[授業概要]</p> <p>臨床福祉学を学んだ教員が、心理・社会的介入方法として回想法、音楽療法、動物介在療法など、すぐに誰にでも活用できる技法として、その技法や効果とともに介入方法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>心理・社会的介入方法に興味を持てるように、授業の予習と復習を各回4時間程度行う</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.心理・社会的介入222. 様々な技法 3. コミュニケーション 4. 回想法とその効果 5. 回想法体験 6. 音楽療法と効果 5. 音楽療法の実際 (学外特別講師) 7. 音楽療法の体験 8. アニマルセラピーとその効果 9. 園芸療法とその効果 10. 昭和時代の理解 11. その他の技法について 12. その他の技法の体験 13. 振り返り 			

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	心理・社会的介入	講義	
担当者	津田 理恵子		
<p>[成績評価方法] 毎回の授業アンケートの回答内容(50%) レポート課題(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業の開始時に、前回の授業を振り返りコメントをします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業アンケート レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業アンケート レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:毎回の授業アンケート レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:毎回の授業アンケート レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習	講義	
担当者	水川 布美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 大学生に必要な学習スキルを身につけ、日本語力(理解力、論理的思考力、正確で豊かな表現力)の向上を図り、レポートやプレゼンテーションに活かせるようにする。</p> <p>[授業概要] ①聞く・読む技術、②調べる・整理する技術、③まとめる・書く技術、④表現する・伝える技術を、講義や課題の作成・提出、発表などを通して学習する。 ①では、大学の授業だけではなく、社会人となつてからも活用できる、ノートテイキングの方法や要約の方法を学ぶ。②では、図書館に行ったり、インターネットを使つての情報収集の方法を学んだりする。③では、アカデミック・ライティングとしてのレポートや論文の作成方法、パソコンを使った書き方を学ぶ。④では、プレゼンテーションの準備をして、実際に発表する。 授業は教科書を使用して進める。課題や発表を通して、大学生に必要な学習の方法を身に付けることを目指す。上級生に関しては、卒業論文を見据えたレポート執筆を指導する。また、会話・手紙・メールなど、コミュニケーションを高める日本語能力を養うための課題プリントを毎回配布し、添削の上返却する。(提出は自由) なお受講生が多数の場合、発表はグループ発表となる場合がある。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 学んだ内容を他の授業や日常生活で実際に活かすこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス・アカデミックスキルズ、レポートについて 2. ノートの取り方・テーマの選び方 3. 情報収集(図書館情報検索ツアー)・構想マップと思考マップ 4. 本の読み方・クリティカルリーディングと情報整理 5. アウトライン作成 6. 構成の再検討と追加調査 7. パラグラフを書く 8. 本文とデータの活用法 9. 引用の方法、発表の準備 10. 文章・表現・形式のチェック、発表① 11. 発表② 12. 発表③、レポート最終チェック、まとめ 13. まとめ</p>			

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習	講義	
担当者	水川 布美子		
<p>[成績評価方法] 課題提出を含む受講態度(30%)、発表(30%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の課題、及び最終レポートは、添削あるいはコメントを付して次週に返却(またはmanabaにコメント)する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:提出物・レポート・口頭発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:提出物・レポート・口頭発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:提出物・レポート・口頭発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:提出物・レポート・口頭発表</p> <p>[教科書(ISBN)] ピアで学ぶ大学生の日本語表現[第2版] 著者名:大島弥生他 出版社:ひつじ書房 (978-4-89476-709-6) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く』 著者名:神戸女子大学全学共通教育部</p> <p>[参考書(ISBN)] プリント配布</p>			

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	日本人の他界観 死生観 生と死	講義	
担当者	大山 範子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 古代から近代に至る日本人の他界観・死生観について知り、自分なりに「死」と「生」について考える。さらに、そうした自分の考えを他人に説明することができる。</p> <p>[授業概要] 近代までの日本人が、死の世界を古来どのようにとらえてきたのか、あるいは人生についてどのように考えてきたのかといったことを、文学作品や芸能を中心に概観する。また、最後に「死生観」という語が生み出された近代のさまざまな言説にも触れ、考察する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 事前に講義内容を予告し、資料を配付するので、必ず目を通して頂くこと。</p> <p>[授業計画] 01. はじめに 02. 日本人の「他界」について 03. 記紀神話にみる他界 04. 『万葉集』にみる他界 05. 『日本霊異記』にみる他界 06. 『往生要集』にみる他界 07. 浄土教美術にみる他界 08. 中世の芸能にみる他界(1) 09. 中世の芸能にみる他界(2) 10. 中世の文芸にみる他界 11. 近世の芸能にみる他界 12. 近世の文芸にみる他界 13. 「死生観」ということば —近代の言説—</p>			

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	日本人の他界観 死生観 生と死	講義	
担当者	大山 範子		
<p>[成績評価方法] 期末試験(60%)および講義時の小課題(不定期、数回を予定)(40%)によって評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともmanabaを利用。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小課題・期末レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。プリントを配布する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 開講時および適宜指示する。</p>			

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	新聞を読もう～「実用日本語とメディアリテラシー 社会人基礎力を身につける ために」	講義	
担当者	佐々木 宏		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 社会人としてのコミュニケーションに必要な「実用日本語」を使いこなせるようになる。情報の送り手の意図を理解し、事実や意見を相手に正確に伝える文章力とプレゼン力を身につける。</p> <p>[授業概要] 実用日本語の宝庫である新聞を題材にするので、毎回、当日の朝刊を提供。コロナ禍の制限だらけの日々を抜けたはずなのに、気持ちがすっきり明るくならないのはなぜだろう。物価高、SNSによる誹謗中傷など暮らしは苦しく、生きづらいのに、とかく成長や変化が求められる。そんな社会の中で、医療や福祉をはじめ経済、外交など世の中の出来事がどのように取り上げられているか、記事やコラムを読んで問題点を理解する。グループ討論やプレゼンで、記事に対する自分の意見を根拠を示しながら発表する。作文も課し、元朝日新聞記者の講師が添削。授業で取り上げて講評する。読者投稿欄にもトライし、紙面掲載も目指す。 基礎的な語彙の訓練。就職採用試験における小論文、ESの書き方対策も視野に入れる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 講義の際に指示する。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.講義概要「実用日本語と社会人基礎力」 2.新聞の読み方(一面、コラム、社説、読者投稿欄、医療、福祉、社会面など) 3.文章の書き方(作文、小論文、レポートのまとめ方) 4.記事を読み解く・ビブリオバトル①(福祉と医療) 5.記事を読み解く・ビブリオバトル②(ネット社会・言論の自由) 6.記事を読み解く・ビブリオバトル③(男女格差・ジェンダー) 7.記事を読み解く・ビブリオバトル④(高齢化社会) 8.記事を読み解く・ビブリオバトル⑤(政治と選挙) 9.記事を読み解く・ビブリオバトル⑥(スポーツ) 10.グループ討論①ジェンダー 11.グループ討論②福祉 12.ESに挑戦 13.総括「情報洪水化社会をどう生きる～問われるコミュニケーション力」</p>			

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	新聞を読もう～「実用日本語とメディアリテラシー」 社会人基礎力を身につける ために	講義	
担当者	佐々木 宏		
<p>[成績評価方法] 課題(作文など) (60%)、語学カミニテスト(20%)、プレゼン評価(20%)。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 各課題に対して添削を行い、原則、次回にフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法：レポート提出60点、語彙ミニテスト20点、プレゼン発表など20点</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：レポート60点、語彙ミニテスト20点、プレゼン発表など20点</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：レポート60点、語彙ミニテスト20点、プレゼン発表など20点</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：レポート60点、語彙ミニテスト20点、プレゼン発表など20点</p> <p>[教科書(ISBN)] 「朝日新聞」(朝刊)。毎回紙面そのものを届ける。記事コピーを配付することもある。 著者名：－ 出版社：朝日新聞社(－)</p> <p>[参考書(ISBN)] 講義で紹介する。</p>			

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	映像で学ぶ高齢者福祉	講義	
担当者	清水 弥生		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 高齢者福祉に関する新聞記事や映像などを通して、社会福祉の歴史や問題の背景に関する基本的な知識を得ることができる。またそのトピックに関するディスカッションをすることにより、問題とその原因、社会的な背景を結びつける視点を養うことを目的とする。</p> <p>[授業概要] 高齢者、認知症当事者や社会福祉全般に関する映像と高齢者福祉に関する授業とを関連させながら学ぶ。全学科の学生を対象とするが、特に社会福祉学科の学生は2年生前期「高齢者福祉」が歴史や制度中心であるので、高齢者に関する基本的な理解および、具体的なイメージを持つことができるようになることを目指す。後半は介護保険や地域包括ケアの具体的なサービスについて同様に映像と授業を関連させながら学ぶ。 そのトピックに関して参加者全員でグループディスカッションをすることにより、その問題の複眼的な理解、かつ社会福祉的な立場からの見方を理解する。また、小レポートを書き、教員が添削することにより、レポート執筆の基本的技術の上達を目指す。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 新聞を毎日読む、ニュースを見る等、社会問題を理解するための基本的な知識を身につける。授業後、関連する新聞記事を集めたり、他の授業との関連性を整理する。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション 2.認知症についての基本的知識 3.認知症当事者の視点から学ぶ認知症ケア 4.認知症高齢者を介護する家族の負担とケア 5.グループディスカッション 6.介護保険サービスの基本的知識 7.小規模多機能型居宅介護の支援 8.高齢者福祉施設に関する映像から学ぶ 9.高齢者福祉からみる地域包括支援制度 10.地域で暮らす高齢者の支援 11.グループディスカッション 12.社会福祉に関する記事や映像の読み解き 13.まとめ</p>			

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	映像で学ぶ高齢者福祉	講義	
担当者	清水 弥生		

[成績評価方法]

発表やグループディスカッションへの参加態度(50%)、小レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

小レポートは添削して返却します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表やグループディスカッションへの参加態度、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表やグループディスカッションへの参加態度、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表やグループディスカッションへの参加態度、小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表やグループディスカッションへの参加態度、小レポート

[教科書(ISBN)]

なし(必要に応じて資料を配布する)

[参考書(ISBN)]

なし

科目名	芸術 I	前期	2 単位
サブタイトル	美の探求	講義	
担当者	松本 尚		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 芸術や身近なものたちの美に対する理解を深め、また再認識をし、生活の中での、それらの存在に関心を持つようになる。</p> <p>[授業概要] 過去から現在に至る芸術全般の流れを追いながら、美とは何か、どのように表現されてきたのかを学び、実際に表現、形にしていくことを学びます。 芸術を通して日常生活に対する柔軟な視点を持ち、視野を広げ、自身のこれからの生活をより豊かにする、仕事に活かせる思考を身につけます。できるだけ多くの作品、教材を使用します。 視覚的な学びを言葉で語る力、手を動かすことでの経験、発想の広がりを実践的に身に付けていきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業の終わりに、次回のテーマを告知します。そのことについて各自が予備知識を持つように文献等を調べ、より一層関心を持ち、理解を深めるために授業内で挙げる参考文献等を読んでおいてください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 美とは何か、芸術とは何か 2. ファッションの視点から1ーファッションの歴史、過去から現代まで 3. ファッションの視点から2ー装飾とは何か、パターン、飾り 4. ファッションの視点から3ー世界のファッションデザイナー 5. 絵画・彫刻の視点から1ー絵画の歴史(西洋美術) 6. 絵画・彫刻の視点から2ー絵画の歴史(東洋美術) 7. 絵画・彫刻の視点から3ー東洋の美、西洋の美、現代アートとは 8. 絵画・彫刻の視点から4ー現代アートとは、芸術と私たちの関わり 9. デザイン・建築の視点から1ー暮らしの中のデザイン 10. デザイン・建築の視点から2ー建築その機能と役割 11. デザイン・建築の視点から3ー世界のデザイナー・建築家 12. 再び美とは何か、芸術とは何か 13. まとめ、芸術とは何か、美とは何かを各自テーマ設定を行い、レポートとしてまとめる 			

科目名	芸術 I	前期	2 単位
サブタイトル	美の探求	講義	
担当者	松本 尚		
<p>[成績評価方法] 授業期間中の中間課題(70%)、最終課題(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題提出後の授業の中で、講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 中間課題、最終課題にて評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 中間課題、最終課題にて評価</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	芸術Ⅱ	前期	2単位
サブタイトル	世界の音楽	講義	
担当者	服部 智行		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 受講生がポピュラー音楽史に関する基本的な知識を身につけ、それに基づいて自らテーマを決めて調べ、レポートとしてまとめる能力を養うことを目標とする授業です。</p> <p>[授業概要] 講義を中心に授業を進めます。本年度は「ポピュラー音楽における主流の形成」というテーマで、社会状況、テクノロジー、音楽メディアや音楽産業などを背景としてポピュラー音楽の主流が時代とともに移り変わっていく過程を概観します。世界的な影響力の大きさからどうしてもアメリカ合衆国の話を中心にはなりますが、日本の音楽との関連についてもできる限りお話していくつもりなので、皆さんが普段耳にするJ-POP等がどのような背景を持ち、どのような歴史的脈脈の中にあるのかを考えてほしいと思います。なお、ポピュラー音楽の研究においては実際の楽曲や映像作品にまさる資料はないので、この授業でもできるだけたくさんの音資料、映像資料等を視聴します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業内容と関連する音楽作品、映像作品等を可能な限り視聴し、関連文献に目を通して下さい。レポートのテーマ発表後は、その提出に向けてしっかり準備して下さい。各回、予習復習合わせて4時間程度を望みます。</p> <p>[授業計画] 1.ライブと楽譜の時代 2.ジャズ時代の始まり 3.スウィングの時代 4.ポピュラー歌手たちの時代 5.ロックンロールの時代 6.ポップ・ミュージック黎明期 7.フォーク、ロック、ソウル 8.歌詞の革命とダンス・ビートの革命 9.サウンドの革命とヴィジュアルの革命 10.ミュージック・ビデオ時代の到来 11.ヒップホップの台頭 12.ヒップホップの浸透 13.インターネットの時代</p>			

科目名	芸術Ⅱ	前期	2単位
サブタイトル	世界の音楽	講義	
担当者	服部 智行		
<p>[成績評価方法] レポート(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートの出題意図、書き方、採点のポイント等に関しては授業中に詳しく説明し、提出前の質問、相談等も受け付けます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	現代社会 I	後期	2 単位
サブタイトル	法と社会生活	講義	
担当者	七野 敏光		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 法を身近なものと考え、政治問題などに関心を示す生活態度を身につける。</p> <p>[授業概要] 普段の何げない生活。私たちはおよそ法など意識せずに過ごしている。だが、それは私たちが呼吸するときに空気の存在を意識することなどないことと似ている。意識の有無はどうあれ、私たちは法の存在なしには一時も生活できない、法の世界の住人なのである。少々びっくりするかもしれないが、これは紛れもない事実であり、この事実を皆さんに認識してもらい、法の世界の住人に相応しい知識を伝えることが、この授業の目的である。その昔、法に精通することは紳士(gentleman)の条件だった。今の世の中、当然、法に精通することは紳士ばかりでなく、淑女(lady)の条件ともなろう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] インターネットなどを駆使し、話題となっている法律問題(紛争や事件など)につき、リアルな情報を把握したうえで授業に参加してください。毎授業ごとの授業準備と復習に4時間程度の時間をかけてください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> はじめに 日常生活と法(売買契約) 日常生活と法(賃貸借・消費貸借契約) 日常生活と法(家族関係一般) 結婚と親子関係 六法とは何か?(憲法) 六法とは何か?(民法・商法と民事・刑事訴訟法) 六法とは何か?(刑法) 親族の基本知識 財産相続(相続人・相続分など) 財産相続(代襲相続・寄与分など) 権利の主体と社会保障 まとめ 			

科目名	現代社会 I	後期	2 単位
サブタイトル	法と社会生活	講義	
担当者	七野 敏光		

[成績評価方法]

試験(100%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

試験実施後、解答を提示し説明します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:□
試験(100%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:□
試験(100%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:□
試験(100%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:□
試験(100%)で評価します。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:□
試験(100%)で評価します。

[教科書(ISBN)]

『新時代の法学・憲法』

著者名:山田勉・笹田哲男編 出版社:建帛社
(ISBN 978-4-7679-4346-6)

[参考書(ISBN)]

なし

科目名	現代社会Ⅱ	前期	2単位
サブタイトル	現代社会と経済	講義	
担当者	小沢 康英		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 経済の基礎知識を習得しながら、現実の諸問題について経済面からの理解を深めることができる。</p> <p>[授業概要] 銀行の在職経験を有した教員より、現代日本が抱える経済的諸問題について、理解を深める。戦後の日本経済は大きな発展を遂げた。戦後数十年の経済発展の間に確立した組織や雇用など企業運営の枠組みは、近年の経済の低成長のなかで変化が顕著となってきている。社会の枠組みの変化やそこから生じる課題などについて考える。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画] 1. 少子高齢化社会と生活経済 その1(財政) 2. 少子高齢化社会と生活経済 その2(年金) 3. 財政と税制度 4. 社会経済を構成する主な要素 5. 企業経営の目的 6. 企業活動と社会的責任 7. 企業形態と組織 8. 製品開発と生産管理 9. 販売促進と地域の活性化 10. 人材の確保と育成 11. 産業社会構造の変化<外部講師> 12. サステナブルな生活と経済 13. 現代の経済構造の変化</p>			

科目名	現代社会Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済	講義	
担当者	小沢 康英		
<p>[成績評価方法] 授業における自立心・対話力(30%)、レポート(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、テスト</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜指示する</p>			

科目名	現代社会Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	現代社会論	講義	
担当者	室屋 安孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 現代社会の抱える諸問題について知識を深めるとともに自ら考える応用力を養う。</p> <p>[授業概要] 本講義では、現代社会に生きる私たちの行動や価値観を女性の視点からさまざまな側面から考察します。初回のガイダンスではグローバル・ジェンダーギャップ指数をもとに各国のジェンダー格差を考察します。基礎知識を学ぶ講義とアクティブラーニングをとおして、日本や世界におけるジェンダー平等の現状や少子高齢化社会などの社会問題について考え、社会を担う女性の可能性について考察します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての課題レポートのため2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. セックスとジェンダー 3. 子どものジェンダー化 4. 物語におけるジェンダー 5. エイジングとジェンダー 6. 母娘関係にみるジェンダー 7. 映画と解説 8. 精神疾患とジェンダーバイアス 9. 親密な関係における暴力 10. キャリアと金融リテラシー 11. ロールモデルに学ぶキャリア 12. 結婚・家族制度とジェンダー 13. 家事と社会と個人の日常生活 			

科目名	現代社会Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	現代社会論	講義	
担当者	室屋 安孝		
<p>[成績評価方法] 課題・発表(50%)、レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題・発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題・発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題・発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題・発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題・発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題・発表、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 『アクティブラーニングで学ぶジェンダー』 著者名:青野篤子編著 出版社:ミネルヴァ書房 (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし(講義中に紹介する)</p>			

科目名	現代社会Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	現代社会と政治	講義	
担当者	豊福 一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 戦後の政治史を順に概観する中で、政党の役割、政治力学、諸制度を学び、さらにそれを基に現在存在する政治制度を理解する。</p> <p>[授業概要] 政治に関する歴史、制度、政治と関連する現代社会の諸制度について、わかりやすく解説する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業中指示する事項について、復習と予習を行うこと(概ね30分程度)。日頃から、授業内容に関連するニュース等に注意しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦後の政治史(1) 2. 戦後の政治史(2) 3. 戦後の政治史(3) 4. 戦後の政治史(4) 5. 戦後の政治史(5) 6. 戦後の政治史(6) 7. 戦後の政治史(7) 8. 戦後の政治史(8) 9. 戦後の政治史(9) 10. 戦後の政治史(10) 11. 日米安全保障条約(1) 12. 日米安全保障条約(2) 13. 講義内容の総括 			

科目名	現代社会Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	現代社会と政治	講義	
担当者	豊福 一		
<p>[成績評価方法] 試験(100%)。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験終了後に解説する予定です。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] レジュメ・資料を作成し配付する。 著者名: なし (なし)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業中に指示する。 著者名: なし (なし)</p>			

科目名	現代社会Ⅴ	前期	2 単位
サブタイトル	社会福祉入門	講義	
担当者	植戸 貴子、清水 弥生、曾田 里美、津田 理恵子、下司 実奈、泉 妙子、川端 麗子、佐々木 勝一、田中 希世子、名定 慎也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>授業では私達の生活や暮らし、社会がかかえるさまざまな福祉的課題を知るきっかけを提供する。学生はそれらを自分のこととして考え、どのような支援が求められているのか、考察できる思考力と問題意識を養うことを期待している。社会福祉を学ぶ第一歩となることが本講義の到達目標である。</p> <p>[授業概要]</p> <p>本講義は社会福祉学科の教員がそれぞれの専門領域——例えば、高齢者福祉・介護、障がい児者福祉、児童福祉、精神保健福祉、地域福祉・まちづくり等——から社会福祉の実態を論じ、全体を通じて多方向から社会福祉を中心にした現代社会の実像を教授することを主たる目的としている。その目的を達成するため、授業は学科の多くの教員と学外講師も招聘しオムニバス形式で進める。当然、講義のテーマは毎回異なる。テキストは使用せず、各講師がその都度、テーマに沿った資料を配付する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>新聞を毎日読む、ニュースを見る等、社会を理解するための基本的な知識を身につける。授業で取り上げられたテーマは自らも調べ、最終回のまとめの課題に反映させる。担当教員が毎回変わるが、わからない言葉や概念は、後日でも良いので質問したり社会福祉用語辞典等で調べる。予習復習を合わせて2時間程度行う。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・現代社会と障害者福祉(植戸貴子) 2. 高齢者の生きがいと回想法(津田 理恵子) 3. 社会福祉施設の面白さ (佐々木 勝一) 4. 多文化共生のまちづくり～NPOの取り組みから(川端麗子) 5. 認知症高齢者のケア (清水 弥生) 6. 障がい当事者と社会福祉 (学外講師) 7. 地域で支える子育て (曾田 里美) 8. 発達障害の子どもたち (下司 実奈) 9. 病気と生活の深い関係 (田中 希世子) 10. ソーシャルマインド (泉 妙子) 11. 社会福祉とレクリエーション (名定 慎也) 12. 現代社会とソーシャルワーク (植戸貴子) 13. まとめとレポート (植戸貴子) 			

科目名	現代社会 V	前期	2 単位
サブタイトル	社会福祉入門	講義	
担当者	植戸 貴子、清水 弥生、曾田 里美、津田 理恵子、下司 実奈、泉 妙子、川端 麗子、佐々木 勝一、田中 希世子、名定 慎也		
<p>[成績評価方法] レポート(100%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] その都度解説などのフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法：レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(各教員が、資料を配付する)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	神戸学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山内 有香子、宮本 晃郎、道谷 卓		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 神戸の歴史や文化について教養を深め、地域の様々な文化や歴史に興味を持ち多様な視点からとらえることができる。</p> <p>[授業概要] ①地元の企業経営者等が、オムニバス形式により、神戸の歴史・文化について講義をします。 ②この授業は、神戸の豊かな歴史と文化の営みを、多角的な視点から学習しようとするものです。歴史という点からは、古くから知られる神戸の地域的特性や明治以降の神戸の産業発展、そして中国とのつながりについて、また、文化面では、芸術、服飾、料理、スポーツ等多彩な分野に亘って神戸との関わりについて学んでいきます。ふだん目や耳にする光景や言葉に込められた、奥深い歴史と文化を講義の中から感じとってくれることを望んでいます。それには、講義で紹介される関係文献に目を通すことはもちろん、興味をいだいた「場」にぜひ積極的に出かけ、肌で文化と歴史を感じていくことをお勧めします。 ③積極的に授業に参加してください。複数の先生が担当し、内容が多岐にわたるので、各時間の内容をまとめておくよう心がけてください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各担当教員から指示のある図書や文献を次回までに読んでおくこと。 復習を中心に4時間程度の前後学習をすること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、神戸について (山内有香子) 2. 創業108年 豚饅発祥の老祥記が大切にするブランディング、店づくり、まちづくり (学外特別講師(株)老祥記 専務取締役 曹 祐仁、山内有香子) 3. 生田神社・神楽生田舞の誕生から考える神戸の歴史 (学外特別講師 生田神社宮司 酒井康博、山内有香子) 4. 神戸のスポーツ・芸能・下町文化 (宮本晃郎) 5. 神戸が誇る食文化とファッション文化 (宮本晃郎) 6. 神戸の水災・戦災・震災と復旧復興 (宮本晃郎) 7. 日本菓子文化を変えた神戸スイーツの原点 (学外特別講師 亀井堂総本店取締役 松井隆昌、山内有香子) 8. 神戸の歴史・序説 (道谷 卓) 9. 神戸の地名と伝説 (道谷 卓) 10. 平清盛、源平の争乱と神戸 (道谷 卓) 11. 「太平記」と神戸 (道谷 卓) 12. 嘉納治五郎と神戸 (道谷 卓) 13. 戦後の神戸・まとめ (山内有香子) <p>担当者によって、取り上げるテーマが重複する場合もあるが、取り上げ方の視点、内容の詳細などが異なるので、了解しておくこと。</p>			

科目名	神戸学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山内 有香子、宮本 晃郎、道谷 卓		
<p>[成績評価方法] 授業の取り組み姿勢(20%)、提出物(80%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業の取り組み姿勢、提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業の取り組み姿勢、提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業の取り組み姿勢、提出物</p> <p>[教科書(ISBN)] 必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 講義中に適宜紹介する。</p>			

科目名	心とからだの健康	後期	2 単位
サブタイトル	心とからだの健康 (心とからだ)	講義	
担当者	木村 大輔、曾田 里美、坂元 美子、吉川 豊、泉 妙子、西原 詩子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 「心」と「からだ」の健康について、心身相関の視点を学びながら幅広い知識を習得することを到達目標とする。</p> <p>[授業概要] 近年、いわゆる「健康」への関心が高まっている。一般に「健康」というとき、「からだ」の健康と「心」の健康という二つの面に分けて考えられることが多い。しかし、この二つの側面は互いに密接な関係がある。そこで、本講では、「心身相関」の視点をキーワードに、専門領域を異にする複数の教員によるオムニバス形式の講義を行うことで、「健康」をさまざまな側面から捉え理解を深めていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解しておくこと。日頃から「心とからだの健康」ということについて、現代社会で問題となっている事柄について関心をもつこと。 各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.講義の目的と構成(木村 大輔・吉川 豊) 2.生活支援に関連した心とからだの健康Ⅰ(泉 妙子) 3.生活支援に関連した心とからだの健康Ⅱ(泉 妙子) 4.心の健康とからだの健康Ⅰ(曾田 里美) 5.心の健康とからだの健康Ⅱ(曾田 里美) 6.看護とヘルスケアに関する心とからだの健康(西原 詩子) 7.口腔内の健康と口腔ケア(西原 詩子) 8.からだの健康と嗜好食品Ⅰ(吉川 豊) 9.からだの健康と嗜好食品Ⅱ(吉川 豊) 10.お腹から考えるメンタルヘルス(木村 大輔) 11.からだの健康と食生活(坂元 美子) 12.心の健康と食生活(坂元 美子) 13.まとめ(木村 大輔)</p>			

科目名	心とからだの健康	後期	2 単位
サブタイトル	心とからだの健康 (心とからだ)	講義	
担当者	木村 大輔、曾田 里美、坂元 美子、吉川 豊、泉 妙子、西原 詩子		
<p>[成績評価方法] 受講態度(40%)、試験(60%)後日返却</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 後日添削して返却します</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 試験 課題 受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 試験 課題 受講態度</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。必要に応じて資料を配付する。</p> <p>[参考書(ISBN)] なし。授業内で随時紹介する。</p>			

科目名	言葉と文学 I	前期	2 単位
サブタイトル	日本の文学(古代・中古・中世・近世、古典文学のなかの猫)	講義	
担当者	大山 範子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 日本文学史の流れについて知識を得るとともに、作品の鑑賞を通して日本文化に対する理解を深め、魅力を発見する。</p> <p>[授業概要] 私たちの祖先は千年以上前から文学の営みを続けてきた。そして幸いにも多くの作品が時を超えて読み継がれている。こうした古典文学の持つ魅力を探るべく、今回は、身近な存在である「猫」を手がかりとしてアプローチをする。古来、さまざまなジャンルの文学作品において、猫はどのように描かれてきたのだろうか。この授業では、猫の登場する作品を時代を追って読みながら、個々の作品について日本文学史の流れとあわせて解説をする。難しい、お堅いと敬遠しがちな古典文学だが、親しむと意外な発見もある。まずは面白そうなところから始めよう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。事前に次の講義の予告をし、使用する資料を配布するので、目を通してくること。</p> <p>[授業計画] 01. はじめに ～日本古典文学史概略～ 02. 「猫」という語 03. 王朝貴族と猫 04. 日記・和歌にみる猫 05. 『源氏物語』の中の猫 06. 説話にみる猫(1) 07. 説話にみる猫(2) 08. 「ねこまた」の出現 09. 「かな」という名の猫 10. 御伽草子『猫の草子』 11. 江戸の文人と猫 12. 俳諧にみる猫 13. まとめ —絵画に描かれた猫たち—</p> <p>* 受講者の関心・興味に応じて授業計画を変更する場合があります。</p>			

科目名	言葉と文学 I	前期	2 単位
サブタイトル	日本の文学(古代・中古・中世・近世、古典文学のなかの猫)	講義	
担当者	大山 範子		
<p>[成績評価方法] 期末レポート(60%)および講義時の小課題(不定期、数回を予定、40%)によって評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともmanabaを利用。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 小課題・期末レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。プリントを配布する。 著者名:なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 開講時および適宜紹介する。 出版社:なし</p>			

科目名	言葉と文学Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学(英詩をあじわう)	講義	
担当者	虹林 桃子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 英詩を読む楽しさを知る。 作品の時代背景や文化的背景を知ることで、よりその奥深さを理解する。 各自がそれぞれの観点を持って作品を読み、自分の考えを表現できるようになる。</p> <p>[授業概要] 幅広い解釈が可能な英詩を読むことで、各自が世界や自分自身について考える機会を持つことができるようになる。 本授業ではテキストで紹介される厳選された英詩を読み、その響きや意味を味わう。文学的に高く評価されつつ、親しみやすい英語で書かれた詩をあじわうことで各自が新たな着眼点を見いだすことができると考えられる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で扱う詩を事前に音読し、それについて各自が考えたことをまとめること。授業後は小テストに備えて詩を読み直す(毎回の授業の予習復習には4時間程度の学習時間を設ける)。 学期中の学習を通して興味を持った事柄について各自が個別にテーマを設け、学期末にレポートを作成・提出すること。</p> <p>[授業計画] 1. 英詩に関する概説と、授業の概要説明 2. I. Poems of Natureから一編 3. I. Poems of Natureから一編 4. I. Poems of Natureから一編 5. II. Poems of the Seasonsから一編 6. II. Poems of the Seasonsから一編 7. II. Poems of the Seasonsから一編 8. III. Poems of Flowersから一編 9. III. Poems of Flowersから一編 10. IV. Poems of Birds and Animalsから一編 11. IV. Poems of Birds and Animalsから一編 12. V. Poems of Nightから一編 13. V. Poems of Nightから一編</p>			

科目名	言葉と文学Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	イギリス文学(英詩をあじわう)	講義	
担当者	虹林 桃子		
<p>[成績評価方法] 授業パフォーマンス(ディスカッションへの参加等)20%、小テスト50%、学期末レポート30%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストやレポートのフィードバックは授業内もしくはmanaba上で適宜行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] English Poems and Their Meanings 著者名:Peter Milward 出版社:音羽書房鶴見書店(978-4-7553-0102-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 随時、資料等を配布する。</p>			

科目名	自然と環境 I	後期	2 単位
サブタイトル	自然の中の物理学	メディア(講義)	
担当者	稲垣 善茂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
[到達目標] 自然の中に潜む物理法則の理解を目指す。一つ一つの物理現象を理解するための基礎的な素養を身につけ、自然現象を科学的視点から分析・探求できる力を習得する。			
[授業概要] 【メディア授業】講義はオンデマンド形式で、14回の動画(内、補講1回は出欠を取らない)と5回の小テスト(manaba)からなる。したがって自宅や大学校内でのPC閲覧が可能な環境の確保、講義時間外の課題はmanabaで提出するため、PCの購入を推奨する。自然界における物理法則について、高校の「物理基礎」を中心に、高校の「物理」、大学の基礎的な「物理学」を含めて概説する。基礎的な高校の物理の概略を復習しつつ、教員採用試験や公務員試験合格レベルの知識の習得を目指して講義を行う。これらの物理現象を理解するための基礎的な素養を身につけつつ、実際に物理の問題を解けるようになることを目指す。授業内容には小学校教育コースにおける小学校免許必須科目である「理科概説」「理科教育法」(エネルギー領域)における実験内容・指導案作成内容の原理・説明を含むので、小学校教職免許取得を目指す学生には履修を勧める。教員採用試験や公務員試験受験希望者などで、高校での物理の達成度に不安を感じている一方で、大学で物理の履修が必要な学生向けである。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 準備学習として高等学校「物理基礎」をよく理解しておくこと。積み重ねが大切なので、前回の授業の内容を「manaba」の「小テスト」を利用してよく復習しておくこと。なお、テキストはpdfがmanabaからダウンロードできるので教科書、参考書は必ずしも必須ではない。予習復習の時間数は各回、合わせて4時間程度。			
[授業計画] 第1回 運動の表し方(速度、加速度、落体の運動) 第2回 運動の法則1(力とそのはたらき) 第3回 運動の法則2(力のつりあい) 第4回 運動の法則3(運動の法則) 第5回 運動の法則4(摩擦を受ける運動、) 第6回 運動の法則5(液体や気体から受ける力、浮力) 第7回 仕事と力学的エネルギー1(仕事、運動エネルギー) 第8回 仕事と力学的エネルギー2(位置エネルギー、力学的エネルギーの保存) 第9回 熱とエネルギー1(熱と熱量、熱と物質の状態) 第10回 熱とエネルギー2(熱と仕事、不可逆的变化と熱機関) 第11回 物質と電気1(電気の性質、電流と電気抵抗1) 第12回 物質と電気2(電流と電気抵抗2) 第13回 物質と電気3(電流エネルギー) * 動画視聴が出席に対応します。視聴時間がモニタリングされていますので、短縮視聴した場合には早退もしくは欠席扱いとなることがあります。			

科目名	自然と環境 I	後期	2 単位
サブタイトル	自然の中の物理学	メディア(講義)	
担当者	稲垣 善茂		

[成績評価方法]

試験(「manaba」小テスト100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

授業動画を公開(オンデマンド型授業対応)。manabaの小テストによる課題に対しては、課題締め切り後に、ポートフォリオに採点結果と正答が公開されるようになっています。ポートフォリオを確認して復習に利用してください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法: 試験(小テスト)

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法: 試験(小テスト)

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法: 試験(小テスト)

[教科書(ISBN)]

テキストは各自「manaba」からダウンロードして印刷できますし、PC、タブレットなどを携帯している場合にはテキストのpdfファイルを授業中に閲覧することが可能です。

高等学校「物理基礎」 出版社: 数研出版

[参考書(ISBN)]

高等学校「物理」 出版社: 数研出版

科目名	自然と環境Ⅱ	前期	2単位
サブタイトル	躍動する地球	メディア(講義)	
担当者	村田 恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 今日の地球の姿をプレートの動きや地球の長い歴史の中で理解する。</p> <p>[授業概要] 【メディア授業】 地質学的時間、地球の歴史に伴う生命の誕生と進化、固体地球表層とくに海洋リソスフェアの構造や動きについて理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回事前にmanabaにテキストをアップします。それを読み、おおまかな内容を予習し、疑問点を明確にしておきましょう。 授業後は、テキストとノートで十分復習をすること。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.太陽・月・地球 2.地質学的時間(相対年代・放射年代・地磁気による編年) 3.生命の誕生と進化① 4.生命の誕生と進化② 5.固体地球の内部 6.プレートテクトニクス① 7.プレートテクトニクス② 8.地層と化石・岩石① 9.地層と化石・岩石② 10.地震活動・火山活動 11.ブルームテクトニクス 12.日本列島の形成 13.まとめ</p>			

科目名	自然と環境Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	躍動する地球	メディア(講義)	
担当者	村田 恵子		

[成績評価方法]
毎時間の課題(10%)・試験(90%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題については、次回授業の中で説明する。
試験は、希望者に解答の解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
なし。プリント配布。

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	宗教	前期	2 単位
サブタイトル	世界の宗教(宗教入門)	講義	
担当者	栗山 はるな		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	コメントシートを用いた主体的学習	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 宗教がどのように我々の生活に影響を与えているのか、なぜそれを知る必要があるのかについて理解すること。様々な宗教の特徴について比較を通して理解し、世界的な宗教問題について考える視座を獲得すること。宗教的な文化芸術の背景について知ること。</p> <p>[授業概要] 宗教は古代から近代に至るまで世界の社会、文化をリードしてきたいわば我々の社会の親とも言うべき存在です。宗教的な問題は世界中で大きな関心をもって取り上げられますが、一方で日本では比較的関心を持たれない傾向にあります。この授業ではそれぞれの教えに関する基礎知識を確認し、その現代社会に与える影響について考える中で、皆さんが宗教的な問題に向き合う際の姿勢を培うことを目指します。また、様々な宗教芸術作品や建築についても適宜紹介します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で配布したプリントをよく読んで、復習と予習合わせて2時間程度で準備しておく。授業内容と自身の生活との関わりについて考えたり、授業のテーマと内容的に関係する報道などに関心を持つ。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ガイダンス 2、世界の宗教と宗教を学ぶ意味 3、ユダヤ教① 4、ユダヤ教② 5、キリスト教① 6、キリスト教② 7、イスラム教① 8、イスラム教② 9、仏教① 10、仏教② 11、神道 12、宗教と日本文化 13、まとめ 			

科目名	宗教	前期	2 単位
サブタイトル	世界の宗教(宗教入門)	講義	
担当者	栗山 はるな		
<p>[成績評価方法] 授業内ミニレポート(60%)、最終テスト(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。プリントを授業で配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 世界が分かる宗教社会学入門 著者名: 橋爪大三郎 出版社: 筑摩書房 (4-480-42227-7)</p>			

科目名	手話 I	前期	2 単位
サブタイトル	手話の基礎	講義	
担当者	下司 実奈		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

聴覚障害者と手話の歴史及び、聴覚障害者の生活における手話の役割について学ぶ。
言語としての手話の基礎知識を修得する。

[授業概要]

手話の歴史と特徴を学習すると共に、日常会話で使う手話について表現・読み取りについて学ぶ。
聴覚障害者の生活について学ぶ。

手話指導について経験の豊富な兵庫県聴覚障害者協会より、聴覚障害者と手話通訳者が指導する。

担当教員はコーディネーターとして授業外支援に関わる。

※履修希望者が40名を超える場合は、履修登録締め切り後、人数調整(抽選)を行うことがある。調整の結果はKISSにて登録者全員に知らせる。教科書の購入は調整の結果を受け取ってからにすること。第1回目の授業に教科書購入が間に合わなくても受講できるようにする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

次回の課題を提示するので、各回、予習復習合わせて4時間程度学習すること。
実技については次回までに確実に表現できるようにしておく。

[授業計画]

- オリエンテーション「手話を見ることば」
 - ・形・動作・状況に合わせた具体的な表現
 - ・物の形や動きの特徴をとらえて伝える
- 自己紹介①「名前」指文字
 - ・名前を表す方法、自分の名前を表現する
 - ・あいさつの手話
 - ・疑問詞<何>
- 自己紹介「家族」
 - ・人物表現の基礎となる家族の手話を学ぶ
 - ・疑問詞<だれ>
 - 自己紹介「数」
 - ・手話の数詞表現
 - ・疑問詞<いくつ><いくつ><いくら>を使って会話する
- 自己紹介「趣味」
 - ・趣味をテーマに自分のことを話す
 - ・<得意><苦手><上手><下手>などを使い身近な話題について会話する
- 自己紹介「仕事」
 - ・仕事についての会話をする
 - ・見てわかりやすい表現の工夫
- 自己紹介「住所」
 - ・都道府県名、地名、建物、交通手段
 - ・空間を使って位置関係や距離感を表す方法を学ぶ
 - ・疑問詞<どこ>
- 一日のことを話す
 - ・<何時><~した>の表現を使い一日の行動を手話で話す
 - 手話の基礎知識
 - ・手話の歴史と特徴について
- 一カ月のこと、一年のことを話す
 - ・身体的位置を使って過去・現在・未来を表すことを学ぶ
 - ・疑問詞<なぜ><いくつ>を使って一カ月・一年の生活の様子、行動について会話する
 - ・<どちら><~したい>を使って比較、好きな理由、これからしたいことなどについて会話する
- パーティ、旅行についての会話
 - ・今までに学んだ疑問詞の復習と、数に関する話題を中心に生活のさまざまな場面を設定し会話をする。
- 病院についての会話
 - ・病院場面での会話を通して病気や健康に関する語彙を増やす
- 学校についての会話
 - ・具体的にわかりやすい表現を工夫し伝え合う
- 実技試験
- 聴覚障害者の暮らし 職場についての会話
 - ・具体的にわかりやすい表現を工夫し伝え合う

※公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会より学外特別講師を招聘して授業を行う(全13回)。

科目名	手話 I	前期	2 単位
サブタイトル	手話の基礎	講義	
担当者	下司 実奈		
<p>[成績評価方法] 実技試験(30%)、授業内に小テスト実施(30%)、レポート(30%)、授業への積極的参加度(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] フィードバックは授業中に行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 毎回の発表、試験とレポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 毎回の発表、試験とレポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] 手話を学ぼう 手話で話そう 著者名: 社会福祉法人 全国手話研修センター 出版社: 一般財団法人全日本ろうあ連盟 (4902158396)</p> <p>[参考書(ISBN)] 私たちの手話学習辞典 著者名: 「わたしたちの手話」再編制作委員会 出版社: 全国手話研修センター日本手話研究所 (490463912X)</p>			

科目名	手話Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	手話の応用	講義	
担当者	下司 実奈		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 聴覚障害者暮らしについて理解を深め、手話の基本文法を学び、相手の手話が理解でき、手話で日常会話ができる。</p> <p>[授業概要] 手話の基本文法を学び、相手の手話が理解でき、手話で日常会話ができるようになる。 聴覚障害者の暮らし、歴史について学ぶ。手話指導について経験の豊富な兵庫県聴覚障害者協会より、聴覚障害者と手話通訳者が指導する。 担当教員はコーディネーターとして授業外支援に関わる。</p> <p>※履修希望者が40名を超える場合は、履修登録締め切り後、人数調整(抽選)を行うことがある。調整の結果はKISSにて登録者全員に知らせる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次回の課題を提示するので予習すること。 実技については次回までに確実に表現できるようにしておく。予習復習合わせて4時間程度の学習をする。</p> <p>[授業計画] 1. 具体的表現① 形の大小、表情、強弱、速度 2. 具体的表現② 様子や形 3. 講義「手話サークル」 具体的表現③ 動き 4. 格の決定① 位置・方向 5. 格の決定② 役割の切り替え 6. 講義「ろう者の歴史」 格の決定③ 指さし 7. 空間活用① 左右・前後の空間、上下空間 8. 空間活用② 指さしと視線 9. 同時表現 両手の活用 10. 指の代理的活用 11. 繰り返し表現 複数、強調、継続 12. 実技試験(スピーチ) 13. 置き換え表現 意味に合った手話</p> <p>※公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会より学外特別講師を招聘して授業を行う(全15回)。</p> <p>※手話Ⅱは手話Ⅰを履修済みでなくとも受講できるが、手話Ⅰを受講済みと同程度の理解・表現を取得していることが望ましい。</p>			

科目名	手話Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	手話の応用	講義	
担当者	下司 実奈		

[成績評価方法]

実技試験(30%)、授業内に小テスト実施(30%)、レポート(30%)、授業への積極的参加度(10%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

フィードバックは授業中に行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の発表、試験とレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:毎回の発表、試験とレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:毎回の発表、試験とレポート課題

[教科書(ISBN)]

手話を学ぼう 手話で話そう 著者名:社会福祉法人 全国手話研修センター 出版社:一般財団法人全日本ろうあ連盟 (4902158396)

[参考書(ISBN)]

私たちの手話学習辞典1 著者名:「わたしたちの手話」再編制作委員会
出版社:全国手話研修センター日本手話研究所 (490463912X)

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	清光 英成		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

授業を通して、次のことを目標とします。

- ①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
- ②ワードを使って文書処理ができる
- ③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
- ④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]

高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身に付けることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけでなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身に付ける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

タッチタイピングの練習 及び 前回の講義の復習

[授業計画]

1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1: 表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3: 関数
11. データサイエンス入門4: 基本統計
12. データサイエンス入門5: データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	清光 英成		
<p>[成績評価方法] 毎回の課題(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は個別に成果を誉め讃え, 問題点があれば改善を求める.</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 30時間アカデミックOffice2019 著者名: 杉本くみ子、大澤栄子 出版社: 実教出版 (978-4-407-34833-0)</p>			

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	清光 英成		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

授業を通して、次のことを目標とします。

- ①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
- ②ワードを使って文書処理ができる
- ③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
- ④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]

高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身に付けることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけでなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身に付ける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

タッチタイピングの練習 及び 前回の講義の復習

[授業計画]

1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1: 表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3: 関数
11. データサイエンス入門4: 基本統計
12. データサイエンス入門5: データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	清光 英成		
<p>[成績評価方法] 毎回の課題(100%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は個別に成果を誉め讃え、問題点があれば改善を求める。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 30時間アカデミックOffice2019 著者名：杉本くみ子、大澤栄子 出版社：実教出版 (978-4-407-34833-0)</p>			

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田 和恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 授業を通して、次のことを目標とします。 ①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる ②ワードを使って文書処理ができる ③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる ④インターネットを適切に利用できる</p> <p>[授業概要] 高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] タッチタイピングの練習 及び 前回の講義の復習</p> <p>[授業計画] 1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得 2. インターネット、タッチタイピング 3. 電子メール、文書作成の基礎 4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷 5. 情報セキュリティ、文書の編集 6. コンピュータのハードウェア、表の作成 7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い 8. データサイエンス入門1: 表計算の基礎 9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式 10. データサイエンス入門3 :関数 11. データサイエンス入門4: 基本統計 12. データサイエンス入門5: データ集計と可視化 13. まとめ</p>			

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田 和恵		
<p>[成績評価方法] タイピング(10%)、課題(70%)、最終レポート(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で必要に応じて適宜お知らせします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 実教出版 30時間アカデミック</p>			

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田 和恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

授業を通して、次のことを目標とします。

- ①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
- ②ワードを使って文書処理ができる
- ③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
- ④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]

高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけでなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

タッチタイピングの練習 及び 前回の講義の復習

[授業計画]

1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1: 表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3: 関数
11. データサイエンス入門4: 基本統計
12. データサイエンス入門5: データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田 和恵		
<p>[成績評価方法] タイピング(10%)、課題(70%)、最終レポート(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で必要に応じて適宜お知らせします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 実教出版 30時間アカデミック</p>			

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田 和恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

授業を通して、次のことを目標とします。

- ①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
- ②ワードを使って文書処理ができる
- ③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
- ④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]

高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけでなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

タッチタイピングの練習 及び 前回の講義の復習

[授業計画]

1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1: 表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3: 関数
11. データサイエンス入門4: 基本統計
12. データサイエンス入門5: データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田 和恵		
<p>[成績評価方法] タイピング(10%)、課題(70%)、最終レポート(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で必要に応じて適宜お知らせします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 実教出版 30時間アカデミック</p>			

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	平田 真弓		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

授業を通して、次のことを目標とします。

- ①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
- ②ワードを使って文書処理ができる
- ③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
- ④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]

高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけでなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

タッチタイピングの練習 及び 前回の講義の復習

[授業計画]

1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1: 表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3: 関数
11. データサイエンス入門4: 基本統計
12. データサイエンス入門5: データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	平田 真弓		
<p>[成績評価方法] タイピング(10%)、課題(70%)、最終レポート(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題やレポートは、添削して返却します。また、必要に応じて個別に問題点等を指摘し、改善を求めます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：課題 レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：課題 レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：課題 レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：課題 レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 無し</p> <p>[参考書(ISBN)] 30時間アカデミックOffice2021 著者名：杉本くみ子 大澤栄子 出版社：実教出版 (978-4-407-35943-5)</p>			

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	浅木森 和夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 授業を通して、次のことを目標とします。 ① Windows パソコンのカスタマイズ、基本操作ができる ② ワードを使って文書処理ができる ③ 表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる ④ インターネットを適切に利用できる</p> <p>[授業概要] 「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につける。情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。情報を積極的に活用する上でのルールやマナー、著作権やプライバシーの侵害をしないなど、情報発信における留意点についても学ぶ。また、ワープロ、表計算、プレゼンテーション等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 学習トピック、テキストはLMS(Moodle)に公開します。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、積極的に予習・復習をしてください。タッチタイピングはパソコンを使うときの基本です。毎日10分タッチタイピングの練習をしましょう。 各回、予習・復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.授業ガイダンス 2.学内資源へのアクセス設定 3. Windowsの基本操作 4.エクスプローラの利用 5.フォルダの設定とショートカット 6.ソフトのインストールとカスタマイズ(グループワーク) 7.文字の入力(タッチタイピング) 8. 電子メールの利用(ウェブメール) 9.ワードの基礎(文書構造、レイアウト) 10.ワードを利用したレポート作成(グループワーク) 11. 表計算ソフトの基礎Ⅰ(データの入力、表のレイアウト) 12.表計算ソフトの基礎Ⅱ(簡単な計算処理、関数) 13.まとめと学習成果確認、解説</p>			

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	浅木森 和夫		

[成績評価方法]

成績は、学習への参画とグループワーク(20%)、タイプ実技・小テスト(20%)、課題(30%)、まとめの試験(30%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

学習の振り返りや質問、授業に関する意見などについては、授業のはじめにフィードバックします。グループワークについてはその都度コメントをフィードバックします。課題やテストについては終了後、ポイントや正解をフィードバックします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：グループワーク、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：振り返り、課題、グループワーク

[教科書(ISBN)]

なし

[参考書(ISBN)]

プリント配布等

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	浅木森 和夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 授業を通して、次のことを目標とします。 ① Windows パソコンのカスタマイズ、基本操作ができる ② ワードを使って文書処理ができる ③ 表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる ④ インターネットを適切に利用できる</p> <p>[授業概要] 「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につける。情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。情報を積極的に活用する上でのルールやマナー、著作権やプライバシーの侵害をしないなど、情報発信における留意点についても学ぶ。また、ワープロ、表計算、プレゼンテーション等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 学習トピック、テキストはLMS(Moodle)に公開します。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、積極的に予習・復習をしてください。タッチタイピングはパソコンを使うときの基本です。毎日10分タッチタイピングの練習をしましょう。 各回、予習・復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.授業ガイダンス 2.学内資源へのアクセス設定 3. Windowsの基本操作 4.エクスプローラの利用 5.フォルダの設定とショートカット 6.ソフトのインストールとカスタマイズ(グループワーク) 7.文字の入力(タッチタイピング) 8. 電子メールの利用(ウェブメール) 9.ワードの基礎(文書構造、レイアウト) 10.ワードを利用したレポート作成(グループワーク) 11. 表計算ソフトの基礎Ⅰ(データの入力、表のレイアウト) 12.表計算ソフトの基礎Ⅱ(簡単な計算処理、関数) 13.まとめと学習成果確認、解説</p>			

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル	情報機器の操作	演習	
担当者	浅木森 和夫		

[成績評価方法]

成績は、学習への参画とグループワーク(20%)、タイプ実技・小テスト(20%)、課題(30%)、まとめの試験(30%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

学習の振り返りや質問、授業に関する意見などについては、授業のはじめにフィードバックします。グループワークについてはその都度コメントをフィードバックします。課題やテストについては終了後、ポイントや正解をフィードバックします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：グループワーク、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：振り返り、課題、グループワーク

[教科書(ISBN)]

なし

[参考書(ISBN)]

プリント配布等

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	堀 桂太郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

授業を通して、次のことを目標とする。

- ①AI・データサイエンスの必要性を説明できる
- ②社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる
- ③データの活用方法について説明できる
- ④データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる

[授業概要]

AI・データサイエンスに関して興味・関心を持ち、AI時代に身に付けておくべき素養(新たな読み書きそろばん)を修得し、日常や仕事の場で使いこなせるようになることが大切である。本授業は、広い様々な視点からAI・データサイエンスに関して基礎的な知識を修得し、日常の生活や仕事で使いこなせるようになる内容を扱う。学修方法は以下の通りである。

- ・指定のe-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学修する
- ・各回の動画コンテンツを全て視聴し、途中でメモを取り、分からない用語を調べながら学修する
- ・各回ごとに用意されている確認テストを指定の期限までに提出し、第13回以降に最終レポートを提出する

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

指定のe-Learning教材の学修及び 前回の講義の復習(1 時間程度)

各回の動画コンテンツの視聴率を授業の出欠として反映する。視聴率100%を出席、70%までを遅刻、70%未満を欠席として扱う。

[授業計画]

- 第1回 本講義のガイダンス、データサイエンスとは
- 第2回 社会で起きている変化
- 第3回 社会で活用されているデータ
- 第4回 データ・AIの活用領域
- 第5回 データ・AI利活用のための技術
- 第6回 データ活用とは
- 第7回 データ・AI利活用の現場
- 第8回 データ・AI利活用の最新動向
- 第9回 データを読む
- 第10回 データを説明する
- 第11回 データを扱う
- 第12回 データ・AIを扱う上での留意事項
- 第13回 データを守る上での留意事項とまとめ

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	堀 桂太郎		
<p>[成績評価方法] 確認テスト(70%)、最終レポート(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 確認テストで示される採点結果を踏まえ、動画と資料を再度見直すこと。質問等があれば担当教員が対応する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 課題、最終レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	西本 実苗		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 授業を通して、次のことを目標とする。 ①AI・データサイエンスの必要性を説明できる ②社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる ③データの活用方法について説明できる ④データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる</p> <p>[授業概要] AI・データサイエンスに関して興味・関心を持ち、AI時代に身に付けておくべき素養(新たな読み書きそろばん)を修得し、日常や仕事の場で使いこなせるようになることが大切である。本授業は、広い様々な視点からAI・データサイエンスに関して基礎的な知識を習得し、日常の生活や仕事で使いこなせるようになる内容を扱う。学修方法は以下の通りである。 ・指定のe-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学修する ・毎回の動画コンテンツを全て視聴し、途中でメモを取り、分からない用語を調べながら学修する ・各回ごとに用意されている確認テストを指定の期限までに提出し、第13回以降に最終レポートを提出する</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 指定のe-Learning教材の学修及び 前回の講義の復習 各回の動画コンテンツの視聴率を授業の出欠として反映する。視聴率100%を出席、70%までを遅刻、70%未満を欠席として扱う。</p> <p>[授業計画] 第1回 本講義のガイダンス、データサイエンスとは 第2回 社会で起きている変化 第3回 社会で活用されているデータ 第4回 データ・AIの活用領域 第5回 データ・AI利活用のための技術 第6回 データ活用とは 第7回 データ・AI利活用の現場 第8回 データ・AI利活用の最新動向 第9回 データを読む 第10回 データを説明する 第11回 データを扱う 第12回 データ・AIを扱う上での留意事項 第13回 データを守る上での留意事項とまとめ</p>			

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(演習)	
担当者	西本 実苗		
<p>[成績評価方法] 確認テスト(70%)、最終レポート(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 確認テストで示される採点結果を踏まえ、動画と資料を再度見直すこと。質問等があれば担当教員が対応する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 確認テスト、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 確認テスト、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 最終レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	情報C	後期	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用	講義	
担当者	浅木森 和夫		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 授業を通して、次のことを目標とします。 ① さまざまなメディアを利用して資料を作ることができる ② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる ③ 情報セキュリティの基本を守ることができる ④ 情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる</p> <p>[授業概要] 「情報A」で修得した基礎の上に、情報の統合を学ぶ。文章と画像のように、形式の違う情報をまとめて取り扱い処理する。さらに、情報通信(インターネット・電子メール)の活用を通じ、情報伝達の方法を学習する。現代では、インターネット犯罪が増加傾向にある。そこで表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の活用方法について学習すると共に、情報モラル・ネットワーク利用のエチケットやセキュリティを学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 学習トピック、テキストはLMS(Moodle)上に公開します。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、積極的に予習・復習をしてください。多様な価値を持つさまざまなメンバーとLMSの情報交換ルームなどを利用して学びを共有しましょう。 各回、予習・復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.授業ガイダンス 2.プレゼンテーション(アウトラインの作成) 3.文字、画像、イラストを使った資料作成 4.みんなで作るプレゼンテーション(グループワーク) 5.電子メールを使った適切なコミュニケーション(グループワーク) 6.デジタルコミュニケーションの多様化(グループワーク) 7.情報検索と正しい情報の見分け方 8.人の権利と情報(個人情報、著作権) 9.情報セキュリティーとは 10.情報セキュリティーを守る方法 11.ICT と犯罪(グループワーク) 12.情報漏洩事例研究(グループワーク) 13.まとめと学習成果確認、解説</p>			

科目名	情報C	後期	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用	講義	
担当者	浅木森 和夫		
<p>[成績評価方法] 成績は、学習への参画(10%)、グループワークとプレゼンテーション(20%)、課題(35%)、小テストとまとめの試験(35%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 質問や感想については、授業のはじめにフィードバックします。グループワークやディスカッションについてはその都度コメントをフィードバックします。テストや課題は終了後、解答、ポイントをフィードバックします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：ディスカッション、グループワーク</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：課題、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：課題、振り返り、グループワーク</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] プリント配布</p>			

科目名	情報C	後期	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用	講義	
担当者	西本 実苗		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 授業を通して、次のことを目標とします。 ① さまざまなメディアを利用して資料を作ることができる ② ICTを使って適切なコミュニケーションをとることができる ③ 情報セキュリティの基本を守ることができる ④ 情報社会にふさわしいモラルを身に付け、実践できる</p> <p>[授業概要] 「情報A」で修得した基礎の上に、情報の統合を学ぶ。文章と画像のように、形式の違う情報をまとめて取り扱い処理する。さらに、情報通信(インターネット・電子メール)の活用を通じ、情報伝達の方法を学習する。現代では、インターネット犯罪が増加傾向にある。そこで表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を利用した情報の活用方法について学習すると共に、情報モラル・ネットワーク利用のエチケットやセキュリティを学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 学習トピック、テキストはLMS(Moodle)上に公開します。LMSに公開されるテキストを事前によく読み、積極的に予習・復習をしてください。多様な価値を持つさまざまなメンバーとLMSの情報交換ルームなどを利用して学びを共有しましょう。 各回、予習・復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1.授業ガイダンス 2.プレゼンテーション(アウトラインの作成) 3.文字、画像、イラストを使った資料作成 4.みんなで作るプレゼンテーション(グループワーク) 5.電子メールを使った適切なコミュニケーション(グループワーク) 6.デジタルコミュニケーションの多様化(グループワーク) 7.情報検索と正しい情報の見分け方 8.人の権利と情報(個人情報、著作権) 9.情報セキュリティーとは 10.情報セキュリティーを守る方法 11.ICT と犯罪(グループワーク) 12.情報漏洩事例研究(グループワーク) 13.まとめと学習成果確認、解説</p>			

科目名	情報C	後期	2 単位
サブタイトル	情報機器の活用	講義	
担当者	西本 実苗		

[成績評価方法]

成績は、学習への参画(10%)、グループワークとプレゼンテーション(20%)、課題(35%)、小テストとまとめの試験(35%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

質問や感想については、授業のはじめにフィードバックします。グループワークやディスカッションについてはその都度コメントをフィードバックします。テストや課題は終了後、解答、ポイントをフィードバックします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：ディスカッション、グループワーク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題、振り返り、グループワーク

[教科書(ISBN)]

なし

[参考書(ISBN)]

プリント配布

科目名	女性 I	前期	2 単位
サブタイトル	女性学	メディア(講義)	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 身近な事例を通してジェンダーに関する知識を身につけ、社会に応用できる実践能力を養う。問題が生まれる社会背景を知り、問題解決の方法を考えられるようになる。</p> <p>[授業概要] SDGsの目標の一つである「ジェンダー」は近年注目を集めており、私たちの将来のあり方を考える上で非常に大事な科目です。「ジェンダー」という言葉をよく知らない人も、「LGBT」、「セクハラ」、「男女共同参画」という言葉は聞いたことがあるのではないのでしょうか。私たちの将来や社会の在り方を考える上で、女性も男性も「ジェンダー学」を学ぶことは今とても重要になっています。ジェンダー学とは、わたしたちが性別をいかに認識し、慣習や文化として構築しているのか、また性別は社会システムの中でどのように機能しているのか考えるために、性別の社会的・文化的側面を学び調査研究や理論構築を行う学問です。本講義ではさまざまな視点からジェンダーについて学びます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業内容に関連するニュースや身近な問題などを予習して、授業に臨むこと(各講義の予習復習は4時間程度)</p> <p>[授業計画] 【メディア授業(zoom)】 1. オリエンテーション・ジェンダー・多様な性とは</p> <p><研究・運動のあゆみ> 2. 女性学・ジェンダー研究の歩み 3. 男性学研究・男らしさとジェンダー</p> <p><グローバル化> 4. 国際的なジェンダー政策 5. 開発とジェンダー</p> <p><近世・近代日本の歩み> 6. 女子教育とジェンダー 7. 労働とジェンダー</p> <p><現代日本の課題> 8. 家族・食事とジェンダー 9. 言葉とジェンダー 10. 災害とジェンダー 11. ハラスメントとジェンダー 12. ポップカルチャーとジェンダー 13. 本授業のまとめ</p>			

科目名	女性 I	前期	2 単位
サブタイトル	女性学	メディア(講義)	
担当者	大淵 裕美		

[成績評価方法]

毎回の授業内での課題・小テスト(70%)、定期試験(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

- ・毎回提出するコメントシートについては、確認して次回授業時に全体に共有します。
- ・毎授業時にmanabaにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。
- ・試験後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題、小テスト、定期試験

[教科書(ISBN)]

なし

[参考書(ISBN)]

『ジェンダー論をつかむ』 著者名：千田有紀他 出版社：有斐閣 (978-4-641-17716-1)
ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方 著者名：多賀太
出版社：時事通信社
よくわかるジェンダー・スタディーズ 著者名：木村涼子ほか編 出版社：ミネルヴァ書房

科目名	女性Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	女性と仕事	講義	
担当者	小河 洋子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 日本の女性雇用労働者が置かれている状況と問題を、個別・具体的に理解する。また、問題の当事者になった場合でも、どうすれば自分なりに納得のいく対処ができるのかについて多角的に考えられるようになる。</p> <p>[授業概要] 日本では働く女性の数は年々増加し、企業も女性を積極的に登用していると言われています。 働く女性と言っても、正社員がいれば派遣社員やパートタイムで働く人、初職の職場で働き続ける人がいれば転職する人、一度退職し何年かのブランクを経て再就職する人などその状況は多様化しており一概に語ることはできません。しかし、働いていて良かったと思えることや辞めてしまいたいと思うことなど、いろんなことが起こるといった共通点があります。 また女性が働くことは、結婚や子育てや介護などの家族の問題とも密接に関わってきます。それらの出来事が、なぜ女性に偏って起こるのか、その理由は何なのか、どうすれば状況を変えることができるのかを中心に理解を深めます。 卒業後の進路だけでなく、生涯にわたって働くことをどう位置づけるのかについて、一人ひとりが自分のこととして考え人生を切り拓いていくのに役立つような授業をめざします。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 ・授業計画を見て、各回のテーマに関連する新聞記事やニュース等を確認し、関心を持つこと。 ・配布資料は授業で説明がない部分も一通り読んでおくこと。 ・関心を持ったテーマについては、参考図書を読んで理解を深めること。</p> <p>[授業計画] 1. 女性にとっての仕事とは～個人の希望と社会の期待のねじれ 2. 女性雇用労働者の権利を保障する法律 3. 雇用労働における男女の格差と偏り 賃金・労働時間・キャリア 4. 多様な女性雇用労働者① 正社員・一般職 5. 多様な女性雇用労働者② 正社員・総合職 6. 多様な女性雇用労働者③ パートタイム労働 7. 多様な女性雇用労働者④ 派遣社員 8. 働き続けることと妊娠・出産 9. 職場の問題① セクシュアル・ハラスメント 10. 職場の問題② セクシュアル・ハラスメントの対処 11. 職場の問題③ パワー・ハラスメントとその対処 12. 事例から考える① 職場の問題を仲間と解決する 13. 事例から考える② 男女賃金差別裁判</p>			

科目名	女性Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	女性と仕事	講義	
担当者	小河 洋子		
<p>[成績評価方法] 試験(50%)・レポート①(12%)・レポート②(12%)・毎回の授業参加度評価(26%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の授業で回答したアンケートや提出したコメントカードの感想は、次の回の資料としてフィードバックします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 毎回の授業参加度評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート①</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 毎回の授業参加度評価、レポート②</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 毎回の授業参加度評価、レポート①、レポート②、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: レポート①、レポート②、試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 配布資料、関連新聞記事資料</p> <p>[参考書(ISBN)] 講義中に紹介 著者名: 講義中に紹介 出版社: 講義中に紹介</p>			

科目名	女性Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	女性と健康（女性に関わる健康科学）	メディア(講義)	
担当者	吉川 豊、奥野 直、松本 衣代、泉 妙子、玉木 敦子、小路 浩子、洪 愛子、小島 理永、服部 律子、斎藤 あつ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 「女性」という観点から、健康科学の実際について解説を受け、新しい生命を生む性である女性の精神と身体の特徴および疾患との関連について理解することを目標とする。</p> <p>[授業概要] 【メディア授業】 学内外の研究者、メディカル・コメディカル分野の専門の先生方により、それぞれの専門分野における女性の心身の特性に基づく健康のあり方を医学・看護学・栄養学を中心にオムニバス講義を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと、日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度必要とする。</p> <p>[授業計画] 1. 微量元素と健康 吉川豊(神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科) 2. 女性の生涯を通じた健康支援① 服部 律子(神戸女子大学看護学部看護学科) 3. 女性の生涯を通じた健康支援② 服部 律子(神戸女子大学看護学部看護学科) 4. 水と健康 奥野直(神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科) 5. 母子感染する感染症 斎藤あつ子(神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科) 6. 女性と感染症 洪 愛子(神戸女子大学看護学部看護学科) 7. 女性と運動 小島 理永(神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科) 8. 女性と介護 泉妙子(神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科) 9. 女性の健康-血液サラサラと疾病- 横川晃治(学外特別講師) 10. 女性の健康-サプリメントと健康- 寺尾啓二(学外特別講師) 11. 女性を支える地域保健 小路 浩子(神戸女子大学看護学部看護学科) 12. 肥満とダイエット 松本衣代(神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科) 13. 女性とメンタルヘルス 玉木 敦子(神戸女子大学看護学部看護学科)</p> <p>※講師の都合により、順序が入れ替わることがあります。</p>			

科目名	女性Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	女性と健康（女性に関わる健康科学）	メディア(講義)	
担当者	吉川 豊、奥野 直、松本 衣代、泉 妙子、玉木 敦子、小路 浩子、洪 愛子、小島 理永、服部 律子、斎藤 あつ子		
<p>[成績評価方法] 各回manabaなどでレポートを提出させ成績評価を行う。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 全ての授業終了後確認し、必要に応じ返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 必要に応じて、プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	女性Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	女性史	メディア(講義)	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 世界の「女性史」を学び、現代につながるジェンダー格差の問題を理解する。</p> <p>[授業概要] 世界の「女性史」を学ぶことで、現代の男女格差の問題を紐解きます。人間の営みの半分は女性たちによって支えられてきたにも関わらず、歴史の舞台に登場する女性の数が少ないのは、女性が重要な出来事に関わってこなかったからではなく、「歴史」が男性中心で書かれていたからです。本講義では、ヨーロッパの女性たちの主要な実践や思考を紹介することで、現在私たちが抱えているさまざまな女性の問題、ジェンダー格差について学びます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回の授業内容に即した一般的な歴史の基礎知識を予習して、授業に臨むこと(各講義の予習復習は4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. フランスⅠ 3. フランスⅡ 4. イギリスⅠ 5. イギリスⅡ 6. アメリカⅠ 7. アメリカⅡ 8. ドイツⅠ 9. ドイツⅡ 10. ロシアⅠ 11. ロシアⅡ 12. 世界規模で広がる女性の連帯の輪 13. 本授業のまとめ 			

科目名	女性Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	女性史	メディア(講義)	
担当者	大淵 裕美		

[成績評価方法]
毎回の授業内での課題・小テスト(70%)、定期試験(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・課題については、確認して次回授業時に全体に共有します。
・授業時にmanabaにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。
・定期試験は試験終了直後に解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、小テスト、定期試験

[教科書(ISBN)]
『ジェンダーの西洋史[3訂版]』 著者名：井上洋子 他 出版社：法律文化社 (ISBN978-4-589-03404-5-c1022)

[参考書(ISBN)]
授業中に紹介する

科目名	心理学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐伯 恵里奈、前田 研史、曾山 いづみ、池尻 義隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 心理学の知見や考え方をを用いて、人間の心理と行動について説明することができる。</p> <p>[授業概要] 心理学とは、人の行動や心の働きについて研究する学問分野です。この授業では科学としての心理学を幅広く学び、心理学の各領域の基礎的な知識を身に付けることを通じて、人の行動と心について理解と考えを深めることをねらいとします。心理学の各領域をそれぞれ専門とする複数の教員によるオムニバス形式の授業をおこない、複数の側面から人の心と行動をとらえ、理解する態度を身に付けます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業で学習したことを復習し、自分自身の体験や日常生活上で経験することがらと関連づけつつ理解を深めるよう努めること。各回、予習・復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学とは(佐伯 恵里奈) 2. 知覚(佐伯 恵里奈) 3. 記憶(佐伯 恵里奈) 4. 学習(前田 研史) 5. 言語(前田 研史) 6. 社会(前田 研史) 7. 臨床(曾山 いづみ) 8. 発達(曾山 いづみ) 9. 家族関係(曾山 いづみ) 10. 脳の病気(池尻 義隆) 11. こころの病気(池尻 義隆) 12. こころと脳の関係(池尻 義隆) 13. まとめ(佐伯 恵里奈) 			

科目名	心理学 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐伯 恵里奈、前田 研史、曾山 いづみ、池尻 義隆		
<p>[成績評価方法] 授業時に出題する課題(リアクションペーパー、グループディスカッション等)(40%)、試験(60%)を総合的に判断して評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・授業中の課題は、授業内やmanaba上でフィードバックします。 ・試験については、答案回収後、解答の解説を行い、質問を受け付けます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：授業時に出題する課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：授業時に出題する課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：授業時に出題する課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：授業時に出題する課題、試験</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布等</p> <p>[参考書(ISBN)] なし。授業内で随時紹介する。</p>			

科目名	数学 I	前期	2 単位
サブタイトル	数学と数的思考	講義	
担当者	梅田 亨		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的思考力を高めるなかで数学の楽しさを体感することができる。いろいろな計算をとおして、数学的な事実を予測し、いろいろな計算をとおして、数学的な事実を予測し、可能であればその予測に厳密な証明を与えることで数学で使われる重要な技法を学ぶ。</p> <p>[授業概要] 小学校の算数や中学以降の数学で学んだ事柄と、数学にまつわる歴史や文化の話題も取り扱い、あらためて日常的な事象と数学の関わりを学び、数学的思考や論理的思考力を培う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 講義内容の復習(練習問題を解く、用語・定義の確認など)は積極的に行ってください。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2^nの表を見て考える。そこにどのような法則が見つけれられるか。 2. 自然数、N進法 3. 数を広げる(ゼロ、負の数、整数、有理数)、指数法則とその拡張 4. 整数の合同、割り算の意味 5. 二項定理、パスカルの三角形 6. 周期性の解明 7. 周期性とフェルマの小定理 8. フェルマの小定理の拡張 9. ここまでのまとめ 10. 対数と数の近似 11. 大体の世界 12. 対数からみえる、さまざまな現象、音階、放射能、小数の由来 13. 一般二項定理とその応用、近似計算 			

科目名	数学 I	前期	2 単位
サブタイトル	数学と数的思考	講義	
担当者	梅田 亨		
<p>[成績評価方法] 授業中に行う演習への取り組み(30%)、理解度確認テスト(70%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 演習後、解説をし理解を深める。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:関連する課題に対するレポートの提出</p> <p>[教科書(ISBN)] 適宜プリントを配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜紹介</p>			

科目名	数学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	統計学入門	講義	
担当者	梅田 亨		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>①データの適切な処理方法やデータの見方、また、データから導かれた情報を正確に読み、正しく理解することができる。</p> <p>②データを有効に活用するための手法を身につけ、数学的論拠に基づいて判断することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>まず、確実な知識を理解する方法(論理)を学びたい。しかし、データが不十分であるなどの場合の判断のしかた(確率的考え)を通じて、不確実ではあるが、どれほどの確実さが得られるかの数値的な指標を得る方法を知りたい。その一方、論理的には確実であっても、計算が膨大で、決定的なところまで至ることができない世界もある。我々の知識の階層を、数学の立場から知ることによって、現実の世界をどのように把握していくか。現在は AI の進歩によって、かなりのことができるようになってきているが、信頼できるのか。できれば、そのようなところまで突っ込んでいきたい。可能であれば、演習等基礎的な考え方とその方法を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>講義内容の復習(練習問題を解く、用語・定義の確認など)は積極的に行ってください。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論理について 2. 論理(続き) 3. 集合 4. 順列と組合せ 5. 確率と順列組合せ 6. 確率の意味 7. 偏差値の意味 8. 期待値1 9. 期待値2 10. パスカルの三角形 11. 二項分布 12. 正規分布 13. 検定(統計的判断) 			

科目名	数学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	統計学入門	講義	
担当者	梅田 亨		
<p>[成績評価方法] 授業中に行う演習への取り組み(30%)、理解度確認テスト(70%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 演習後、解説をし理解を深める。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：関連する課題に対するレポートの提出</p> <p>[教科書(ISBN)] 適宜プリントを配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 『数学ガールの秘密ノート／確率の冒険』 著者名：結城 浩著 出版社：SBクリエイティブ (978-4815606039) 高等学校の確率・統計 著者名：黒田隆郎ほか 出版社：ちくま学芸文庫 (978-4-480-09393-6)</p>			

科目名	スポーツ実技 I (バドミントン)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼 勇人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術(skill)やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。 また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。</p> <p>[授業計画] (バドミントン)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明 2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク 3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク 4. 基礎運動②サイドステップ 5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ 6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ 7. 基礎運動⑤スマッシュ 8. シングルス競技の進め方、ルールの説明 9. シングルス試合 10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明 11. ダブルス試合① 12. ダブルス試合② 13. まとめ <p>*コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります</p>			

科目名	スポーツ実技 I (バドミントン)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼 勇人		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で説明、解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技 I (バドミントン)	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上 操		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術(skill)やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のもを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。 また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。</p> <p>[授業計画] (バドミントン)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明 2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク 3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク 4. 基礎運動②サイドステップ 5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ 6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ 7. 基礎運動⑤スマッシュ 8. シングルス競技の進め方、ルールの説明 9. シングルス試合 10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明 11. ダブルス試合① 12. ダブルス試合② 13. まとめ <p>*コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります</p>			

科目名	スポーツ実技 I (バドミントン)	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上 操		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で説明、解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実技技能、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 積極的な受講態度姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 課題レポート提出</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技 I (バドミントン)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上 操		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術(skill)やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のもを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。 また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。</p> <p>[授業計画] (バドミントン)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明 2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク 3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク 4. 基礎運動②サイドステップ 5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ 6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ 7. 基礎運動⑤スマッシュ 8. シングルス競技の進め方、ルールの説明 9. シングルス試合 10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明 11. ダブルス試合① 12. ダブルス試合② 13. まとめ <p>*コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります</p>			

科目名	スポーツ実技 I (バドミントン)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上 操		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で説明、解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実技技能、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 積極的な受講態度姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 課題レポート提出</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技 I - 1 (球技)	後期	1 単位
サブタイトル	球技の特性 指導法	実技	
担当者	大沼 勇人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる基礎的な技術やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション 球技について 第2回:ネット型ゲームの実践 ゲームの特性とボールや用具の操作 第3回:ネット型ゲームの実践 基本技術の習得 第4回:ネット型ゲームの実践 打球の種類とコントロール 第5回:ネット型ゲームの実践 ゲームのルールとゲームの進め方 第6回:ネット型ゲームの実践 ゲームの攻防とフォーメーション 第7回:ネット型ゲームの実践 ゲームとチームワーク 第8回:ゴール型ゲームの実践 ゲームの特性と基本技術の習得 第9回:ゴール型ゲームの実践 ゲームのルール 第10回:ゴール型ゲームの実践 ゲームの攻防とフォーメーション 第11回:ゴール型ゲームの実践 ゲームとチームワーク 第12回:ベースボール型ゲームの実践 ゲームの特性と基本技術の習得 第13回:ベースボール型ゲームの実践 ゲームとチームワーク</p>			

科目名	スポーツ実技 I - 1 (球技)	後期	1 単位
サブタイトル	球技の特性 指導法	実技	
担当者	大沼 勇人		
<p>[成績評価方法] 技能 (50%)、受講態度 (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で知らせる</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 「イラストでみる最新スポーツルール」 出版社：大修館書店編集部</p>			

科目名	スポーツ実技 I - 1 (球技)	後期	1 単位
サブタイトル	球技の特性 指導法	実技	
担当者	大沼 勇人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる基礎的な技術やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション 球技について 第2回:ネット型ゲームの実践 ゲームの特性とボールや用具の操作 第3回:ネット型ゲームの実践 基本技術の習得 第4回:ネット型ゲームの実践 打球の種類とコントロール 第5回:ネット型ゲームの実践 ゲームのルールとゲームの進め方 第6回:ネット型ゲームの実践 ゲームの攻防とフォーメーション 第7回:ネット型ゲームの実践 ゲームとチームワーク 第8回:ゴール型ゲームの実践 ゲームの特性と基本技術の習得 第9回:ゴール型ゲームの実践 ゲームのルール 第10回:ゴール型ゲームの実践 ゲームの攻防とフォーメーション 第11回:ゴール型ゲームの実践 ゲームとチームワーク 第12回:ベースボール型ゲームの実践 ゲームの特性と基本技術の習得 第13回:ベースボール型ゲームの実践 ゲームとチームワーク</p>			

科目名	スポーツ実技 I - 1 (球技)	後期	1 単位
サブタイトル	球技の特性 指導法	実技	
担当者	大沼 勇人		
<p>[成績評価方法] 技能 (50%)、受講態度 (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で知らせる</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 「イラストでみる最新スポーツルール」 出版社：大修館書店編集部</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	後期	1単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本 辰生		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]

スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のもを活用する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]

本年度・開講予定種目
(バレーボール)

1. ガイダンス 講義の進め方と評価方法
2. ルール説明 審判方法 ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローターサーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦

< *コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。 >

科目名	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	後期	1単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本 辰生		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内でお知らせします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	前期	1単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本 辰生		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のもを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。</p> <p>[授業計画] 本年度・開講予定種目 (バレーボール)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 講義の進め方と評価方法 2. ルール説明 審判方法 ネット設置方法 3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク) 4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動) 5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法) 6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローターサーブ) 7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ) 8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス 9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ 10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク 11. ゲーム班別対抗戦 12. ゲーム班別対抗戦 13. ゲーム班別対抗戦 <p>< *コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。 ></p>			

科目名	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	前期	1単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本 辰生		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内でお知らせします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	後期	1単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本 辰生		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]

スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のもを活用する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]

本年度・開講予定種目
(バレーボール)

1. ガイダンス 講義の進め方と評価方法
2. ルール説明 審判方法 ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローターサーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦

< *コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。 >

科目名	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	山本 辰生		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内でお知らせします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上 操		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。 また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 基礎練習(打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ)+ゲーム(ルール説明を中心に) 3. 基礎練習(ラリー) 4. 基礎練習(サーブ)+ゲーム形式練習(ダブルス) 5. 基礎練習(フォアハンド打法)+フォアハンドラリー 6. 基礎練習(バックハンド打法)+ゲーム形式練習(シングルス) 7. 基礎練習(スマッシュ)+ゲーム(ダブルス) 8. 基礎練習(ドライブ打法)+ゲーム(ダブルス) 9. 基礎練習(レシーブ)+バックハンドラリー 10. 基礎練習(3球目攻撃と5球目攻撃)+ゲーム(ダブルス) 11. ゲーム(個人戦) 12. ゲーム(団体戦) 13. まとめ</p> <p>*コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上 操		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で説明、解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実技技能、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 実技技能、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 実技技能、受講態度</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上 操		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかりと食べること。 また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 基礎練習(打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ)+ゲーム(ルール説明を中心に) 3. 基礎練習(ラリー) 4. 基礎練習(サーブ)+ゲーム形式練習(ダブルス) 5. 基礎練習(フォアハンド打法)+フォアハンドラリー 6. 基礎練習(バックハンド打法)+ゲーム形式練習(シングルス) 7. 基礎練習(スマッシュ)+ゲーム(ダブルス) 8. 基礎練習(ドライブ打法)+ゲーム(ダブルス) 9. 基礎練習(レシーブ)+バックハンドラリー 10. 基礎練習(3球目攻撃と5球目攻撃)+ゲーム(ダブルス) 11. ゲーム(個人戦) 12. ゲーム(団体戦) 13. まとめ</p> <p>*コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	野之上 操		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内にて、説明、解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：実技技能、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：積極的な受講態度姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：課題レポート提出</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

P10001493A [GSI1-011]

[1栄]*後期金2

科目名	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島 理永		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。 また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 基礎練習(打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ)+ゲーム(ルール説明を中心に) 3. 基礎練習(ラリー) 4. 基礎練習(サーブ)+ゲーム形式練習(ダブルス) 5. 基礎練習(フォアハンド打法)+フォアハンドラリー 6. 基礎練習(バックハンド打法)+ゲーム形式練習(シングルス) 7. 基礎練習(スマッシュ)+ゲーム(ダブルス) 8. 基礎練習(ドライブ打法)+ゲーム(ダブルス) 9. 基礎練習(レシーブ)+バックハンドラリー 10. 基礎練習(3球目攻撃と5球目攻撃)+ゲーム(ダブルス) 11. ゲーム(個人戦) 12. ゲーム(団体戦) 13. まとめ</p> <p>*コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島 理永		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で連絡する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：実技、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：実技、受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：実技、受講態度、授業内課題</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼 勇人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べること。 また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション 2. 基礎練習(打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ)+ゲーム(ルール説明を中心に) 3. 基礎練習(ラリー) 4. 基礎練習(サーブ)+ゲーム形式練習(ダブルス) 5. 基礎練習(フォアハンド打法)+フォアハンドラリー 6. 基礎練習(バックハンド打法)+ゲーム形式練習(シングルス) 7. 基礎練習(スマッシュ)+ゲーム(ダブルス) 8. 基礎練習(ドライブ打法)+ゲーム(ダブルス) 9. 基礎練習(レシーブ)+バックハンドラリー 10. 基礎練習(3球目攻撃と5球目攻撃)+ゲーム(ダブルス) 11. ゲーム(個人戦) 12. ゲーム(団体戦) 13. まとめ</p> <p>*コロナ禍等の社会的状況により、変更の可能性があります。</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼 勇人		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で連絡する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島 理永		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術(skill)やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のもを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。 また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明 2. テニスのルールや基礎技術の説明 3. 基礎技術①フォアハンドストローク 4. 基礎技術②バックハンドストローク 5. 基礎技術③ボレー 6. 基礎運動④サーブ 7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解 8. 基礎運動⑥シングルの戦術理解 9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習 10. 試合の進め方、ルールの説明 11. ダブルスの試合 12. シングルの試合 13. まとめ <p>*コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島 理永		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で知らせします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 受講態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 実技</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼 勇人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術(skill)やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のもを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。 また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明 2. テニスのルールや基礎技術の説明 3. 基礎技術①フォアハンドストローク 4. 基礎技術②バックハンドストローク 5. 基礎技術③ボレー 6. 基礎運動④サーブ 7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解 8. 基礎運動⑥シングルの戦術理解 9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習 10. 試合の進め方、ルールの説明 11. ダブルスの試合 12. シングルの試合 13. まとめ <p>*コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大沼 勇人		

[成績評価方法]

技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

授業内で知らせします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

なし

[参考書(ISBN)]

なし

科目名	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島 理永		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術(skill)やルール・マナーなどを身につける</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のもを活用する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。 また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明 2. テニスのルールや基礎技術の説明 3. 基礎技術①フォアハンドストローク 4. 基礎技術②バックハンドストローク 5. 基礎技術③ボレー 6. 基礎運動④サーブ 7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解 8. 基礎運動⑥シングルの戦術理解 9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習 10. 試合の進め方、ルールの説明 11. ダブルスの試合 12. シングルの試合 13. まとめ <p>*コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	小島 理永		
<p>[成績評価方法] 技能(50%)、受講態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で知らせします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツ実技Ⅴ(学外)	後期	1 単位
サブタイトル	野外活動(キャンプ、カヌー、カヤック)	実技	
担当者	小島 理永、住本 純、大沼 勇人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] アウトドアスポーツとして野外活動技術を習得する。 自然を通して仲間との関わりや、環境倫理について学ぶ。</p> <p>[授業概要] スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。</p> <p>開講種目は野外活動(水辺およびキャンプ実習)を通じて、野外技術の向上、自然と人との関わり、環境倫理を学ぶ。</p> <p>受講定員35名～40人名とし、人数に満たない場合は不開講とする。 参加条件として1～4回生の基礎トレーニング修了者で、内科検診に異常の無い者。</p> <p>日時:2024年9月18日～9月20日(2泊3日)予定 場所:神戸YMCA余島野外活動センター(香川県 小豆島)</p> <p>学生自身での履修登録はできません。 履修希望者は、以下に記した各キャンパスでの説明会に必ず参加し、参加時に配布する受講希望届を教員に手渡しすること。 抽選の結果、参加が認められた者については、教務課にて履修登録を行います。</p> <p>須磨・・・5月17日(金) 12時50分～13時15分(体育館 アリーナ) PI・・・5月14日(火) 12時50分～13時15分(体育館 アリーナ)</p> <p>説明会までの連絡は、Kissシステムにて行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食を摂る。 日常的によく体を動かしたり、意図的に運動を実施しておくことが望ましい。</p> <p>[授業計画] 1. 概要説明 2. グループ分け、屋外における安全教育、チームビルディング 3. カヌー①(パドル操作) 4. カヌー②(ターン習得) 5. カヌー③(長距離の移動) 6. カヤック①(パドル操作) 7. カヤック②(ターン習得) 8. カヤック③(長距離の移動) 9. 無人島一周 10. 野外料理(薪割り、火起こし、飯盒炊飯) 11. キャンププログラムの運営について(朝・夕の集い) 12. キャンプファイヤーの運営(トーチ制作、プログラム企画) 13. まとめ</p> <p>* 天候等により順序が変わることがあります。</p>			

科目名	スポーツ実技V(学外)	後期	1 単位
サブタイトル	野外活動(キャンプ、カヌー、カヤック)	実技	
担当者	小島 理永、住本 純、大沼 勇人		
<p>[成績評価方法] レポート(30%)、受講態度・技能(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内等で連絡します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツと健康の科学		前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養		講義	
担当者	小寺 隆志			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	○
その他		<small>授業で出されたテーマに関する課題、演習等(軽運動を含む)。</small>	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいた対処および行動ができる。</p> <p>[授業概要] 科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子(リスクファクター)となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通じた健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツやについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康とQOL 2. ヘルスリテラシー 3. 人口の動向と少子・超高齢化社会(ロコモ度テスト) 4. 心と健康、ストレス 5. 運動・休養と健康 6. 栄養と健康 7. 生活習慣病と運動 8. 体力の測定と評価 9. トレーニング、フィットネスとは 10. 救命救急法(一次救命・応急処置法・RICE・テーピング) 11. 飲酒、喫煙、感染症について 12. 妊娠と出産(女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生) 13. まとめ 				

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	小寺 隆志		
<p>[成績評価方法] 試験・課題レポート(50%)、授業態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業等で説明・解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法：試験・課題レポート(50%)、授業態度(50%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：試験・課題レポート(50%)、授業態度(50%)</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山 清子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	<small>授業で出されたテーマに関する課題、演習等(軽運動を含む)。</small>	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいたに対処および行動ができる。</p> <p>[授業概要] 科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子(リスクファクター)となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通じた健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツやについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康とQOL 2. ヘルスリテラシー 3. 人口の動向と少子・超高齢化社会(ロコモ度テスト) 4. 心と健康、ストレス 5. 運動・休養と健康 6. 栄養と健康 7. 生活習慣病と運動 8. 体力の測定と評価 9. トレーニング、フィットネスとは 10. 救命救急法(一次救命・応急処置法・RICE・テーピング) 11. 飲酒、喫煙、感染症について 12. 妊娠と出産(女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生) 13. まとめ 			

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山 清子		
<p>[成績評価方法] 試験・課題レポート(50%)、授業態度(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業等で説明・解説します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:受講態度(50%)・課題レポート(50%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:受講態度(50%)・課題レポート(50%)</p> <p>[教科書(ISBN)] なし プリント配布(manaba利用)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	川端 麗子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

学生自身が主体性、社会性、人間力を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが、将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする。

[授業概要]

大学での講義、演習を中心とはせず、学生自らの興味、関心に基づいて様々な地域社会で催されている行事、活動に社会貢献活動の一環として主体的に参加する。

履修期間は通年(1年)として、次年度へのポイントを持越すことはできない。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

日頃から学生一人一人の興味関心を常に社会に向け、様々な情報を収集すること。また各種の出来事について積極的に主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。

[授業計画]

1. 前期・後期の最初に学内でオリエンテーションを行う。日程は掲示にて知らせる。
2. 学習の参加は、原則として大学の授業時間外の時間帯及び日程で行なう。
3. 学習は地域社会の行事・活動(学校・施設等を含む)に9回以上参加した上でレポートを作成して、manaba「レポート」に提出する。
4. 参加の確認は、履修学生に発行する「履修カード」で、行事・活動の責任者等、または指導・担当教員に押印してもらうこと。
5. 年度末に「地域学習まとめの報告書」と「履修カード」を提出する
6. 回数のおえ方は原則1日1単位とし、時間の長短は行事によって違うが、最低1時間以上とする。

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	川端 麗子		
<p>[成績評価方法] 活動・行事への参加確認(85%)と最終レポート、活動報告書(15%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 最終レポートは添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 活動・行事の参加確認、最終レポート、活動報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 最終レポート、活動報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 最終レポート、活動報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 最終レポート、活動報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 最終レポート、活動報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 最終レポート、活動報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 最終レポート、活動報告書</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 最終レポート、活動報告書</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	奥野 直		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	??
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 学生自身が自主性・社会性・人間性を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが、将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 大学での講義・演習を中心とはせず、学生自らの興味、関心に基づいて様々な地域社会で催されている行事、活動に社会貢献活動の一環として主体的に参加する。 履修期間は通年(1年)として、次年度へのポイントを持越すことはできない。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃から学生一人一人の興味関心を常に社会に向け、様々な情報を収集すること。また各種の出来事について積極的に主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。 これから活動する内容について予習(30分)し、活動後は内容をノートに整理するなど復習(30分)すること。</p> <p>[授業計画] 1. 原則として大学の授業時間外の時間帯及び日程で行なう。 2. 地域社会の行事・活動(学校・施設等を含む)に9回以上、13回上限で参加した上で、記録ノートのレポートを提出する。 3. 回数(準備打合せ等を含む)の数は、原則1日単位とし、時間の長短は行事によって異なる。 4. 指定の地域社会の行事・活動は、担当教員及び学内の地域連携推進員委員会の承認を得たものに限る。 5. 参加の確認は、履修学生に発行する「履修カード」に、行事・活動の責任者等または指導・担当教員の押印による。 6. 「活動記録」冊子に毎回活動を記録し、「最終レポート」と共に担当教員に提出し、確認を受ける。 7. この科目の説明会を4月中旬に開催する。</p>			

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	奥野 直		
<p>[成績評価方法] 活動、行事への参加確認(85%)と記録ノートのレポート(15%)により評価します</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 実習参加とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実習参加とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 実習参加とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 実習参加とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 実習参加とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 実習参加とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 実習参加とレポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 実習参加とレポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小坂 素子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 学生自身が主体性、社会性、人間力を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする</p> <p>[授業概要] 大学での講義、演習を中心とはせず、学生自らの興味・関心に基づいてさまざまな地域社会で催されている行事、活動に社会貢献活動の一環として主体的に参加する。 履修期間は通年(1年)として、次年度へのポイントを持ち越すことはできない。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日ごろから学生一人ひとりの興味関心を常に社会に向け、さまざまな情報を収集すること。また、各種の出来事について積極的に主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。</p> <p>[授業計画] 1. 地域学習は地域社会の行事、活動(学校、施設等含む)に9回以上参加した上で、定められた期限までにまとめのレポートを提出する。 2. 回数の数え方は、原則1日単位とし、時間の長短は行事によって異なる。 3. 履修登録した学生に「履修カード」と「活動記録」を発行する。 4. 参加の確認は履修登録を行った学生に発行する「履修カード」と「活動記録」に、参加した行事、活動の責任者等の押印をもらうこと。 5. 「活動記録」冊子に毎回活動記録を記録し、各行事の担当者に提出し確認を受ける。 6. 最終提出の前に活動実績を振り返り、到達目標に対する自己評価を行う。 7. 最終レポートは学部の担当教員に提出する。 8. 学生の参加は、大学の授業時間外の時間帯、日程で行うことを原則とする。</p>			

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小坂 素子		
<p>[成績評価方法] 13回の参加確認(85%)とレポート(15%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 記録物・レポートは後日添削して返却します</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 活動参加状況、活動報告書、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 活動報告書、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 活動報告書、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 活動報告書、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 活動報告書、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 活動報告書、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 活動報告書、最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 活動報告書、最終レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	小沢 康英、秋山 学、吉川 祐介		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>学生自身が主体性、社会性、人間力を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする</p> <p>[授業概要]</p> <p>日ごろから学生一人ひとりの興味関心を常に社会に向け、さまざまな情報を収集すること。また、各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日頃から学生一人一人の興味関心を常に社会に向け、様々な情報を収集すること。また各種の出来事について積極的に主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域学習は地域社会の行事、活動(学校、施設等含む)に9回以上参加した上で、定められた期限までにまとめたレポートを提出する。 2. 回数の数え方は、原則1日単位とし、時間の長短は行事によって異なる。 3. 履修登録した学生に「履修カード」と「活動記録」を発行する。 4. 参加の確認は履修登録を行った学生に発行する「履修カード」と「活動記録」に、参加した行事、活動の責任者等の押印をもらうこと。 5. 「活動記録」冊子に毎回活動記録を記録し、各行事の担当者に提出し確認を受ける。 6. 最終提出の前に活動実績を振り返り、到達目標に対する自己評価を行う。 7. 学生の参加は、大学の授業時間外の時間帯、日程で行うことを原則とする。 			

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル	地域学習	演習	
担当者	小沢 康英、秋山 学、吉川 祐介		
<p>[成績評価方法] 参加確認(85%)とレポート(15%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 記録物等は後日添削して返却します</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	中国語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫 輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。 2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。 3.中国語の基礎語彙200語程度を使うことができる。 4.中国語の入門段階の文法(動詞述語、形容詞述語文、存在文の肯定形・否定形・各種疑問文など)を理解し、文を組み立てることができる。 5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。 <p>[授業概要]</p> <p>一から中国語を始める人向けに、中国語について詳しく解説し、豊富な練習によって中国語習得の確かな基礎を固めるための授業である。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。</p> <p>英語以外の外国語を学ぶことで、外国語観をより豊かにし、世界の多様性を理解することにもつながる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。 2.毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。 <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.第一課+日中異文化動画 2.第二課+日中異文化動画 3.第三課+日中異文化動画 4.第四課+日中異文化動画 5.第五課 6.第五課 7.第六課 8.第六課 9.第七課 10.第七課 11.第八課 12.第八課 13.第一課～第八課のまとめ、試験 			

科目名	中国語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫 輝		
<p>[成績評価方法] 授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%、まとめの試験40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：授業中の発表や課題、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト、まとめの試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：授業中の発表や課題、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト、まとめの試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『初級中国語 会話編(改訂版)』 著者名：奥村佳代子/塩山正純/張軼欧 出版社：金星堂 (978-4-7647-0729-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	中国語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫 輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。 2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。 3.中国語の基礎語彙500程度を使うことができる。 4.中国語の初級段階の文法(助動詞、前置詞、連動文、二重目的語文、完了相、進行相、持続相、変化の“了”など)を理解し、文を組み立てることができる。 5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる <p>[授業概要]</p> <p>半年学んだ中国語の初歩を忘れないように復習しつつ、初級中国語の半ばまでを学ぶ。授業で一層の練習を積み、中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。 2. 毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。 <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第九課 2. 第九課 3. 第十課 4. 第十課 5. 第十一課 6. 第十一課 7. 第十二課 8. 第十二課 9. 第十三課 10. 第十三課 11. 第十四課 12. 第十四課 13. 第九課～第十四課のまとめ、試験 			

科目名	中国語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫 輝		
<p>[成績評価方法] 授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%、まとめの試験40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：授業中の発表や課題、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト、まとめの試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：授業中の発表や課題、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト、まとめの試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『初級中国語 会話編(改訂版)』 著者名：奥村佳代子/塩山正純/張軼欧 出版社：金星堂 (978-4-7647-0729-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	中国語会話 I	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫 輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語の基礎を固め、初歩的な会話能力を身に付けることです。</p> <p>[授業概要] 身近な話題を取り上げながら、それに関連する表現を学んでいく。授業は話すことと聞くことを中心に進めていく。会話能力を伸ばすための練習を多く取り入れるので、中国語が聞き取れた時の喜びや、中国語で言いたいことが伝わった時の楽しさを味わってほしいと思う。そのほかに、映像教材などを使って、中国の街や文化遺産、また人々の生活や風習などについても紹介するので、言葉を学ぶことを通して、中国文化へ理解を深めてもらいたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回、予習、復習合わせて4時間程度の準備学修が必要。復習では、まず授業で指定された宿題をした後、教科書付属のCDを繰り返し聞いて、続けて自分で教科書の本文と文法解説の例文を朗読する。次に本文の日本語訳を見ながらそれをさらに中国語に訳す練習をする。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1課「あなたも留学生ですか」単語、文法、会話文 2. 第1課「あなたも留学生ですか」練習問題、第2課「アルバイトする」単語、文法 3. 第2課「アルバイトする」会話文、練習問題 4. 第3課「レストランで」単語、文法、会話文 5. 第3課「レストランで」練習問題、第4課「カラオケに行く」単語、文法 6. 第4課「カラオケに行く」会話文、練習問題 7. 第5課「あなたは歌がうまい」単語、文法、会話文 8. 第5課「あなたは歌がうまい」練習問題、第6課「家族写真」単語、文法 9. 第6課「家族写真」会話文、練習問題 10. 第7課「シャツを買う」単語、文法、会話文 11. 第7課「シャツを買う」練習問題、前期の復習 12. まとめ 13. 作文、発表 			

科目名	中国語会話 I	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫 輝		
<p>[成績評価方法] 授業での発表・課題40%、第1課～第7課のテスト60%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：授業中の発表、第1課～第7課のテスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：授業中の発表、第1課～第7課のテスト</p> <p>[教科書 (ISBN)] 『しゃべってもいいとも 中国語2 ステップアップ編』 著者名：陳淑梅・劉光赤 出版社：朝日出版社 (978-4-255-45229-6)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	中国語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫 輝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- 1.中国語の発音、基礎的な語彙と文法を習得する。
 - 2.中国語の文章を、自分で辞書を引きながら翻訳できる。
 - 3.文脈を把握して、文章全体の中で適切な翻訳ができる。
- 中国語の文章の初級から初中級程度の読解力を身に付けることを目標とする。

[授業概要]

ジョークによくあるパターンの一つとして、ジョークに登場するある言葉の常識的(一般的)な意味と、もう一つの意外な意味の落差に笑うというものがあります。
 例:父「学校に行くのは好き？」子「学校に行くのは好き。帰るのはもっと好き。でも授業は嫌い。」
 この場合、お父さんの「学校に行く」は学校生活全般を指し、子供の「学校に行く」は登校のみを指しています。
 ジョークを読む目的の第一はもちろん笑って楽しむことですが、翻訳するということを考えると、「学校に行く」という訳語をもととの中国語の言葉(上学)から大きく外れない範囲にとどめながら、日本語としてもジョークが成立するようにうまく選ぶ必要があります。
 このような楽しい工夫をしながら、中国語を読む練習をしましょう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- 1.辞書を使って授業の準備をする。
- 2.毎回、予習復習を合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]

1. ジョーク 01~04
2. 語彙と文法のまとめ、可能補語など
3. ジョーク 05~08
4. 語彙と文法のまとめ、反語など
5. ジョーク 09~12
6. 語彙と文法のまとめ、謙語文など
7. ジョーク 13~16
8. 語彙と文法のまとめ、処置式文など
9. ジョーク 17~20
10. 語彙と文法のまとめ、助動詞など
11. ジョーク 21~24
12. 語彙と文法のまとめ、使役など
13. まとめ

科目名	中国語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	孫 輝		
<p>[成績評価方法] 授業中の発表30%、授業中実施のテスト70%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：授業中の発表、授業中実施のテスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：授業中の発表、授業中実施のテスト</p> <p>[教科書 (ISBN)] 『中国語ジョークボックス』 著者名：相原茂・郭雲輝 出版社：朝日出版社 (978-4-255-25150-3)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	朝鮮語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭 東憲		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

韓国・朝鮮語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、挨拶や自己紹介などの基礎会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]

本授業は初めて韓国・朝鮮語を学ぶ者を対象とする。

韓国・朝鮮語の文字であるハングルの読み方・書き方を覚え、基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]

1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音
2. Lesson 2 子音①: 平音
3. Lesson 2 子音②: 激音、Lesson 2 子音③: 濃音
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音、日本語のハングル表記
5. 第1課 「私は日本人です」①
6. 第1課 「私は日本人です」②
7. 第2課 「日本人ではありません」①
8. 第2課 「日本人ではありません」②
9. 第3課 「それは何ですか」①
10. 第3課 「それは何ですか」②
11. 第4課 「約束があります」①
12. 第4課 「約束があります」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭 東憲		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、小テスト・課題(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級Ⅰ 新装版』 著者名：李志映 出版社：DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	朝鮮語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李 春子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

韓国・朝鮮語の文字の読み書きを基盤に基礎的な文法・文型を学習し、自己紹介などの基礎会話ができることを目指す。

[授業概要]

本講義は初めて朝鮮語を学ぶ者を対象とする。

文字の読み書き、そして基礎文法・応用会話の順に朝鮮語の仕組みを学んでいく。実際、使える言葉を学習するために、発音や会話の練習などの機会をできるだけ多く設けている。各自の積極的な参加が要求される。また、歌やドラマ・映画等、言葉を習得しながら異文化理解も取り入れる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

予習・復習合わせて2時間程度すること。また、日頃から韓国に関連するメディア等の報道等に関心を持つこと。

[授業計画]

1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音
2. Lesson 2 子音①: 平音
3. Lesson 2 子音②: 激音、Lesson 2 子音③: 濃音
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音、日本語のハングル表記
5. 第1課 「私は日本人です」①
6. 第1課 「私は日本人です」②
7. 第2課 「日本人ではありません」①
8. 第2課 「日本人ではありません」②
9. 第3課 「それは何ですか」①
10. 第3課 「それは何ですか」②
11. 第4課 「約束があります」①
12. 第4課 「約束があります」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李 春子		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、小テスト・課題(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 試験後、解説によって達成度を確認する。授業に積極的に参加し、様々な発表を評価する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：試験(60%)、小テスト・課題(40%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：試験(60%)、小テスト・課題(40%)</p> <p>[教科書(ISBN)] 新装版 できる韓国語 初級 I 著者名：新大久保語学院 著 出版社：DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	朝鮮語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭 東憲		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 韓国・朝鮮語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、基礎的な日常会話や作文ができることを目指す。</p> <p>[授業概要] 本授業は「朝鮮語 I - 1」を履修済みの者を対象とする。「朝鮮語 I - 1」に引き続き、韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力に比べ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、第5課「会社はどこにありますか」① 2. 第5課「会社はどこにありますか」② 3. 第6課「週末は何をしますか」① 4. 第6課「週末は何をしますか」② 5. 第7課「そんなに遠くありません」① 6. 第7課「そんなに遠くありません」② 7. 第8課「いつ行きますか」① 8. 第8課「いつ行きますか」② 9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」① 10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」② 11. 第10課「何時からですか」① 12. 第10課「何時からですか」② 13. まとめ 			

科目名	朝鮮語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭 東憲		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、小テスト・課題(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名：李志映 出版社：DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	朝鮮語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李 春子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 初級レベルの韓国・朝鮮語を読む、書く、聞く、話す能力を身につけ、簡単な日常会話や作文ができることを目指す。</p> <p>[授業概要] 本講義は朝鮮語 I - 1を学んだ受講者を対象とし、「読む」、「書く」、「聞く」そして「話す」ことをバランスよく学習して行く。基礎文法を応用した会話を練習して、学習したのが発話につながるようにしていく。また、韓国の歌や映画、文学作品等を取り入れて言葉の向こうの異文化理解も行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 予習・復習合わせて2時間程度すること。実際、韓国に行った時に活用できうる様々な場面の会話を身につけるように努力すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、第5課「会社はどこにありますか」① 2. 第5課「会社はどこにありますか」② 3. 第6課「週末は何をしますか」① 4. 第6課「週末は何をしますか」② 5. 第7課「そんなに遠くありません」① 6. 第7課「そんなに遠くありません」② 7. 第8課「いつ行きますか」① 8. 第8課「いつ行きますか」② 9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」① 10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」② 11. 第10課「何時からですか」① 12. 第10課「何時からですか」② 13. まとめ 			

科目名	朝鮮語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李 春子		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、小テスト・課題(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業の後、返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：試験(60%)、小テスト・課題(40%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：試験(60%)、小テスト・課題(40%)</p> <p>[教科書(ISBN)] 新装版 できる韓国語 初級 I 著者名：新大久保語学院 著 出版社：アスク出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	朝鮮語会話 I	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭 東憲		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 韓国・朝鮮語の「聞く」、「話す」力をより発展させ、旅行や日常の場面において自分の言いたいことをある程度表現できるようになることを目指す。</p> <p>[授業概要] 本授業では、「朝鮮語 I -1」および「朝鮮語 I -2」よりもさらに高い難易度の韓国・朝鮮語の表現を学習する。また、これらの表現を使ったペア・グループ活動などを通して、基礎会話表現の幅を広げる練習を行い、より多様な場面で応用できる能力を習得する。 ハングル能力検定試験(6月・11月、11月は須磨キャンパスにて受験可)の受験を勧める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、復習 2. 高度なレベルの自己紹介① 3. 高度なレベルの自己紹介② 4. 敬語表現を使う① 5. 敬語表現を使う② 6. 旅行や交通について① 7. 旅行や交通について② 8. 確認を行う 9. 食事について 10. 希望・要望を伝える① 11. 希望・要望を伝える② 12. 復習 13. まとめ 			

科目名	朝鮮語会話 I	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭 東憲		
<p>[成績評価方法] 試験(50%)、小テスト・課題(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名：李志映 出版社：DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	朝鮮語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭 東憲		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型の学習を通じ、基礎的な文章の読解、作文ができることを目指す。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型の学習と簡単な文章の読解、作文の練習を行う。韓国・朝鮮語の読解力、表現力向上と共に、言語を支えている発想の仕組みについても考え、文化や社会も含めて理解する。ハングル能力検定試験(6月・11月、11月は須磨キャンパスにて受験可)の受験を勧める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第16課 プレゼントを買うのでお金をたくさん使います① 2. 第16課 プレゼントを買うのでお金をたくさん使います② 3. 第17課 結婚式に何を着ていけばいいですか① 4. 第17課 結婚式に何を着ていけばいいですか② 5. まとめ 6. 第18課 食事でも一緒にしましょうか① 7. 第18課 食事でも一緒にしましょうか② 8. 第19課 写真をちょっと撮っていただけますか① 9. 第19課 写真をちょっと撮っていただけますか② 10. まとめ 11. 第20課 自転車に乗ることができますか① 12. 第20課 自転車に乗ることができますか② 13. まとめ 			

科目名	朝鮮語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭 東憲		
<p>[成績評価方法] 試験(50%)、小テスト・課題(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名：李志映 出版社：DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	哲学	前期	2 単位
サブタイトル	哲学入門	講義	
担当者	栗山 はるな		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	コメントシートを用いた主体的学習	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 普段の生活の中で当たり前のように思っているルール、社会的な事件の基盤に哲学的思考があることを知り、またそれを通して、正解のない問題に取り組む際のコエ方をも身につけることを目指す。</p> <p>[授業概要] 我々の生きる現実について考えることは本来とても難しいことです。特に多様化の時代と言われる現代社会では、個々の疑問に対して正解があるのかすら見えにくい状況にあります。この講義では世界的なできごとや先人達のアイデア(正しさや自由、平等などについて)を頼りに皆さんと共に我々の生活について向き合うことを目指します。人文知の楽しさを知ってもらうことで、この授業が皆さん自身の生に向き合う一助となればと思います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業で配布したプリントをよく読んで、復習と予習合わせて2時間程度で準備しておく。授業のテーマと自分の生活との関わりについてよく考える。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ガイダンス 2、哲学の生まれる場面 反出生主義 3、デカルトとカント 正しさの追求 4、ニーチェと道徳の崩壊 5、ベンサムと功利主義 6、ミルと自由主義 7、マルクスと資本主義 8、ロールズの正義論 9、格差の思想 10、仏教の思想とわたしの哲学 11、フェミニズム 12、環境思想 13、まとめ 			

科目名	哲学	前期	2 単位
サブタイトル	哲学入門	講義	
担当者	栗山 はるな		
<p>[成績評価方法] 毎回の授業内ミニレポート(60%)、最終テスト(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法：ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：ミニレポート及び期末試験で評価</p> <p>[教科書(ISBN)] 講義内で配布する。</p> <p>[参考書(ISBN)] はじめて学ぶ政治学 古典・名著への誘い 著者名：岡崎清輝・木村俊道(編) 出版社：ミネルヴァ書房 (978-4-623-05054-3)</p>			

科目名	ドイツ語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	市川 智子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 簡単な日常会話ができることを目指します。</p> <p>[授業概要] この授業では、初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、「発音・文法・会話」の基礎を学習していきます。またドイツ語圏の文化事情も紹介し、異文化理解を深めることも重要視します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前は、次の授業で学習する範囲の内容に目を通してください。 授業後は、学習内容を音声聞いてスムーズに言えるまでリピート練習をしてください。また毎回単語テストを実施しますので、学習範囲の単語の意味(ドイツ語⇄日本語)を書けるようにしてください。(各回、2時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、P8+9 ドイツ語のアルファベットと発音(母音、複母音) 2. P9~11発音(子音)、あいさつ 3. P12+13 ユニット1 簡単な自己紹介(名前、出身、住所の言い方、尋ね方) 4. P20+21 ユニット2 友だちや家族を紹介する、動詞の変化(3人称) 5. P28+29 ユニット3 飲み物、食べ物を注文する、名詞の性と格 6. P36+37 ユニット4 簡単な買い物(八百屋や文房具店で)、複数形、数字 7. P44+45 ユニット5 誰かと一緒に何かをする、名詞の性と格(3格) 8. P52+53 ユニット6 週末の計画(曜日、行き先)を話す、不規則変化動詞、前置詞 9. P60+61 ユニット7 一日のうちの計画を話す、前置詞(方向)、人称代名詞 10. P68+69 ユニット8 会う約束をする、前置詞(方向と場所)、再帰代名詞 11. P76+77 ユニット9 一日の暮らしを言う、分離動詞 12. 総復習と発表準備 13. 発表、フィードバック 			

科目名	ドイツ語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	市川 智子		
<p>[成績評価方法] 試験(60%)、授業内評価(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表の後に個人、全体の総評とフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] スタート!ドイツ語 A1 著者名:岡村りら 矢羽々崇 他 出版社:白水社 (978-4-560-08768-8)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	ドイツ語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	市川 智子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 総合的なドイツ語能力の基礎をつくります。</p> <p>[授業概要] 前期に引き続き、ドイツ語の世界の更なる理解と興味を深めます。これまでに学習した知識の定着を図りながら、より多彩な日常会話表現を学んでいきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前は、次の授業で学習する範囲の内容に目を通してください。 授業後は、学習内容を音声聞いてスムーズに言えるまでリピート練習をしてください。また毎回単語テストを実施しますので、学習範囲の単語の意味(ドイツ語⇔日本語)を書けるようにしてください。(各回、2時間程度)</p> <p>[授業計画] 1. 前期復習 P84+85ユニット10電話する、日時の予約をする、助動詞(können/müssen)、否定冠詞 2. P92+93 ユニット11 計画(したいこと)を言う、助動詞(möchte/sollen) 3. P100+101ユニット12列車などの時刻の確認、ホテルのチェックイン、助動詞(dürfen/wollen) 4. P108+109 ユニット13 天気に関する表現、esの用法 5. P116+117 ユニット14 道案内、疑問詞、wissen 6. 復習:1~6回目の授業内容の復習と応用練習 7. P124+125 ユニット15 レストランでの食事(食事の場面での表現:注文、会計など) 8. P132+133 ユニット16 手紙やメールを書く、形容詞 9. P140+141 ユニット17 過去の出来事について話す 1、過去形 10. P148+149 ユニット18 過去の出来事について話す 2、現在完了形 11. 復習:7~10回目の授業内容の復習と応用練習 12. 総復習と発表準備 13. 発表、フィードバック</p>			

科目名	ドイツ語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	市川 智子		
<p>[成績評価方法] 試験 (60%)、授業内評価 (40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表の後に個人、全体の総評とフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] スタート!ドイツ語 A1 著者名：岡村りら 矢羽々崇 他 出版社：白水社 (978-4-560-08768-8)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	日本国憲法	前期	2 単位
サブタイトル	日本国憲法	講義	
担当者	豊福 一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 日本国憲法の基礎的理解</p> <p>[授業概要] 日本国憲法の基礎的な内容を条文や判例、現実の社会問題に照らして解説します。 また、余剰時間が生じた場合、理解力の定着のため公務員試験等の過去問の検討も行います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 教科書に目を通し、関連するニュースに注意しておくこと。</p> <p>[授業計画] 【対面授業】※状況によっては遠隔授業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国民主権と人権・個人の尊重 2. 法の下での平等 3. 精神の自由 4. 人身の自由 5. 経済活動の自由 6. 社会権 7. 参政权と義務 8. 立法権 9. 行政権 10. 司法権／地方自治 11. 平和主義(1) 12. 平和主義(2)・象徴天皇制 13. まとめ 			

科目名	日本国憲法	前期	2 単位
サブタイトル	日本国憲法	講義	
担当者	豊福 一		

[成績評価方法]

試験(100%)による評価を基本とする。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

試験については、対面授業の場合は講義時に、遠隔授業の場合はmanabaに提示し説明します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

「新時代の法学・憲法」 著者名：山田勉他 出版社：建帛社 (978-4-7679-4346-6)

[参考書(ISBN)]

特に指定しない。

科目名	フランス語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	廣岡 江梨子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

フランス語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]

フランス語の発音と文法の基礎を学ぶとともに、フランスの文化にも触れます。

フランス語習得の第一歩である発音は慣れが必要なので、毎回少しずつ規則を覚えながら繰り返し読むことにより、無理なく定着させていきます。文法としては、名詞や形容詞の扱い方、動詞の活用などを学び、フランス語の基本的な仕組みをしっかりと理解していきます。また、実際にフランス人と話す時に使えるフレーズを覚えて、簡単な会話ができるようにします。基礎を身に付けることが目的なので授業はゆっくり進めますが、みなさんの理解度に応じて応用にも挑戦できるようにします。

言葉の背景にある文化を知ってもらうため、フランスの食べ物やファッション、映画、本などを紹介し、フランスでの生活についても折に触れて話していきたいと思います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。重要な事項については覚えるように指示しますので、それを中心に各自復習しておいてください。練習問題を宿題にすることもあります。

[授業計画]

1. アルファベット、あいさつ、自己紹介／フランスの基礎知識(1)国土、地名
2. 主語人称代名詞(私は、君は、彼は…)／発音の基本／フランスの基礎知識(2)文化、社会
3. 動詞etre(～です)／国籍や職業の言い方
4. 名詞の性と数、不定冠詞、定冠詞／「ここに～があります」「これは～です」
5. 形容詞の性と数、形容詞と名詞の組み合わせ
6. 動詞avoir(～を持っている)／家族の言い方
7. 第一群規則動詞:-er動詞／「話す」、「住む」、「～が好き」…
8. 否定文の作り方、指示形容詞(この、その…)、疑問文の作り方、応答の仕方
9. 動詞aller(行く)とvenir(来る)、前置詞と定冠詞の縮約、命令文
10. 所有形容詞(私の、君の、彼の…)
11. 強勢形人称代名詞、疑問形容詞(どの～)、数詞／年齢や好きなものの聞き方、答え方
12. いろいろな動詞を使った文を読む、書く
13. まとめ

科目名	フランス語 I - 1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	廣岡 江梨子		
<p>[成績評価方法] 授業態度50%、期末課題50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 口頭の小テストはその場で結果を伝え、正解するまで何度も挑戦できるようにします。記述の課題は結果とともにコメントを書き込んで返却し、それをもとに質問を受け付けます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：グループワーク</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：プレゼンテーション</p> <p>[教科書 (ISBN)] ピエールとユゴー[三訂版] 著者名：小笠原 洋子 出版社：白水社 (9.78E+12)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	フランス語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	廣岡 江梨子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 現地のレストランやブティックなどで簡単なやり取りができるレベルを目指す。</p> <p>[授業概要] 前期に引き続き、フランス語の発音と基礎文法を学び、フランスについての知識を身に付けます。 発音については、繰り返し読む練習をして無理なく定着させていきます。文法としては、いろいろな動詞の活用に 加え、目的語人称代名詞などを学び、初等文法を完成させます。また、実際にフランス人と話す時に使えるフレー ズを覚えて、簡単な会話ができるようにします。基礎を身に付けることが目的なので授業はゆっくり進めますが、み なさんの理解度に応じて応用にも挑戦できるようにします。 言葉の背景にある文化を知ってもらうため、フランスの食べ物やファッション、映画、本などを紹介し、フランスで の生活についても折に触れて話していきたいと思ひます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。重要な事項については覚えるように指示しますので、それを 中心に各自復習しておいてください。練習問題を宿題にすることもあります。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語Iの復習(1)名詞、形容詞 2. フランス語Iの復習(2)動詞 3. 部分冠詞、第2群規則動詞:-ir動詞 4. 動詞vouloir(～したい)とpouvoir(～できる) 5. 非人称構文/時刻の聞き方、答え方 6. 直接目的語人称代名詞(私を、君を、彼を…) 7. 間接目的語人称代名詞(私に、君に、彼に…) 8. 代名動詞、いろいろな動詞の活用 9. 近接未来(～しようとしている)、近接過去(～したばかりだ)/注文の仕方 10. 中性代名詞、比較級と最上級 11. 時制について/会話の練習 12. 読解の練習 13. まとめ 			

科目名	フランス語 I - 2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	廣岡 江梨子		
<p>[成績評価方法] 授業態度50%、期末課題50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題実施後、解答を提示し説明します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：グループワーク</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：プレゼンテーション</p> <p>[教科書(ISBN)] ピエールとユゴー[三訂版] 著者名：小笠原 洋子 出版社：白水社 (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	歴史 I	前期	2 単位
サブタイトル	日本の歴史(天野山金剛寺からみる日本中世前期の地域社会)		講義
担当者	永野 弘明		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>(1)天野山金剛寺とその寺辺地域の歴史を中央の政治動向の影響を踏まえて理解する。 (2)金剛寺の事例を通して地域に固有な歴史を理解する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>本講義では、中学・高校の教科書に特徴的な政治史・通史とは異なり、地域の歴史に焦点をあてて日本中世の社会について学ぶ。 本講義で扱う天野山金剛寺は河内長野市天野町に所在し、南北朝期には南北両朝の天皇・院の居所となったことで有名である。現在、金剛寺には5件の国宝と29件の重要文化財が存在するが、その大半は中世に作成されたものであり、中世文書も豊富に伝来する。そのため、地域史や寺院史を学ぶのに適した事例である。加えて、単なる地域史に留まらない側面もある。例えば、金剛寺の主な経済基盤である寺辺領天野谷の形成は、治承・寿永の内乱(源平合戦)や鎌倉幕府の成立と密に連動しながら展開したものであった。 そこで本講義では、日本中世における金剛寺とその寺辺領天野谷の歴史的展開を、中央の政治動向、特に治承・寿永の内乱(源平合戦)などの影響も踏まえて概説し、日本中世の社会について考えてみたい。 なお、受講者の関心にもとづき、適宜神戸市内の史跡や歴史事象についても紹介する予定である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>講義で紹介する文献を読んで下さい。復習は講義での説明事項や配布資料をノートにまとめるなどして理解を深め、疑問点の抽出やその疑問に対する自分の考えをまとめてみましょう。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入・ガイダンス ー地域の歴史を学ぶ意義ー 2. 中世の河内長野地域と金剛寺 3. 金剛寺と寺辺領の形成① ー僧阿観と源貞弘ー 4. 金剛寺と寺辺領の形成② ー治承・寿永の内乱(源平合戦)の展開ー 5. 金剛寺と寺辺領の形成③ ー治承・寿永の内乱(源平合戦)と金剛寺ー 6. 金剛寺と寺辺領の形成④ ー経済基盤・寺辺領天野谷の確立ー 7. 鎌倉前中期の金剛寺と寺辺領① ー天野谷の経営と荘官ー 8. 鎌倉前中期の金剛寺と寺辺領② ー天野谷をめぐる寺僧と女院女房覚阿の対立ー 9. 鎌倉前中期の金剛寺と寺辺領③ ー寺外勢力の乱入と承久の乱ー 10. 鎌倉後期の金剛寺① ー仏知房阿闍梨清弘の登場ー 11. 鎌倉後期の金剛寺② ー金剛寺と興福寺大乘院ー 12. 鎌倉後期の金剛寺③ ー百姓らの活動と金剛寺ー 13. まとめ ー金剛寺からみる日本中世前期の社会ー 			

科目名	歴史 I	前期	2 単位
サブタイトル	日本の歴史(天野山金剛寺からみる日本中世前期の地域社会)	講義	
担当者	永野 弘明		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題(50%)、レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 毎回の講義内容に関する質問・感想を提出してもらう。次の講義でその質問・感想を紹介し、講師が返答・コメントを行う。 提出されたレポートへは後日コメントを付す。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の課題 レポート課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業中の課題 レポート課題</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。適宜レジュメ・資料を配布する。(なし)</p> <p>[参考書(ISBN)] 参考文献を授業中に提示する。</p>			

科目名	歴史Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	ヨーロッパ史概説	講義	
担当者	上山 益己		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] ヨーロッパの歴史についての基本的な知識をマスターする。 過去の出来事を知り考察することを通して、現在を生きる力を養う。</p> <p>[授業概要] 現在の状況を正しく認識し、これからの世界を展望するには、過去の歴史を知ることが不可欠である。なかでもヨーロッパの歴史は、日本をはじめとする多くの社会が、物質的にも精神的にもヨーロッパで形作られた文明や思想の影響を受けているだけに、重要である。本講義では、ヨーロッパ世界の成立から現代にいたる歴史を概観し、ヨーロッパ世界がどのように生まれ、広がり、浸透していったかを見る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回のテーマについて、概説書などで一般的な知識を予習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 古代地中海世界の概要 3. ガリア、ゲルマニア、ブリタニア 4. ラテン・カトリック世界の成立 5. 中世の地中海世界 6. 西欧諸国家の成立 7. オスマン帝国とイベリア両国 8. 世界規模での交易の開始 9. 啓蒙の世紀 10. 帝国主義の時代 11. 列強の対立～第一次世界大戦 12. 再度の悪夢～第二次世界大戦 13. 東西冷戦～そして現代へ 			

科目名	歴史Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	ヨーロッパ史概説	講義	
担当者	上山 益己		
<p>[成績評価方法] 試験90% 受講態度10%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。適宜プリントを配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業中に適宜指示</p>			

全学共通教養科目

(ポ一アイ教養科目)

(授業科目名 五十音順)

科目名	健康・生活支援指導論実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	賀屋 光晴		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>(1) スポーツに関する幅広い知識と技術が習得できる。 (2) 健康づくりと運動との関係に関する知識を身につけることができる。 (3) 状況や対象に合わせた行動をとることができる。 (4) 状況に応じて適切にコミュニケーションをとることができる。 (5) 自分たちの考えを周囲に伝えることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>スポーツ実践を通してスポーツの楽しさを体感するとともに、運動習慣を身につけるための基礎を身につける。また、障害者スポーツなど様々なスポーツを体験することでスポーツの持つ奥深さや多様性を知る。さらに、身体表現(創作ダンス)の実践などにより、表現力を身につける。</p> <p>(1) 指示された場所で運動服に着替え、また体育館内では必ず体育館シューズを着用すること(服装不備の場合は授業に参加できない)。 (2) 更衣をすませ、兵庫医科大学神戸キャンパスG棟アリーナ2階に集合する。 (3) ピアス、ネックレスなどの装飾品は身につけない。 (4) その他、必要な注意事項に関しては随時指示を与える。(授業場所の変更等) (5) 授業は全15回開講するため、授業の日程に注意すること。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業前後にウォーミングアップ、クールダウンを充分に行なう。 ストレッチを毎日5分程度行なう。 中等程度程度の強度の運動・活発な身体活動を週3回程度行なう。 日々の運動を記録し、定期的に振り返りを行なう。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、スポーツ実践(身体表現 創作) 2. スポーツ実践(身体表現 創作) 3. スポーツ実践(身体表現 創作) 4. スポーツ実践と評価法(身体表現の発表(実践)と評価) 5. スポーツ実践1(バスケットボール、ショートテニス、トレーニング など) 6. スポーツ実践1(バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ) 7. スポーツ実践1(バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ) 8. スポーツ実践2(バスケットボール、ショートテニス、トレーニング など) 9. スポーツ実践2(バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ) 10. スポーツ実践2(バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ) 11. 体力の測定と評価 12. 体力の測定と評価 13. スポーツ実践3(バスケットボール、ショートテニス、トレーニング など) 14. スポーツ実践3(バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ) 15. スポーツ実践3(バスケットボール、ショートテニス、障害者スポーツ)、まとめ 			

科目名	健康・生活支援指導論実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	賀屋 光晴		
<p>[成績評価方法] (1) 授業に関連したレポートを実施する(必須)。 (2) 参加態度(30%)、協調性(20%)、習熟度(15%)、課題実施程度(15%)、レポート(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 必要に応じて個別に対応する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 参加態度等、課題レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 参加態度等</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 参加態度等</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 新版 生活健康科学 著者名: 小田切陽一、小山勝弘、石原逸子 共著 出版社: 三共出版 (978-4-7827-0618-3) 運動処方方の指針: 運動負荷試験と運動プログラム(原書第8版) 著者名: 編: アメリカスポーツ医学会、日本体力医学会 出版社: 南江堂 (978-4-524-26216-8) 運動生理学(第2版) 生理学の基礎から疾病予防まで 著者名: 小山勝弘、安藤大輔 編著 出版社: 三共出版 (978-4-7827-0802-6) 健康・スポーツ科学講義 第2版 著者名: 出村慎一監修 出版社: 杏林書院 (978-4-7644-1125-8)</p>			

科目名	健康づくり・生活支援ワークショップ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	片田 千尋、石原 あや			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>(1)子育ての営みに関係する事柄が列記できる。 (2)文化について具体的に述べるができる。 (3)現代の子育ての特徴が説明できる。 (4)現代の子育ての問題、課題、解決のための対策について考えることができる。 (5)子育てについて、自分の考えを述べるができる。 (6)課題のグループワークに積極的に参加し、自分の意見を述べるができる。 (7)各ライフステージにおけるセクシュアリティの意味と課題について議論し、自己の考えを述べるができる。 (8)様々な健康レベルにおけるセクシュアリティの意味と課題について議論し、自己の考えを述べるができる。 (9)LGBTQのピアサポート活動や政策策定のアドバイスをを行う当事者の語りを通して、通して、基礎的な知識や政策の動向に関する知識を獲得し、現状の課題について考えることができる。 (10)様々なライフステージや健康レベルにある人のセクシュアリティに関する支援について議論し、自己の考えを述べるができる。 (11)セクシュアリティに関する多様な考えを統合し、自己の考えを表現することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>この講義は、「子育てと文化」と「ヒューマンセクシュアリティと看護」の2つから成る。 (1)子育てと文化 子育てをめぐる社会状況・社会システムの変化、地域社会の変化等に伴う子ども観や育児観の変遷を追いながら、現代の子育ての問題や課題について考えていく。また子育てをテーマにした映画の鑑賞、乳幼児期の親子とのふれあいの機会を設け、育児の実際について理解を深める。 (2)ヒューマンセクシュアリティと看護 本科目では、セクシュアリティに関する基本的な知識を獲得し、様々な環境や立場、価値観をもつ人におけるセクシュアリティの多様性や課題について考える。また、セクシュアルマイノリティのピアサポートや関連法案の策定に関わる特別講師から、性の多様性、LGBTQのおかれる現状、当事者運動などについて講義を受け、セクシュアリティを基本的な人権として捉え、その意味や課題について考える。上記の考えを通して、自己のセクシュアリティについて改めて考え、他者のセクシュアリティを尊重するための態度や支援について深く考える力を身につける。</p> <p>この科目の担当者は、看護師・助産師として臨床経験をもつ教員と、LGBTQのピアサポート活動や政策策定に関連した実務経験のある教員である。そのため、実際の経験も交えて例を示すことで、深い学びや思考につなげる。 本授業はグループワークと学生の発表によって進行するため、事前学習なしでは参加できません。事前学習を行い、積極的に授業およびグループワークに参加してください。 また、日頃から新聞、テレビニュース、雑誌等で子育て、育児、虐待、暴力、人権、性、セクシュアルマイノリティ、ジェンダー等に関連するトピックスに関心を払うように心がけてください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業前:グループワークのテーマに関する事前学習【2時間】 授業後:深めたい点に関する追加学習【1時間】 全授業終了後:各自が関心を持った問題や課題を1つ取り上げ、まとめのレポートを作成する【4時間】</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てと文化—授業ガイダンス(石原)9/17(火)4時限 2. 子育ての実際(子育てをテーマにした映画の鑑賞)(石原)9/24(火)4時限 3. 子育ての実際(赤ちゃん先生)(ゲストスピーカー・石原)9/30(月)2時限 4. 現代の子育て事情(グループワーク)(石原)10/8(火)4時限 5. 子育てにまつわる文化的慣習(グループワーク)(石原)10/15(火)4時限 6. 母性愛神話・3歳児神話(グループワーク)(石原)10/22(火)4時限 7. 海外の子育て(グループワーク)(石原)10/29(火)4時限 8. 子育てについての悩み(グループワーク)(石原)11/5(火)4時限 9. ヒューマンセクシュアリティと看護—授業ガイダンス(片田)11/12(火)4時限 10. セクシュアルマイノリティ(講義)(特別講師・片田)11/12(火)5時限 11. ジェンダーとセクシュアリティ(ディスカッション)(片田)11/19(火)4時限 12. ライフステージとセクシュアリティ(ディスカッション)(片田)11/26(火)4時限 13. 障がいとセクシュアリティ(ディスカッション)(片田)12/3(火)4時限 14. セクシュアリティに関する課題とその支援(プレゼンテーション)(特別講師・片田)12/10(火)4時限 15. セクシュアリティに関する課題とその支援(プレゼンテーション)(片田)12/17(火)4時限 16. まとめ セクシュアリティに関する考えの統合12/17(火)5時限 				

科目名	健康づくり・生活支援ワークショップ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	片田 千尋、石原 あや		
<p>[成績評価方法] 授業への参加度(事前学習レポート、講義の感想レポート、グループディスカッションに関するレポート、プレゼンテーションへの参加度を重視)70%、最終レポート30% なお、本授業では定期試験は行わない。提出物の期限を遵守しない場合は減点対象とする。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] グループワークについては各授業内で、講義の感想やレポートについては最終授業のまとめでフィードバックを行い、より深い思考につなげる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への参加度(事前学習レポート、講義の感想レポート、グループディスカッションに関するレポート、プレゼンテーションへの参加度を重視)70%、最終レポート30%</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への参加度(事前学習レポート、講義の感想レポート、グループディスカッションやディベートに関するレポート、ディベートへの参加度を重視)70%、最終レポート30%</p> <p>[教科書(ISBN)] 適宜、各担当者が資料を配付する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 随時紹介する。</p>			

P30003040 [GSI1-030,GEI4-006]

[1 健心／PI4大学共通教養]*後期火4

科目名	地域コミュニティ入門		前期	2 単位
サブタイトル	～新しいつながりと仕組みで構築する地域コミュニティ～		講義	
担当者	飛田 敦子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>①地域コミュニティの抱える現代的課題の理解 ②考える力の構築 ③コミュニケーション能力(話す力・聴く力・調整する力)の向上</p> <p>[授業概要]</p> <p>少子高齢化、人口減少、税収減、非正規雇用の増加、格差の拡大など、現代社会は様々な課題を抱えています。行政や企業だけでは、それらの課題すべてを解決するのは難しい時代となってきました。そこで注目されているのが、NPOや地域コミュニティといった地域に根差した機能です。高齢者、子ども、まちづくりなど、その分野は多岐にわたり、様々な事例が構築されています。また、それらの主体(地域コミュニティ、行政、企業など)がともに手を取り合って行動する「協働(きょうどう)」も、なくてはならない手法となってきました。</p> <p>特に、2020年から2023年にかけて、新型コロナウイルスの影響で、対面して多様な人間関係を構築するのが難しい時期が続きました。リアルな交流の機会が激減する中で、高齢者の認知および身体機能の低下、産後うつを抱える親の増加など、自粛や孤立による社会課題が浮き彫りとなりました。「感染症による命のリスク」と「孤立による命のリスク」のバランスに苦慮しながらも、少しでも現状を打破しようとする挑戦も各地で生まれ、実を結んでいます。地域コミュニティの役割を再考するためにも、これらコロナ禍における取組事例も授業内で多数紹介します。</p> <p>また、この授業では様々な分野で活躍する実践者の方にもゲストスピーカーとしてご登壇いただき、現場での様々なチャレンジに触れながら、地域コミュニティの実態や役割、またその可能性について共に考えたいと思います。 ※担当教員はNPOや地域コミュニティをフィールドにした仕事に長年従事しており、「実務経験のある教員」です。</p> <p>① 学生、講師、ゲストスピーカーが皆で一緒に創る授業です。90分授業の前半を講義、後半をグループディスカッションやゲストスピーカーとの質疑応答等の参加型形式で行います。講義を聞いたり、板書したりするだけでなく、他人と議論することに重点を置き、「人と学び、人から学ぶ」授業を目指します。そのため、受身ではなく積極的な参加態度を求めます。 ② ゲストスピーカーの関係で授業スケジュールや内容が変更する場合があります。</p> <p>参加型授業ですので、学生の積極的な参加がないと授業がなりたちません。ぜひ前向きな姿勢で出席してください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>ディスカッション課題は事前に発表します。授業時間外にも積極的に調べ、考え、学ぶ姿勢を奨励します。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ガイダンス 2.なぜ今、地域コミュニティなのか？ 1 社会の変化 3.なぜ今、地域コミュニティなのか？ 2 家族の変化 4.地域コミュニティの現場～事例紹介①障害者と地域コミュニティ～ 5.地域コミュニティの現場～事例紹介②中間支援と地域コミュニティ～ 6.地域コミュニティの現場～事例紹介③外国人と地域コミュニティ～ 7.地域コミュニティの現場～事例紹介④高齢者と地域コミュニティ～ 8.地域コミュニティの現場～事例紹介⑤地域組織と地域コミュニティ～ 9.前半の授業のふりかえりと中間レポートの作成 10.企業と地域コミュニティ 11.行政と地域コミュニティ 12.多様な主体による「協働」の可能性 13.グループワーク1～私たち大学生が地域コミュニティでできること～ 14.グループワーク2～私たち大学生が地域コミュニティでできること～ 15.発表・まとめ 				

科目名	地域コミュニティ入門	前期	2 単位
サブタイトル	～新しいつながりと仕組みで構築する地域コミュニティ～	講義	
担当者	飛田 敦子		
<p>[成績評価方法] 授業ごとのコミュニケーションシート30%、中間レポート15%、グループワークで作成する企画書15%、期末試験40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 原則、課題提出の翌週に抜粋してフィードバック</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 授業ごとのコミュニケーションシート30%、中間レポート15%、グループワークで作成する企画書15%、期末試験40%</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業ごとのコミュニケーションシート30%、中間レポート15%、グループワークで作成する企画書15%、期末試験40%</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業ごとのコミュニケーションシート30%、中間レポート15%、グループワークで作成する企画書15%、期末試験40%</p> <p>[教科書(ISBN)] 教科書なし。資料は都度パワーポイントのハンドアウトを配布します。</p> <p>[参考書(ISBN)] 『人口減少社会のデザイン』 著者名: 広井良典 出版社: 東洋経済新報社 (4480065016) 『ソーシャルデザイン実践ガイド』 著者名: 寛裕介 出版社: 英治出版 (4862761496) 『つながるカフェ～コミュニティの〈場〉をつくる方法～』 著者名: 山納洋 出版社: 学芸出版社 (4761513616)</p>			

P30003010 [GSI1-027,GEI4-017]

[1 健心／PI4 大学共通教養]*前期金1

科目名	地域連携インターンシップ I	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	伊藤 智		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	学外活動	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- ①参加したプログラムの趣旨や参加者を理解し、その意義を第三者に説明できる。(知識・態度)
- ②地域連携に参画して、地域の問題点を挙げることができる。(知識)
- ③活動内容や目的、自身はどのように貢献できたかを、客観的に評価し、表現できる。(技能・態度)
- ④連携事業の多様なプログラムへの参画や自主活動を通して、新たに企画をたてる際の手順を学び、説明できる。(知識・技能)

[授業概要]

毎週定時に集合して行う座学ではなく、自主立案、実行、報告のインターンシップ科目です。将来、安全で楽しい社会を築くことのできる人材となるために、地域や社会の多様な情報の中から自分の個性に合った事項を選択し、参加し、その活動を客観的に捉え、次へのステップのためにフィードバックをする、というPDCAサイクルを習得します。この科目は、学外でのインターンシップを主とし、実践的教育から構成される授業科目です。

常日頃から周囲に目を向け、不都合な点はないか、どうすればもっと良くなるか、自分にできることは何かなど、観察し考える習慣を付けてください。
活動ごとの記録作成を習慣付けてください。
普段からの連絡、相談や報告を怠らないようにしてください。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

初回(4月13日、神戸学院大学ポートアイランドキャンパス)のガイダンス後は、事前に計画した事業参加申告書に基づき、活動します。期末の活動報告会(7月13日を予定)で、全ての内容を報告し、討議します。

[授業計画]

1. ガイダンス
2. ポーアイ4大学連携事業への参加
3. 市民救命士講習の受講
4. 市民救命士講習救急インストラクター活動
5. ポーアイ・セーフティタウン・コミュニティボランティア活動
6. 減災SCOP活動
7. DMAT研修運営補助ボランティアへの参加
8. 「禁煙キャンパス地区」を目指した禁煙支援活動への参加
9. リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸への参加
10. KOBEエイズフェスタへの参加
11. 公開講座(大学や各地域で開催される講演会)の聴講
12. その他、大学関連事業として認定する事業への参加
13. 学生からの提案事業(事前相談を要します)
14. 活動報告会
15. まとめ

科目名	地域連携インターンシップ I	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	伊藤 智		
<p>[成績評価方法] 単位認定となる参加回数(チップ)の基本は10チップとします。 参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 活動報告会でのプレゼンテーションで、フロアとの間で質疑応答を行い、コメントをもらいます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	地域連携インターンシップⅡ		後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	伊藤 智			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他	学外活動	実務経験のある教員による授業		

[到達目標]

- ①参加したプログラムの趣旨や参加者を理解し、その意義を第三者に説明できる。(知識・態度)
- ②地域連携に参画して、地域の問題点を挙げることができる。(知識)
- ③活動内容や目的、自身はどのように貢献できたかを、客観的に評価し、表現できる。(技能・態度)
- ④連携事業の多様なプログラムへの参画や自主活動を通して、新たに企画をたてる際の手順を学び、説明できる。(知識・技能)

[授業概要]

毎週定時に集合して行う座学ではなく、自主立案、実行、報告のインターンシップ科目です。将来、安全で楽しい社会を築くことのできる人材となるために、地域や社会の多様な情報の中から自分の個性に合った事項を選択し、参加し、その活動を客観的に捉え、次へのステップのためにフィードバックをする、というPDCAサイクルを習得します。この科目は、学外でのインターンシップを主とし、実践的教育から構成される授業科目です。

常日頃から周囲に目を向け、不都合な点はないか、どうすればもっと良くなるか、自分にできることは何かなど、観察し考える習慣を付けてください。
活動ごとの記録作成を習慣付けてください。
普段からの連絡、相談や報告を怠らないようにしてください。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

初回(9月21日、神戸学院大学ポートアイランドキャンパス)のガイダンス後は、事前に計画した事業参加申告書に基づき、活動します。期末の活動報告会(1月11日を予定)で、全ての内容を報告し、討議します。

[授業計画]

1. ガイダンス
2. ポーアイ4大学連携事業への参加
3. 市民救命士講習の受講
4. 市民救命士講習救急インストラクター活動
5. ポーアイ・セーフティタウン・コミュニティボランティア活動
6. 減災SCOP活動
7. DMAT研修運営補助ボランティアへの参加
8. 「禁煙キャンパス地区」を目指した禁煙支援活動への参加
9. 神戸マラソン等、地域ボランティアへの参加
10. 公開講座(大学や各地域で開催される講演会)の聴講
11. 阪神淡路大震災関連メモリアル行事への参加
12. その他、大学関連事業として認定する事業への参加
13. 学生からの提案事業(事前相談を要します)
14. 活動報告会
15. まとめ

科目名	地域連携インターンシップⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	伊藤 智		
<p>[成績評価方法] 単位認定となる参加回数(チップ)の基本は10チップとします。 参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 活動報告会でのプレゼンテーションで、フロアとの間で質疑応答を行い、コメントをもらいます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 参加態度(50%)、事業貢献度(30%)、プレゼンテーション(20%)</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	人間関係づくりワークショップ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	稲田 靖子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標]</p> <p>①コミュニケーションの理論やスキルを学び、身につけることができる。 ②相手の気持ちを受容し、共感することを味わい、自身や他者への気づきを深めることができる。 ③人前での発表や初対面の相手への不安や緊張をコントロールし、自信を持って自己表現できる力を習得する。 ④これまでの自身のコミュニケーションスタイルを見直し、新しい行動様式を身につけることができる。 ⑤他者とのかかわりやつながりを通して、気づきを得ることができる。 ⑥これからの人間関係づくりを肯定的にとらえ、豊かな生活を送ることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>この授業は、4大学という異なった文化的背景を持つ受講生が、グループで様々なワークに取り組み、受講生同士が感じた事や気づいた事を交流し合う、体験を通じて学びを重視する。 ワークショップ形式の授業を通じ、グループ内の刻々と変化する人間関係の中で他者の気持ちを受容、共感し、自己理解や他者理解への気づきを深め、自己のコミュニケーションスタイルを見直し、新しい行動様式を身につけることを目標とする。 この科目は神戸学院大学DP②思考力・判断力・表現力等の能力とDP③主体性を持って多様な人々と共同して学ぶ態度と関係し、それを育成する。</p> <p>臨床心理士、公認心理師の資格を有しており、NPO法人、児童養護施設、教育相談機関、病院などで実務経験のある教員が、自己理解や他者理解への気づきを促し、自身のコミュニケーションの幅を広げ、より豊かな生活を送るためのコツを共に考え、体験を通して学びます。</p> <p>体験を重視する授業であるため、主体的な参加を望みます。 状況により日程、授業内容を変更する場合があります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業で得た知識や体験を、日常の対人関係の中で、意識化し身につけてください。 授業の内容を整理して、理解が不十分であると感じた事項は、教員に質問してください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション ・授業の考え方、ねらい、進め方、評価について ・ワークショップ参画の約束事 ・出会いの試み 自分らしさの再発見 ・ワークショップとは ・自己紹介を極める(1) 自分自身の良さを知る ・コミュニケーションの定義 ・自己紹介を極める(2) 良い会話の秘訣 ・「聞く」から「聴く」へ ・積極的傾聴、傾聴のコツ 他者紹介 ・ジョハリの窓 ・相手へのインタビュー 自己理解を深める ・自己分析を体験する ・私の人生曲線 コミュニケーションと認知 ・考え方の癖を知り、考え方を広げる アンガーマネジメント ・感情のコントロール さわやかな自己表現 ・アサーション ・コミュニケーションと顔 グループワーク(1) ・集団意思決定を体験する グループワーク(2) ・グループ活動における役割を体験する グループワーク(3) ・グループ活動における役割を体験する 自分をデザインする ・自分と向き合い、表現する ・コラージュ制作 自分を語る ・自分について語る ・メンバーからのフィードバック ・マインドマップ制作 まとめ ・全体の分かち合い ・これまでの振り返り 				

科目名	人間関係づくりワークショップ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 靖子		
<p>[成績評価方法] 授業に取り組む姿勢を評価70% (授業に積極的な参加40%、発表30%) 課題レポート30%、などを総合的に評価する</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に意見交換や発表、課題レポートの提出などをしてもらい、学生に対しては、コメントすることによってフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：1.授業に取り組む姿勢70%(・授業参画態度40% ・課題、発表他30%) 2.課題レポート30%</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：1.授業に取り組む姿勢70%(・授業参画態度40% ・課題、発表他30%) 2.課題レポート30%</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

P30003051 [GS11-031,GEH4-017]

[1 健心／PI4 大学共通教養]*後期金4

科目名	防災・防犯指導論実習	後期	1 単位
サブタイトル	身近な犯罪・火災と自然災害から自分自身を守る	実習	
担当者	松下 眞		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 身近な犯罪被害からの防止対策の習得、自然災害の原因や結果を自分で考える基礎知識を身につけます</p> <p>[授業概要] 防災・防犯に関わる専門家による講話と実習、及び自然災害の事象を様々な切り口からメディアが編集・映像化した記録等を教材として、見て・知り・考えることにより疑似体験的に防災・防犯を学びます。阪神・淡路大震災などの対応経験を有する教員が、さまざまな災害の特徴を踏まえて対処法を指導します。</p> <p>阪神・淡路大震災の災害対策実務を踏まえて市民に理解してほしいリスクを伝える</p> <p>日頃から災害・犯罪等に関連するニュースや社会事象への注意と関心を払い、履修内容と合わせて自分自身を守る行動を実践してほしい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 災害・犯罪等に関連するニュースや社会事象への注意と関心を払い、履修授業の復習と疑問点の探求をおこないます。</p> <p>[授業計画] 1. 防災・防犯指導論実習 概論(松下) 2. 地域の防災・防犯活動(松下・学外特別講師) 3. 警察の役割と防犯対策(松下・学外特別講師) 4. 消防署の役割と火災防止(松下・学外特別講師) 5. 巨大地震(松下) 6. 巨大津波(松下) 7. 地震と火山(松下) 8. 最近の豪雨災害と線状降水帯(松下) 9. 局地豪雨と堤防決壊(松下) 10. 深層崩壊による土砂災害(松下) 11. 住宅耐震(松下・学外特別講師) 12. 長周期地震動(松下) 13. 感染症の歴史(コレラ、ペスト、スペイン風邪)(松下) 14. 複合災害(松下) 15. 南海トラフ地震(松下)</p>			

科目名	防災・防犯指導論実習	後期	1 単位
サブタイトル	身近な犯罪・火災と自然災害から自分自身を守る	実習	
担当者	松下 眞		
<p>[成績評価方法] 授業中に作成するレポート(100%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート内容にはコメントを付けて返却し、次回以降に反映できるようにします。 多くの人に共通する作成上の問題を指摘し、レポート作成の改善を図ります。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法：授業中に作成するレポート(100%)で評価します。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：授業中に作成するレポート(100%)で評価します。</p> <p>[教科書(ISBN)] レジメ・資料を作成し配布する。</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	防災・防犯入門		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	船木 伸江			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 防犯や防災についての見識を備え、いざという時に行動できる。</p> <p>[授業概要] 21世紀の課題の1つは安全で安心な社会の構築にあります。阪神・淡路大震災や東日本大震災で学んだ教訓は、日常的な取り組みと助け合いの精神の大切さです。この教訓は安全で安心な暮らしを守る防災と防犯対策にとっても重要なキーワードです。自分と愛する人を守るためには何が必要なのかについて、自分のこととして考えます。市民救命士の資格の取得や生活安全確保のための防犯対策など、各界の人々のお話を含めた授業展開をしてきます。</p> <p>この授業の担当者は、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターの資料室で実務経験のある教員であり、警察を含めた実務者を講師に招くオムニバス形式の実践的授業である。</p> <p>本科目の履修に当たっては、神戸学院大学の開講判断はもちろん、神戸女子大学・神戸女子短期大学(以下、本学)の他大学キャンパスへの本学学生派遣に対する判断も加味されることから、履修中にコロナ感染症拡大となった際には、神戸学院大学が開講可能と判断しても、本学独自の判断により、状況によっては履修中止措置を取ることがあることを申し添えます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 新聞等をよく読むなど最低2時間以上予習復習する。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス 15回の講義の進め方、成績評価の仕方などを説明する 2. 防災入門① 1995年に神戸で発生した阪神・淡路大震災を事例に災害の被害と防災のあり方について学ぶ 3. 防災入門② 2011年に東北で発生した東日本大震災を事例に災害の被害と防災のあり方について学ぶ 4. 防災入門③ 災害に備えるためには日ごろからどのようなことをしておけばいいのか、備えのあり方について学ぶ 5. 防災ワークショップ 防災教育教材を用いて災害の被害を体験しながら、防災についてワークショップ形式で学ぶ 6. 神戸地方気象台 気象と災害 (学外特別講師) 7. 市民救命士講習Ⅰ 家族が倒れたり、町を歩いていて誰かが倒れていた際の応急手当の知識を学びます。正式な神戸市の市民救命士講習です。 8. 市民救命士講習Ⅱ 実際に倒れた人を救うために、胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの取扱方法などの的確な応急処置法を学びます(この講習を修了することで神戸市消防局の修了証を取得できます)。(学外特別講師) 9. 兵庫県神戸水上警察署 身近に迫る犯罪の防止 (学外特別講師) 10. 兵庫県警本部 被害者支援の現状、取り組み (学外特別講師) 11. 兵庫県神戸水上警察署 交通安全教育の参画 (学外特別講師) 12. 消費者教育 消費者犯罪について (学外特別講師) 13. 災害と被災者① 災害にあうということは、その後の生活にどのような影響を与えるのか、実際の被災者の声から学ぶ 14. 災害と被災者② 災害にあうということは、その後の生活にどのような影響を与えるのか、実際の被災者の声から学ぶ(阪神・淡路大震災の直接経験者から話を聞きます)(学外特別講師) 15. 防災・防犯知識の活用 これまでの講義で学んだ防災・防犯の事例を生活に活かす方法を学ぶ</p>				

科目名	防災・防犯入門	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	船木 伸江		
<p>[成績評価方法] 授業態度・授業への積極的貢献度(40%)、レポート(60%、提出3回)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講義の感想やレポートについては最終授業でフィードバックを行い、より深い思考につなげる。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業態度・授業への積極的貢献度(40%)、レポート(60%、提出3回)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業態度・授業への積極的貢献度(40%)、レポート(60%、提出3回)</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 随時紹介する。</p>			

科目名	防災・防犯ワークショップ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	室崎 友輔			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標] 防災・防犯について自分の言葉で説明することができる。(知識) 日頃から防災・防犯に関するニュース等に関心を持つ。(態度・習慣) 防災・防犯における危機管理能力を身につける。(技能)</p> <p>[授業概要] 生活を支える安全・安心は平素の備えが重要です。多発する災害事象は複雑多様化し顕在化しています。また、犯罪など身近な社会生活の安全をおびやかすリスクも凶悪化し多様化しています。この授業では現代社会に求められている安全・安心についての視野を広げ、防災・防犯のリーダーとなり得る人材の育成を目指します。</p> <p>NPOおよび企業で、社会教育・防災普及啓発業務および防災コンサルティング業務の実務経験のある教員が、講演・ワークショップの豊富な実務経験を活かし、より実践的で分かりやすい解説と、学修者が主体となって関わり学べる指導をおこないます。 また、防災・防犯にかかわっている指導者や専門家の講話も取り入れ、幅広い授業展開をおこないます。</p> <p>ワークショップでは、お互いの意見を尊重し合い、協力しあう姿勢をもって望んでください</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃から防災・防犯に係るニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンスと防災ゲーム(なまずの学校)体験 2. 護身術(実技)(学部特別講師:警察) 3. 交通安全講話(学部特別講師:警察) 4. ワークショップ(防災Ⅰ)ダイレクトロード(災害協力シミュレーション) 5. 生活安全講話(学部特別講師:警察) 6. 気象と災害(学部特別講師:気象台) 7. ハザードマップ・避難について考えるゲームの体験 8. ワークショップ(防災Ⅱ)ーさすけなぶる(避難所シミュレーション) 9. 災害時の口腔ケア 10. ワークショップ(防災Ⅲ)ークロスロード(災害対応時のジレンマ) 11. 火災と防火、土砂災害VR体験(学部特別講師:消防) 12. 携帯被害・サイバー被害対策(学部特別講師:警察) 13. 防災・防犯の啓発Ⅰー防災ゲームの体験(シャッフル、たすカルテット) 14. 防災・防犯の啓発Ⅱー防災アニメの視聴(ORANGE、おたすけ犬ポチ) 15. ワークショップ(防災Ⅳ)ー防災工作体験 				

科目名	防災・防犯ワークショップ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室崎 友輔		
<p>[成績評価方法] 授業貢献度(25%)と、毎回の授業テーマ関連課題の小レポートによる授業理解度(75%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小レポート回収後、授業内で解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業貢献度(30%)と、毎回の授業テーマ関連課題の小レポートによる授業理解度(70%)</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

教 職 科 目
(授業科目名 五十音順)

科目名	栄養教育実習	前期	1 単位
サブタイトル	実践力のある栄養教諭を目指して	実習	
担当者	宮本 晃郎、宮垣 寛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な栄養教育指導や授業などの教育実践ができる力身につける。</p> <p>[授業概要] 各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任・栄養担当教職員の指導を受けて、観察実習、授業実践、栄養指導などを行う。また、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。事後の指導では、教育課題への対応の仕方、実習後の課題の整理などを行う。その際、学校現場における校長、教頭、教諭(学級担任、教務主任等)の経験を生かして具体的な対応について指導助言する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 栄養教育指導法、栄養教育学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の児童生徒の学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 学校実習(1週間) ・管理職の講話、校務担当教職員の講話と指導 ・実習校の学級担任・教科担任の指導と観察実習 ・栄養担当教職員の指導と指導案の作成及び実践授業 ・栄養教育指導の実際 ・大学教員、実習校教職員の指導等 ・研究授業と反省 ・実習のまとめ 事後指導(3単位時間) ・実習後の課題の整理等</p>			

科目名	栄養教育実習	前期	1 単位
サブタイトル	実践力のある栄養教諭を目指して	実習	
担当者	宮本 晃郎、宮垣 寛		

[成績評価方法]

実習状況(40%)、実習校からの評価資料(40%)、実習記録等(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

課題については事後指導の中で意見交換ならびに解説をおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況(40%)、実習校からの評価資料(40%)、実習記録等(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況(40%)、実習校からの評価資料(40%)、実習記録等(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：実習状況(40%)、実習校からの評価資料(40%)、実習記録等(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実習状況(40%)、実習校からの評価資料(40%)、実習記録等(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習状況(40%)、実習校からの評価資料(40%)、実習記録等(20%)

[教科書(ISBN)]

適宜プリント等を配布

[参考書(ISBN)]

各自調達のこと

科目名	栄養教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な栄養教育実習のために	演習	
担当者	宮本 晃郎、宮垣 寛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育実習に参加するに当たり、教育実習の目的・意義とともに、授業力・指導力・教師力・学校力の違いとそれぞれの重要性を理解することができる。 ・有意義な教育実習ができるように基礎・基本の知識や技能を確かめるとともに、最新の学校現場の情報をもとに、教職への意識と自覚を高められるようにする。 <p>[授業概要]</p> <p>教育実習の目的・意義、教育実習への心構え、授業の実際、学習指導案の書き方、実習校での活動、実習記録のとり方、教育課題への対応の仕方等を学ぶ。また、実習後の課題の整理などを行う。その際、学校現場における校長、教頭、教諭(学級担任、教務主任等)の経験を生かして具体的な対応について指導助言する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>栄養教育指導法、栄養教育に関する学習指導案の作成、学習指導と生徒指導の関連、特別支援教育の視点と合理的配慮、人権教育やキャリア教育等の多様な課題教育との関連について、その概要を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <p>(事前指導)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育実習の依頼と手続き(宮本・教職支援センター) 2. 教育実習報告会の聴講①(宮本) 3. 教育実習報告会の聴講②(宮本) 4. 教育実習の心得・期待と不安(宮本) 5. 子供を取り巻く食育の課題(宮本) 6. 生徒指導と関係機関との連携(宮本) 7. 特別支援教育と人権教育(宮本) 8. 授業づくりの基礎・基本(宮本) 9. 教材研究と指導案づくり(宮本) 10. 授業実践と授業評価・学習評価(宮本) 11. これからの食育推進の可能性(宮本) 12. 直前指導①(宮本) 13. 直前指導②(宮本・教職支援センター) <p>(事後指導)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習後の情報交換会(宮本) 2. 課題の整理・最新教育課題(宮本) 			

科目名	栄養教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な栄養教育実習のために	演習	
担当者	宮本 晃郎、宮垣 寛		
<p>[成績評価方法] グループワーク[ディスカッション等取組姿勢](50%) レポート課題[実習ノート含む](50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題やレポートについては、事前指導と事後指導の中で意見交換や解説をおこなう。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法：グループワーク[ディスカッション等取組姿勢](50%) レポート課題[実習ノート含む](50%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範 やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：グループワーク[ディスカッション等取組姿勢](50%) レポート課題[実習ノート含む](50%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に 伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：グループワーク[ディスカッション等取組姿勢](50%) レポート課題[実習ノート含む](50%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：グループワーク[ディスカッション等取組姿勢](50%) レポート課題[実習ノート含む](50%)</p> <p>[教科書(ISBN)] 適宜プリント等を配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 各自調達のこと</p>			

科目名	介護等体験	後期～2025年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本 晃郎、植戸 貴子、川端 麗子、名定 慎也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育に従事予定の教員志望者が、「個人の尊厳及び社会連帯の理念」に関する認識を深めることができる。 ・障がい者や高齢者との関わり方を学び、具体的な体験を通して「思いやりの心・共生の精神」の大切さを実感することができる。 <p>[授業概要]</p> <p>事前指導では、施設等の状況、介護等体験の意義、心構え、社会福祉、高齢者福祉等を学ぶ。また、実習では、特別支援学校・社会福祉施設等で、当該職員の指導を受けながら、障がい者・高齢者等との関わり方について、体験を通して学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>人権教育、特別支援教育、社会福祉施設等について、予習・復習をすること。</p> <p>[授業計画]</p> <p>事前指導 ※一部を除きメディア授業で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(宮本、教職支援センター) ・社会福祉の動向と介護等体験の意義について(川端) ・高齢者福祉施設の介護について(名定) ・障がい者施設等の状況について(植戸) ・特別支援教育の指導の実際について(宮本) ・体験上の心構えについて(宮本) ・申請手続き説明会(宮本、教職支援センター)【対面授業】 <p>現場体験実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等での体験実習(5日間) ・特別支援学校での体験実習(2日間) <p>事後指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめと反省(宮本・教職支援センター) 			

P19020250A [GSH2-029]

【教職】[2栄]*2024後期から3期末5&集中

科目名	介護等体験	後期～2025年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本 晃郎、植戸 貴子、川端 麗子、名定 慎也		

[成績評価方法]

実習体験記録(40%)、取組姿勢(40%)、レポート等(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

提出されたレポートにおいて、卓越した内容など特筆すべきことは事後の学習に生かす。
課題のある内容については、全体として再確認したり、個別に助言したりする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法: 実習体験記録(40%)、取組姿勢(40%)、レポート等(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法: 実習体験記録(40%)、取組姿勢(40%)、レポート等(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法: 実習体験記録(40%)、取組姿勢(40%)、レポート等(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法: 実習体験記録(40%)、取組姿勢(40%)、レポート等(20%)

[教科書(ISBN)]

特別支援学校における介護等体験ガイドブック 新フィリア 著者名: 全国特別支援学校長会 全国特別支援教育推進連盟 編著 出版社: ジアース教育新社 (978-4-86371-522-6)
第5版 よくわかる社会福祉施設 —教員免許志願者のためのガイドブック 著者名: 増田 雅暢(執筆代表者) 出版社: 全国社会福祉協議会 (978-4-7935-1277-3)

[参考書(ISBN)]

特になし

科目名	学校観察実習A	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣 覚		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図る。主に基礎的な学習を目指す。</p> <p>[授業概要]</p> <p>神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につける。どうしても教師になりたいという希望を持っており、週に1日か半日の空き時間のある学生が受講可能である。履修前年度末または履修年度始めに説明会を実施する。</p> <p>また、大学においても学校現場での教員経験のあるものが、その経験を生かして具体的な対応を指導助言する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、可能な範囲で予習・復習をしながら受講すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接による意思確認 ・オリエンテーション ・学校現場での活動(5月末から開始、週1回程度) ・中間報告会と指導助言 ・学校現場での活動(週1回程度) ・中間報告会と指導助言 ・まとめの報告会と指導助言 			

P19020260 [GSH2-030]

【教職】[2栄]*通年集中

科目名	学校観察実習A	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣 覚		
<p>[成績評価方法] 活動時間数(40%)、取組姿勢(30%)、実習記録等(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 中間及びまとめの報告会で意見交換や解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 活動校での資料、必要に応じて作成</p> <p>[参考書(ISBN)] 特になし</p>			

科目名	学校観察実習B	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣 覚		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図る。主に基礎的な学習を目指す。</p> <p>[授業概要]</p> <p>神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につける。どうしても教師になりたいという希望を持っており、週に1日か半日の空き時間のある学生が受講可能である。履修前年度末または履修年度始めに説明会を実施する。</p> <p>また、大学においても学校現場での教員経験のあるものが、その経験を生かして具体的な対応を指導助言する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、可能な範囲で予習・復習をしながら受講すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接による意思確認 ・オリエンテーション ・学校現場での活動(5月末から開始、週1回程度) ・中間報告会と指導助言 ・学校現場での活動(週1回程度) ・中間報告会と指導助言 ・まとめの報告会と指導助言 			

P19020270 [GSH3-031]

【不開講】【教職】[3栄]*通年集中

科目名	学校観察実習B	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣 覚		
<p>[成績評価方法] 活動時間数(40%)、取組姿勢(30%)、実習記録等(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 中間及びまとめの報告会で意見交換や解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 活動校での資料、必要に応じて作成</p> <p>[参考書(ISBN)] 特になし</p>			

科目名	学校観察実習C	前期～後期	2 単位
サブタイトル	教育実践力を求めて	実習	
担当者	宮垣 覚		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図る。学校観察実習A・Bを基礎として、不十分であった事項を整理し、実践力の上積み、さらなる充実を図る。</p> <p>[授業概要]</p> <p>神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につける。どうしても教師になりたいという希望を持っており、週に1日か半日の空き時間のある学生が受講可能である。履修前年度末または履修年度始めに説明会を実施する。</p> <p>また、大学においても学校現場での教員経験のあるものが、その経験を生かして具体的な対応を指導助言する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、学校観察実習A・Bでの反省を踏まえ、不足事項を整理しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接による意思確認 ・オリエンテーション ・学校現場での活動(5月末から開始、週1回程度) ・中間報告会と指導助言 ・学校現場での活動(週1回程度) ・中間報告会と指導助言 ・まとめの報告会と指導助言 			

科目名	学校観察実習C	前期～後期	2 単位
サブタイトル	教育実践力を求めて	実習	
担当者	宮垣 覚		
<p>[成績評価方法] 活動時間数(40%)、取組姿勢(30%)、実習記録等(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 中間及びまとめの報告会で意見交換や解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 活動校での資料、必要に応じて作成</p> <p>[参考書(ISBN)] 特になし</p>			

科目名	教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力の最高傑作・カリマネの主役は教職員一人一人	講義	
担当者	宮垣 覚		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	2分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

かつてないほどに「教育課程」が注目されている背景をさぐり、「教育課程」とは何かを具体的に整理する。教育課程の基準となる学習指導要領について、戦後の教育改革から現在に至る改訂の変遷を大まかにつかみ、未来の学校教育のあり方を考える。また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、実際の学校現場における教育課程編成のプロセスを学び、教育課程の創造的編成の基礎を習得する。

[授業概要]

教育課程には、教育目標や年間学習指導計画、週時程表、生活時間帯など数多くの内容が含まれている。教育課程は、各学校が独自に編成すべきものであるが、公教育を担っている性格上、守るべき水準がある。しかし、それぞれの学校には、歴史的な経緯や地域性の違いだけでなく、学校規模や施設環境などの違いもある。何よりも、克服すべき課題が異なる。この課題を克服しようと努力していく過程で、各学校の特色ある教育活動は生まれてくる。学習指導要領の改訂の変遷を概観するとともに、今日的な教育課題としての新型コロナ対応やGIGAスクール構想の実現に向けた努力も学んでいく。そのうえで、各学校が行う教育課題の克服に向けた大きな計画が「教育課程」にあることを理解する。教育課程の実施状況に加えて、学校評価や学校運営協議会(コミュニティ・スクール構想)も幅広く学び、教育課程全般の基礎を理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

学習指導要領(平成29年告示)解説・総則編を中心に概要を調べておくことが望ましい。授業後は、本時の学習内容について、配付プリント等や学習指導要領解説・総則編等を参考に復習すること。

[授業計画]

- 1 教育課程論 ～ ガイダンス、目標 ～
- 2 教育課程 ～ 学習指導要領総則より、内容、目的、方法 ～
- 3 戦前、戦後の教育課程の歩み ～ 戦前戦後の比較、学習指導要領の変遷 ～
- 4 現行学習指導要領のポイント ～ 主体的対話的で深い学び、令和の日本型学校教育～
- 5 GIGAスクール構想 ～ デジタル化の目的、期待されること ～
- 6 特色ある教育活動 ～ 各学校の特色ある教育活動、学校行事他 ～
- 7 健全育成等への取組 ～ 安全教育、学校規模や生徒の課題等と生徒指導 ～
- 8 カリキュラム開発実践例 ～ 各校の実践に学ぶ ～
- 9 カリキュラムと教育環境 ～ 学校・学級、コミュニティスクール ～
- 10 授業研究 ～ 授業形態、授業デザイン、共同する授業 ～
- 11 教育評価 ～ 実施状況調査、「新たな学校評価」のあり方と教育課程編成の関係、～
12. カリキュラム・マネジメント ～ 創造的実践、教科横断的な指導、課題 ～
13. まとめ

科目名	教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力の最高傑作・カリマネの主役は教職員一人一人	講義	
担当者	宮垣 覚		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～12回 10分程度の授業レポート(50%) ・1～12回 授業中のグループワーク・スピーチ等(20%) ・まとめのレポート(30%) <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業レポートは、次回添削して返却します。 ・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介する。 ・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応する。 <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 □著者名: 文部科学省 出版社: 東洋館出版社</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>『教育課程論』 著者名: 柴田義松編著 出版社: 学文社 (978-4-7620-1896-1) 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編 著者名: 文部科学省 出版社: 東洋館出版社</p>			

科目名	教育原理	前期	2 単位
サブタイトル	教育の理念・思想・歴史	講義	
担当者	山内 紀幸		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1 教育概念や教師—子ども関係について、基本的な知識を身に付けている。 2 西洋や日本の教育史や教育思想について、基礎的な事項を理解している。 3 授業論や学び論について、概念的に把握している</p> <p>[授業概要]</p> <p>本授業では、教育を巡る様々な概念(教育、学習、子ども、教師、人間形成)について講義した後に、西洋の教育史、西洋の教育思想家の教育思想について理解させる。その後、日本の教育史を学ばせ、現代の教育問題や授業論や学び論について基本的な事項を習得させる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教育に関する理念や思想を学ぶために、毎回、指定テキストの論考の要約課題を出す。加えて、各回、授業の復習を行うこと。合わせて4時間程度を充てること。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1.教育の基本理念——語源・目的・目標 2.教師と子どもの臨床哲学——信頼される教師 3.人間形成の理論①——エリオット先生の差別授業 4.人間形成の理論②——デーケンの悲嘆のプロセス 5.古代ギリシアの教育——スパルタとアテネ 6.西洋の子ども観——子ども期の発見・近代家族の成立 7.西洋教育思想①——ソクラテス・コメニウス・ロック・ルソー 8.西洋教育思想②——ペスタロッチ・ヘルバルト・フレーベル・ケイ・デューイ・モンテッソーリ・パーカスト 9.日本の子ども観——子宝思想の誕生 10.近代教育制度の成立——森有礼と元田永孚 11.戦後日本教育史——学習指導要領と教育問題 12.授業論——学びの楽しさを生み出す授業 13.学びの空間論——学びのスタイルと学習空間</p>			

科目名	教育原理	前期	2 単位
サブタイトル	教育の理念・思想・歴史	講義	
担当者	山内 紀幸		

[成績評価方法]
 授業後の小テスト(70%)と課題提出(30%)。課題への講評は授業で行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
 小テストについてはmanabaを通じて採点し、結果を閲覧できるようにする。
 要約課題については、授業中に講評を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
 成績評価方法: 小テスト、まとめのテスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
 成績評価方法: 小テスト、まとめのテスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法: 小テスト、まとめのテスト

[教科書(ISBN)]
 『ちょっと変わった校長式辞集:教育哲学者からのメッセージ』 著者名:山内紀幸 出版社:一藝社 (978-4-86359-237-7)

[参考書(ISBN)]
 教育思想史 著者名:今井康雄(編) 出版社:有斐閣 (978-4-641-12384-7)
 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者名:文部科学省 出版社:東山書房 (978-4827815801)
 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編 著者名:文部科学省 出版社:東洋館出版社 (978-4491036397)

科目名	教育実習A	前期	2 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣 覚、宮本 晃郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な学級経営や授業などの教育実践ができる力を身につける。</p> <p>[授業概要] 各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習、授業実践、研究授業などを行う。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。事前・事後の指導では、教育実習の意義、実習記録の取り方、教育課題への対応の仕方、実習後の課題の整理などを行う。その際、学校現場における校長、教頭、教諭(学級担任、教務主任等)の経験を生かして具体的な対応について指導助言する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各教科指導法の概要・学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 学校実習(2週間) <ul style="list-style-type: none"> ・管理職の講話 ・校務担当教職員の講話と指導 ・校務処理の仕方について ・実習校の学級担任の指導、学級経営の実査 ・教科担任の指導と観察実習 ・学習指導案の作成と指導 ・授業実践と指導 ・大学教員の指導等 ・研究授業と反省 ・実習のまとめ 事後指導 <ul style="list-style-type: none"> ・実習後の課題の整理等 </p>			

科目名	教育実習A	前期	2 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣 覚、宮本 晃郎		
<p>[成績評価方法] 実習状況(40%)、実習校からの評価資料(40%)、実習記録等(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題やレポートについては、事後指導を中心に意見交換ならびに解説をおこなう。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 適宜資料配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 各自調達のこと</p>			

科目名	教育実習B	前期	4 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣 覚、宮本 晃郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な学級経営や授業などの教育実践ができる力を身につける。</p> <p>[授業概要] 各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習、授業実践、研究授業などを行う。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。事前・事後の指導では、教育実習の意義、実習記録の取り方、教育課題への対応の仕方、実習後の課題の整理などを行う。その際、学校現場における校長、教頭、教諭(学級担任、教務主任等)の経験を生かして具体的な対応について指導助言する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各教科指導法の概要・学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておくこと。</p> <p>[授業計画] 学校実習(3週間) <ul style="list-style-type: none"> ・管理職の講話 ・校務担当教職員の講話と指導 ・校務処理の仕方について ・実習校の学級担任の指導、学級経営の実際 ・教科担任の指導と観察実習 ・学習指導案の作成と指導 ・授業実践と指導 ・大学教員の指導等 ・研究授業と反省 ・実習のまとめ 事後指導 <ul style="list-style-type: none"> ・実習後の課題の整理等 </p>			

科目名	教育実習B	前期	4 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣 覚、宮本 晃郎		
<p>[成績評価方法] 実習状況(40%)、実習校からの評価資料(40%)、実習記録等(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題やレポートについては、事後指導を中心に意見交換ならびに解説をおこなう。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 適宜資料配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 各自調達のこと</p>			

科目名	教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な教育実習のために	演習	
担当者	宮垣 覚、宮本 晃郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 教育実習を行うに当たり、教育実習の心構えや在り方、授業実践方法や教育課題について学び、教育実習が充実したものとなる力量を身につける。また、実習後の課題整理と教員に向けての心構えを整理する。</p> <p>[授業概要] 事前指導では、先輩学生の教育実習経験から留意事項を学び、教育実習の意義・目的の理解、教育実習を受けるにあたっての心構え・記録の仕方などを学ぶ。また、授業、生徒指導、教育課題への対応の仕方を学び、教育実践や児童生徒への対応の基礎を学ぶ。事後指導では、実習後の課題の整理と、今後の資質向上を目指す。その際、学校現場における校長、教頭、教諭(学級担任、教務主任等)の経験を生かして具体的な対応について指導助言する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各教科指導法の概要・学習指導案の作成、人権教育・学級経営・生徒指導等の復習をしておくこと。</p> <p>[授業計画] (事前指導) 1. 教育実習の準備手続きの仕方(宮垣、教職支援センター) 2. 前年度教育実習の様子・よさと留意点①(宮垣) 3. 前年度教育実習の様子・よさと留意点②(宮垣) 4. 教育実習の心得(宮垣) 5. 教育実習の目的・意義・内容(宮垣) 6. 生徒指導の在り方(宮垣) 7. 学級経営の在り方(宮垣) 8. 人権教育、特別支援教育の在り方(宮垣) 9. 学習指導案の書き方(宮垣) 10. 授業の実際(宮垣) 11. 教員採用試験と教育実習(宮垣) 12. 実習直前講話、実習ノートの記入(宮垣) 13. 教育実習の事務的準備について(宮垣、教職支援センター)</p> (事後指導) 1. 実習後の情報交換会(宮垣) 2. 課題の整理、今後に向けて(宮垣)			

科目名	教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な教育実習のために	演習	
担当者	宮垣 覚、宮本 晃郎		

[成績評価方法]
グループワーク[取組姿勢・プレゼン含む](50%)、レポート課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
グループワークやレポートの課題については、事前・事後指導の中で意見交換や解説を行う。
質問等については、授業後の教室での対応やメール受付も行う。その他については、教職支援センターを通して、場所や日程等を調整して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
適宜プリント等を配布

[参考書(ISBN)]
各自調達のこと

科目名	教育心理学	前期	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習	講義	
担当者	久木山 健一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の中での心理学の有効性の理解 ・今自分が受けている教育の意義の理解 ・過去自分が受けてきた教育の影響の理解 ・学習活動を支えるさまざまな心理的要因の理解 <p>[授業概要]</p> <p>本授業では教育という現象を心理学的に理解できるようになることを目標として教育心理学のさまざまな理論を概観します。その際、単に理論を知識として学ぶだけでなく、過去から現在までに自分が体験してきた教育活動と関連づけて修得できることを目指します。学習過程、動機づけ、知能と学力、教室の仲間関係、教師と生徒の関係、教育評価などの基礎的な知識に加え、いじめ、不登校などの学校不適応への対応や、心身障害児への対応などの理解も目指します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>予習:授業で学ぶ予定のある内容について各自で事前に予習をしてください。 復習:授業で学んだことを参考に自分自身、自分の受けてきた教育、これから自分が行おうと考えている教育について考察をしてください。 各回、予習復習合わせて4時間程度が求められます。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育心理学とは(意義, 他の学問とのかかわり, 研究法など) 2 発達(基本的法則, 発達の要因, ピアジェ, エリクソンなど) 3 学習(定義, 条件づけ, 行動分析, 社会的学習, 認知論など) 4 動機づけ(コンピテンス, 種類, 原因帰属, 自己調整学習など) 5 知能・記憶・メタ認知(定義, 知能テストの種類, 記憶, メタ認知など) 6 教授学習過程(授業形態, 授業構造, 有意味受容学習と発見学習など) 7 教育評価(意義, 通知表, 評価の時期と方法, 相対・絶対評価など) 8 教師(好まれる教師像, ビリーフ, リーダーシップ, ピグマリオン効果など) 9 仲間関係(遊びの発達, 仲間関係の理解法, 児童期・青年期の仲間関係など) 10 パーソナリティ(定義, 類型論, 特性論, 性格検査の種類など) 11 学校における不適応(いじめ, 非行, 不登校, 学級集団の荒れなど) 12 ストレスと健康(ストレス過程, 学校ストレス, PTSD, 摂食行動など) 13 発達障害と特別支援教育(種類, 特別支援教育, ユニバーサルデザインなど) 			

科目名	教育心理学	前期	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習	講義	
担当者	久木山 健一		

[成績評価方法]

毎回の小テストおよび授業の感想の提出, 定期試験などによって行います。
小テストおよび授業の感想(3割), 定期試験(7割)で成績評価します。
ただし, 定期試験が実施できない場合は, 小テストおよび授業の感想(7割),
最終レポート課題(3割)で成績評価を行います。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

フィードバックは問合せに応じて回答を解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

四訂版 ようこそ教育心理学の世界へ

著者名: 神藤貴昭・久木山健一 出版社: 北樹出版

[参考書(ISBN)]

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者名: 文部科学省 出版社: 東山書房 (978-4827815801)

高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編 著者名: 文部科学省 出版社: 東洋館出版社 (978-4491036397)

科目名	教育相談	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山 優子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	1分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における教育相談緒意義と課題を理解している。 ・教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎知識を含む)を理解している。 ・いじめ、不登校、虐待、非行、発達障害等、最近の教育課題への教育相談の進め方や組織的な取り組みや連携の必要性を理解している。 ・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。 <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題(教育相談等)への対応について講義をします。学校現場では、いじめ、不登校、非行、学級崩壊といった教育課題にどう対処するかが重要になっています。児童生徒一人ひとりの発達に即して、好ましい人間関係を育て、生活によく適応させ、自己理解を深めさせ、人格を成長させる力が教員には求められています。授業では、学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性、教育相談の意義や基本的な技法、教育相談の進め方などを実際によくある事例をもとにグループで学習を進めていくアクティブラーニングの手法で行います。特に、発達障害のある子供の理解や支援の方法を中心に、多様な背景を持つ子供の理解と支援、保護者や関係機関との望ましい連携のあり方(カウンセリングの基礎基本を含む)について理解し、実際に日常生活で学んだことを実践していくことをめざしていきます。</p> <p>テキストは、『生徒指導提要(平成22年3月版)第5章』(文部科学省HPよりダウンロード)を用います。適宜、生徒指導提要改訂版令和4年12月もダウンロード版を併用します。購入する必要はありません。</p> <p>ノートについては、手書きのノートのはかに、パソコンをノート代わりにしてもかまいません。授業の板書は写真撮影 OKです。ICTを活用して授業を受けてみると、その効果や課題が実感でき、今後の児童生徒への指導に役立つ視点が得られると考えるからです。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で出された宿題や探究課題について主体的に取り組む(復習)。<2時間> ・授業で予告された次回の内容について探究する(予習)。<2時間> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教育相談とは(カウンセリング技法:受容、共感等)4/8 2.相談にのるということ 4/15 3.予防的・開発的教育相談(リフレーミング1) 4/22 4.アセスメント・コーピング(リフレーミング2)5/6 5.進路や生き方(グループエンカウンター1)5/13 6.価値観の違いを認め合う(グループエンカウンター2)5/20 7.相手の主訴を傾聴する教育相談(グループエンカウンター3)5/27 8.愛着障害、保護者の障害受容の理解(いじめ、不登校、虐待、非行等)6/3 9.好ましい人間関係(アサーショントレーニング)6/10 10.多様な背景を持つ児童生徒の理解<学外フィールドワーク>6/15 1限 11.「ケース会議」のロールプレイ 6/15 2限 12. スクールカウンセラー・関係諸機関との連携 6/17 13. まとめ 6/24 			

科目名	教育相談	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山 優子		
<p>[成績評価方法] まとめ(論述あり)(50%)、授業小テスト(記述式)(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] コメント等のフィードバックを返します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業の「ふりかえり」「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業の「ふりかえり」「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:毎回の授業の「ふりかえり」「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。</p> <p>[教科書(ISBN)] 『生徒指導提要(平成22年3月版)第5章』(文部科学省HPよりダウンロード) 著者名:文部科学省生徒指導提要第5章 文部科学省生徒指導提要第5章 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2018/04/27/1404008_03.pdf 出版社:文部科学省生徒指導提要第5章 文部科学省生徒指導提要第5章 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2018/04/27/1404008_03.pdf (文部科学省生徒指導提要第5章 文部科学省生徒指導提要第5章 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2018/04/27/1404008_03.pdf)</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業進度に応じて紹介</p>			

科目名	教育の制度と経営	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山下 晃一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 教職に必要なとなる教育の制度と経営に関する基本的かつ多様な知識・考え方を修得する。 教育の制度と経営をめぐる諸学説等を用いて、自分の教育経験を客観的に理解できる。 教育の制度と経営の知識や考え方を基に、現代教育課題について論理的に思考できる。</p> <p>[授業概要] いかにすぐれた教育の思想も実践も、現代社会においては「制度」となることによって、はじめて広く実現される。そうして作られた学校制度は、教職員を含む実にさまざまな人々の知恵と工夫で動かされる＝「経営」されることによって、はじめて高い効果を発揮する。 本講義では複雑化する教育課題をふまえて、これからの教師そして国民全体に必要な、教育の制度や経営に関する知識の習得をめざすとともに、教育の思想や実践を効果的に実現できるような、教育制度・教育経営に向き合う力量の基礎を培う。とくに学校と地域の連携や、安全と安心の学校づくりなど、現代的な課題にも焦点をあてる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業前: 前回に出された予習課題に取り組む。前回のノートを見返し大事な視点・論点を復習する。テキストの指定箇所を読む。 授業後: 提出した質問紙の設問と自らの回答内容を振り返りと同時に、授業で取り上げた内容について、日常生活や読書を通じて自分の考えを深める。 各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション 2. 教育の制度と経営の基礎(1)－教育法規の枠組－ 3. 教育の制度と経営の基礎(2)－教育基本法－ 4. 教育の制度と経営の基礎(3)－日本の学校体系－ 5. 教育行政の組織と役割(1)－国と地方の教育行政－ 6. 教育行政の組織と役割(2)－教育委員会の理想－ 7. 教員を支える制度(1)－公立学校教員の立場－ 8. 教員を支える制度(2)－教員の研修・評価－ 9. 教員を支える制度(3)－教科書制度の概要－ 10. 現代学校経営の課題(1)－学校における個業と協業－ 11. 現代学校経営の課題(2)－開かれた学校づくり－ 12. 現代学校経営の課題(3)－安全・安心の学校づくり－ 13. 講義のまとめ－これからの教育の制度と経営－</p>			

科目名	教育の制度と経営	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山下 晃一		
<p>[成績評価方法] 講義各回に提出する小レポート60%、期末試験(またはレポート課題)40%。 小レポートについて、講義中の説明に即して、教育の制度と経営に関する基本的論点を、どの程度、正確に理解できているか、また、講義で説明した事例などについて、自分なりの分析や考えを的確に述べているか等の観点から評価する。 期末試験について、講義中の説明をどの程度、理解できているか、また、それらを用いてどの程度、的確に、自分なりに教育の制度と経営をめぐる諸課題に対して見解を述べているか等の観点から評価する。 フィードバックについて、各回的小レポートおよびコメントを抜粋し、それぞれ次の回の講義冒頭時に説明・紹介する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 主として講義中に(あるいはmanabaを通じて)、各回的小レポートおよびコメントを抜粋し、それぞれ説明・紹介します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小レポート・期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 小レポート・期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 小レポート・期末試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 法規で学ぶ教育制度 著者名:古田薫 編著 出版社:ミネルヴァ書房 (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者名:文部科学省 出版社:東山書房 (978-4827815801) 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編 著者名:文部科学省 出版社:東洋館出版社 (978-4491036397)</p>			

科目名	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	黒田 昌克		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 基礎的な教育方法や技術を理解し、基礎的な教育におけるICTの活用能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 授業設計(インストラクショナルデザイン)に関わる基本的な考え方、授業場面での指導技術等を学びます。また、教育におけるICTを活用するための理論や事例を知り、実際に情報端末に触れながらICTを活用するための演習を行います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度の主体的な学修を期待します。予習としては、事前に資料を配布する場合は、その資料の内容を大まかに理解しておいてください。復習としては、重要な内容に関して振り返り、自分の言葉で説明できるようにノートにまとめる等してください。</p> <p>[授業計画] 1.これからの子どもたちに育みたい資質・能力 2.教師に求められる授業力とは 3.授業をつくるということ 4.評価をデザインする 5.学習環境をデザインする 6.授業を支える指導技術・学びを引き出す指導技術【オンデマンド授業の予定】 7.オリエンテーション・現代社会におけるICT活用の意義と理論の概要【オンデマンド授業の予定】 8.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践①(デジタル教材の作成と利用等) 9.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践②(遠隔授業、LMSによる学習履歴の活用、統合型校務支援システム等) 10.教師のICT活用指導力及び情報活用能力育成の基礎的な指導法の概要 11.情報活用能力育成の理論と実践①(情報モラル、各教科等における指導事例) 12.情報活用能力育成の理論と実践②(プログラミング教育、STEAM教育等) 13.まとめ</p>			

科目名	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	黒田 昌克		
<p>[成績評価方法] 各回の小レポート及び小テスト(20%)、成果物【動画・Webテスト作成】(40%)、最終レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] フィードバックは適宜授業における相互評価やmanabaを通じたコメント等で行う予定です。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 教育の方法及び技術 著者名:稲垣忠 出版社:北大路書房 (978-4-7628-3060-0) 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者名:文部科学省 出版社:東山書房 (978-4827815801) 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編 著者名:文部科学省 出版社:東洋館出版社 (978-4491036397)</p>			

科目名	教職実践演習(栄養教諭)	後期	2 単位
サブタイトル	教職のまとめと実践力のさらなる向上	演習	
担当者	佐藤 誓子、本田 まり、宮本 晃郎、宮垣 寛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 児童を対象とした食に関する指導、及びと学校給食の管理について、栄養教諭として行うべき事柄と自身の考えとを20分程度で説明できることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 栄養教諭の講義等で学校現場の実情を学び、実務に当たっての心構えを学ぶ。また、食に関する指導、学校給食の栄養管理について演習を行う。これらによって、教員としての自己の課題を見だし、必要な知識・技能の定着を図る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 栄養教育指導法、人権教育、生徒指導等、学校現場での学習指導に必要な事項を中心に、実際の教員生活を想定した学習の仕上げであることを意識して復習しながら受講すること。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション・教職の意義と教員の役割(宮本) 2.学校現場における実務演習(食に関する指導と学校給食の管理)(外部講師・佐藤) 3.教育実習の振り返り:発表の準備(本田) 4.発表とディスカッション①(本田) 5.発表とディスカッション②(本田) 6.発表とディスカッション③(本田) 7.発表とディスカッション④(本田) 8.学校給食経営管理①学校給食法と個別対応(佐藤) 9.学校給食経営管理②給食を活用した献立作成(佐藤) 10.学校給食経営管理③給食献立を活用した食育発表会(佐藤) 11.学校給食経営管理④給食献立を活用した食育発表会(佐藤) 12.特別支援学校での給食経営(佐藤) 13.まとめ(最新教育事情、研究の力点、指導助言)(宮本)</p>			

科目名	教職実践演習(栄養教諭)	後期	2 単位
サブタイトル	教職のまとめと実践力のさらなる向上	演習	
担当者	佐藤 誓子、本田 まり、宮本 晃郎、宮垣 寛		
<p>[成績評価方法] 授業の理解度(30%)、取組姿勢(30%)、課題レポート(20%)、発表(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは後日添削して返却します</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：授業の理解度、取組姿勢</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：課題レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：授業の理解度、取組姿勢</p> <p>[教科書(ISBN)] 適宜プリント等を配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教職実践演習(中・高)		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	小島 理永、宮垣 覚、大沼 勇人			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 授業実践力や生徒理解力、心構え等、教員としての職務に必要な資質・能力を整理して、自分にとって何が課題であるかを自覚する。そして、教育実習をふまえて不足している知識や技能を補うことで定着を図り、保健体育科教員にふさわしい実践力を向上させる。</p> <p>[授業概要] 教育実習での経験をふまえて、指導計画の立案や模擬授業、事例研究などをもとにグループ学習や討論を行うことで実践力の育成を図る。また、これらの活動を通して、教員としての自己の課題を自覚するとともに、必要な知識・技能の定着を図る</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 教職課程の仕上げであることを意識して、専門科目、学級経営、指導技術等、これまでの学修内容を復習すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最新の教育動向と教職未来論(宮垣) 2. 教師力の発揮と学校力の強化(宮垣) 3. 指導力と授業力の充実・向上(宮垣) 4. 教育実習の振り返り(体育科)(小島) 5. 教育実習の振り返り(保健科)(大沼) 6. 教育実習の振り返り(学級経営・部活動等)(大沼) 7. 模擬授業の計画および指導案作成(小島) 8. 模擬授業(保健科)および討議(宮垣・小島・大沼) 9. 模擬授業(体育科)および討議(小島・住本・大沼) 10. 保健体育科教諭のリフレクション(住本) 11. 学校現場の実際(大沼) 12. 保健体育科指導法のまとめ(大沼) 13. 総まとめ(小島) 				

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小島 理永、宮垣 覚、大沼 勇人		
<p>[成績評価方法] 授業態度、プレゼンテーション、議論への参加(60%)、課題・レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内で連絡します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：上記、評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：上記、評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：上記、評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 保健体育科指導法に関して使用したテキスト・資料</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	教職実践演習(養護教諭)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	細川 愛美、宮垣 寛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

養護教諭としての使命や職務内容の重要性を理解し、具体的な実践演習の展開を通して養護教諭に関する専門性を広く学ぶことで、教育現場に適応する知識とスキルを習得する。

[授業概要]

「養護教諭としての実践的な知識とスキルの習得を目指す」をテーマに、以下の項目について、学校現場での教員経験がある者が、調査、分析、討議、ロールプレイ、事例研究等の方法で演習授業を展開し、学校現場の現状に即した実践的な指導力を養う。

- ① 養護教諭としての使命感や責任感、教育的愛情に関する事項
- ② 他の教職員との連携と調整に関する事項
- ③ 児童生徒理解および、ヘルスプロモーションについて
- ④ 養護教諭が行う保健指導と保健管理
- ⑤ 適切な保健室経営

本演習は4年生の後期に実施されるものであり、受講者はすでに養護実習を終了している。これまでに授業で学んだこと、および実習校で学んだ養護教諭の職務に関する学びの集大成として、これまでの復習を兼ね、学校現場で即対応できる能力の研鑽の場としたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

過去の関連項目の授業を復習し、当日の授業に臨むこと。

各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

- 1.オリエンテーションおよび教職の意義と教員の役割(宮垣 寛)(11月6日水曜日)3限
- 2.養護実習の体験を発表し、養護教諭の職務内容について、グループ討論で意見を出し合う(細川愛美)(11月6日水曜日)4限
- 3.「私の考える理想の養護教諭」のテーマで考えを発表し合い、学びを深める(細川愛美)(11月6日水曜日)5限
- 4.模擬検診を実施し、健康診断の実践と事後措置を学ぶ①(細川愛美)(11月13日水曜日)3限 F209
- 5.模擬検診を実施し、健康診断の実践と事後措置を学ぶ②(細川愛美)(11月13日水曜日)4限 F209
- 6.救急処置について、事例を挙げながら対応を学ぶ①(細川愛美)(11月15日金曜日)3限 F209
- 7.救急処置について、事例を挙げながら対応を学ぶ②(細川愛美)(11月15日金曜日)4限 F209
- 8.学校での緊急時を想定し、ロールプレイで対応について学ぶ。(細川愛美)(11月20日水曜日)3限 F209
- 9.障害児の健康管理と支援に関する養護教諭の役割を考える。(細川愛美)(11月20日水曜日)4限 F209
- 10.児童生徒の現代的な健康課題と健康相談活動に関するケースを挙げ、それについての対応を検討する(細川愛美)(11月27日水曜日)3限
- 11.壁面掲示と保健だよりの作成例を見て、その意義について学ぶ
グループで討議しながら学校保健計画案・保健室経営計画案を作成する
(細川愛美)(11月27日水曜日)4限
- 12.児童生徒理解と健康相談を含む支援についてグループ討議で意見を出し合い、養護教諭の職務を考える(細川愛美)(12月6日金曜日)3限
- 13.保護者対応をロールプレイで検証する。また、まとめとして、社会人としての基本姿勢や教師としての資質能力の確認をする(宮垣 寛)(12月6日金曜日)4限

科目名	教職実践演習(養護教諭)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	細川 愛美、宮垣 寛		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み姿勢(授業態度・発表内容・授業内課題等)80% 課題レポート20%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートの評価は希望者に開示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢、レポート内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢、レポート内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み姿勢、レポート内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業への取り組み姿勢、レポート内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業への取り組み姿勢、レポート内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業への取り組み姿勢、レポート内容</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

P19020240 [GSH3-030]

【教職】[4看]*後期水3・4&一部集中

科目名	教職論	後期	2 単位
サブタイトル	教職の在り方を追究する・教職への適性を考える	講義	
担当者	宮垣 覚		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	2分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 学校教育全般についての理解を深めるとともに、「教職とは何か」について、教職の意義や役割、資質能力、職務内容等を概観する。また、期待される教職像を探究し、教職の適性を考え、教職への基礎づくりを行う。			
[授業概要] 変化する社会情勢と教育動向を概観し、「教育とは」「学校とは」「教育者とは」何かを考える。そして、教育関係法規や学習指導要領などをもとに公教育の重要性を理解し、教職に求められる資質・能力について考え、将来の教職像を明らかにしていく。また、最新の教育課題を事例研究で学び、現場の厳しさにも目を向けて、幅広い視野と強い責任感が求められることを意識したい。その際、現場経験(校長、教諭)や教育委員会事務局、教育研修所等の経験も活かして、今日的課題への対応についてともに考えたい。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 次回の授業までに、課題のキーワードを調べることと、そこから派生して自分自身が疑問に思うことや、さらに調べてみたいことを明らかにする。授業での配付資料を熟読して、次回の授業に臨むようにする。授業に関するニュースにも関心をもって、情報交換できるようにする。「各回、予習復習合わせて2時間程度」			
[授業計画]			
1. 教育の目的と意義・役割 — 教職とは・忘れられない魅力的な教師 — 2. 学校教育と教職の意義等 — 家庭教育との違い・学校の種類・教育関係法規 — 3. 公教育を担う教職への道 — 公務員と民間の違い・教育公務員・教員免許 — 4. 教職の役割及び資質能力 — 聖職者・労働者・専門職としての教職観の変遷 — 5. 教員の資質能力の構造化 — 新たな専門職的教職観・学習指導と生徒指導等 — 6. これからの授業力の向上 — 素材研究・教材研究・発問や板書・ICT活用 — 7. これからの指導力の向上 — 生徒指導・キャリア教育・教育相談・特別支援教育の視点 — 8. これからの教師力の向上 — 行事・校務分掌・保護者対応・関係機関連携等 — 9. 信頼される学校力の向上 — 情報発信・地域連携・学校評価・教育課程編成 — 10. 教育公務員としての教職 — 教員採用・研修・教員としてのライフサイクル — 11. 教育新時代における教職 — 新たな教育課題・幅広い知見と「チーム学校」 — 12. 学び続ける教師への期待 — 自分自身の適性と力点、学ぶ続ける教師の意義 — 13. まとめ			

科目名	教職論	後期	2 単位
サブタイトル	教職の在り方を追究する・教職への適性を考える	講義	
担当者	宮垣 覚		
<p>[成績評価方法] 毎時間のレポート課題(50%)・グループ討議や発表(20%) まとめの試験(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・毎回の授業レポートは、次回添削して返却します。 ・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介する。 ・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] レジメ・資料を作成して配付する</p> <p>[参考書(ISBN)] 随時指示する。 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者名:文部科学省 出版社:東山書房(978-4827815801) 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編 著者名:文部科学省 出版社:東洋館出版社(978-4491036397) 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説総則 著者名:文部科学省 出版社:東洋館出版社(978-4-491-03461-4)</p>			

科目名	生徒・進路指導論	後期	2 単位
サブタイトル	令和の時代における生徒指導と進路指導・キャリア教育	講義	
担当者	宮本 晃郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程における生徒指導・進路指導及びキャリア教育の位置付けを理解したうえで、理論及び方法を修得することができる。 ・暴力行為・いじめ・不登校など多様な問題行動と、インターネットや性に関する課題、児童虐待等の今日的な生徒指導上の課題についての知見を深めることができる。 ・児童生徒の健全な育成に向けて、学校の教育活動として支援の方策等について理解を深め、組織的・継続的に取り組む重要性を認識することができる。 ・キャリア教育の重要性を踏まえ、生き方を考える進路指導の理論と方法を理解することができる。 <p>[授業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導とは、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動だと理解する。 ・すべての児童生徒のよりよい成長と発達を目指して、学校生活が有意義で充実したものになるように組織的・計画的・意図的に行う重要性を理解する。 ・実際の学校現場での具体事例をもとに、「教師と子供との信頼関係の築き方」や「子供同士の望ましい人間関係づくり」「子供自身の自己実現を図るための多様なサポート」などを学ぶ。 ・「人としてどう生きるか」や「自分らしく生きるとはどういうことか」などを出発点にキャリア教育を生かした現代の進路指導の在り方を積極的に探る。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>前回の授業を復習し、関心を持った教育課題について、新聞、書籍等で調べるなど自分なりの課題意識をもって授業に臨むこと。 manabaで送付した授業資料を一読し、分からないキーワード等を整理して授業に臨むこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導・進路指導及びキャリア教育の見方・考え方 ～生徒指導・進路指導及びキャリア教育の目的と意義・内容等～ 2. 生徒指導・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 ～子供の学校生活・全校や学年学級指導・カウンセリングとしての指導～ 3. 教育課程における生徒指導・進路指導及びキャリア教育の位置付け ～各教科・道徳科・総合的な学習の時間・特別活動～ 4. 子供理解と保護者理解・保護者連携 ～子供の心理・発達の段階・多様な保護者の願い・キャリア教育の視点等～ 5. 問題行動と関係機関との連携 ～自前主義からチーム学校へ・事例に学ぶ生徒指導研修・教師としての資質の向上～ 6. いじめに関する事例研究 ～いじめの態様と指導・早期発見と早期解決・キャリアカウンセリング～ 7. 不登校に関する事例研究 ～不登校の原因と傾向・多様な支援策・生涯を通じたキャリア形成～ 8. 児童虐待に関する事例研究 ～児童虐待の実態・児童虐待の原因と背景・児童虐待防止への対策・多様な進路～ 9. 多種多様な問題に関する事例研究 ～窃盗・不健全性の行為・薬物乱用・家出・自殺等・新たな問題行動等～ 10. 生徒指導と法整備・指導の充実 ～懲戒と体罰の違い・校則の必要性和問題点・割れ窓理論とゼロトレランス～ 11. 生徒指導と進路指導及びキャリア教育の連動 ～ガイダンスとしての理論及び方法・子供の心理・教師の言葉と行動等～ 12. 生き方を考える生徒指導と進路指導及びキャリア教育の充実 ～社会情勢の変化・情報化社会を超える社会・自己指導力の育成～ 13. 生徒指導と進路指導及びキャリア教育の総まとめ ～信頼関係に基づく指導・豊かな人生につなぐ努力～ 			

科目名	生徒・進路指導論	後期	2 単位
サブタイトル	令和の時代における生徒指導と進路指導・キャリア教育	講義	
担当者	宮本 晃郎		
<p>[成績評価方法] グループ討議など学習態度(30%) 課題レポート(30%) 総合テスト(20%) 研究発表(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaを積極的に活用し、その都度コメント等でフィードバックを行う。 教職支援センター又は研究室にて個別指導も可</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：グループ討議など学習態度(30%) 課題レポート(30%) 総合テスト(20%) 研究発表(20%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：グループ討議など学習態度(30%) 課題レポート(30%) 総合テスト(20%) 研究発表(20%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：グループ討議など学習態度(30%) 課題レポート(30%) 総合テスト(20%) 研究発表(20%)</p> <p>[教科書(ISBN)] 適宜資料配付 出版社：なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 生徒指導提要 デジタル版を含む 著者名：文部科学省</p>			

科目名	生徒指導論(栄教・養教)		後期	2 単位
サブタイトル	児童生徒理解を通して自己指導能力の育成の在り方を探る。		講義	
担当者	榎元 十三男			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の理論と方法を修得し、児童生徒の自尊感情の高め方や健全な発達について、演習等を通して理解を深めていく。 ・いじめの問題に関する認識を深め、未然防止や事前・事後指導等を適切に行う能力を高める。 ・学校現場で起こっている不登校・非行等の問題行動や発達障害・児童虐待等についての実情を認識しつつ、その支援の方策等についての理解を深める。 ・学校組織の一員としての役割やチーム学校等の意味を理解し自分なりの考えを持つ。 <p>[授業概要]</p> <p>生徒指導は「教師と生徒の信頼関係と生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに、生徒が自主的に判断、行動し積極的に自己を生かす」ことができるよう、指導と援助を行うことである。この目的を達成するためには、今を生き生きと生きること目標とした生徒指導を行い、一人一人の生徒理解を深める必要がある。この講義では、生徒指導の理論及び方法、食や健康についての学習指導、教育相談の理論及び方法を学ぶ。子どもが遭遇する具体的な問題行動事例や支援の必要な子どもにもわかりやすい指導についての方法や教員に求められる資質や能力についても理解を深める。特に、学級担任と連携して児童生徒へ適切に対処できる能力を高める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>前回の授業を復習し、関心を持った教育課題について、新聞、書籍等で調べるなど自分なりの課題意識を持って授業に臨むこと。 manabaで送付した授業資料を一読し、分からないキーワード等を整理して授業に臨むこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.イントロダクション ー生徒指導の意義・内容・領域・自己指導能力とはー (10月1日 4限) 2.生徒指導の理論及び方法 ー集団指導・個別指導ー (10月1日 5限) 3.教育課程と生徒指導ー教科指導等との関連ー (10月8日 4限) 4.児童生徒の心理と児童生徒理解 ー児童生徒を理解するとは？ー (10月8日 5限) 5.児童生徒の発達課題 ー発達とは？ その捉え方ー (10月15日 4限) 6.発達障害についての理解・アセスメント (10月15日 5限) 7.学校における生徒指導体制 ー組織的対応とは？さしすせそー (10月22日 4限) 8.生徒指導における教育相談 ー意義・体制の構築・進め方等ー (10月22日 5限) 9.生徒指導と法制度 ー校則・懲戒・体罰・ゼロトレランスー (10月29日 4限) 10.問題行動ーいじめ・不登校の現状、構造、対応(ロールプレイ)等ー (10月29日 5限) 11.生徒指導における栄養教諭・養護教諭の役割とカウンセリングの基礎 (12月10日 4限) 12.学校安全危機管理と組織の一員としての役割ー教職への道ー (12月10日 5限) 13.生徒指導のまとめ (12月17日 4限) 				

科目名	生徒指導論(栄教・養教)	後期	2 単位
サブタイトル	児童生徒理解を通して自己指導能力の育成の在り方を探る。	講義	
担当者	榎元 十三男		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題(30%)、レポート(50%)、試験(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートは添削してmanabaにて返却する 小テスト後は解答の解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:栄養1-1/栄養学的知識はもとより、健康やスポーツに必要な食・栄養・運動に関する基礎的・専門的知識、合わせて児童生徒理解の方策を修得している。 成績評価方法:試験20% 授業後の課題レポート等80%</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-1/多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、児童生徒理解の方策を修得する。 成績評価方法:試験20% 授業後の課題レポート等80%</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験20% 授業後の課題レポート80%</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験20% 授業後の課題レポート80%</p> <p>[教科書(ISBN)] 毎回資料を配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] 生徒指導提要デジタル版(文科省) 著者名:文部科学省</p>			

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	溝邊 和成		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

小・中・高等学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間の目標および内容をはじめ、教育課程上の位置付けや他教科等との関連をとらえるとともに、具体的な演習等を通して、初等中等教育における総合学習の指導のあり方について理解を深める。

[授業概要]

小・中・高等学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間の特徴に係るテーマについて、講義とともに演習形式(グループワークやプレゼンテーション、スキルアップワークなど)を取り入れ、理解の充実と具体的な指導力向上をめざす。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前時に行った「スキルアップワーク」の内容・方法を復習するとともに、本時における課題について概略を把握したり、分担箇所等の予習(発表準備等)を行ったりしてきている。

[授業計画]

- 第1回:本講義の特徴と授業計画の提示(講・演)～ラーニングストーリーの自覚～
スキルアップワーク(自己紹介・他者紹介)「総合的な学習の時間と私」
- 第2回:「総合的な学習の時間」の成立とその変遷(講・演)～体験した授業から見る特徴～
スキルアップワーク(発表、分類・関係付け)「出身校における取り組み」
- 第3回:「総合的な学習の時間」の成立とその変遷(講・演)～学習指導要領から見る特徴～
グループワーク(ジグソー法の活用)「小中学校学習指導要領上に見られる特徴とその変化」
- 第4回:「総合的な学習の時間」の源流(講・演)～総合学習につながる実践(国内編)～
スキルアップワーク(情報検索・編集)「国内に見られる総合(探究)学習」
- 第5回:「総合的な学習の時間」の源流(講・演)～総合学習につながる実践(外国編)～
スキルアップワーク(編集・報告)「諸外国における総合学習」
- 第6回:「総合的な学習の時間」の事例探究(演)～総合的な学習の時間におけるテーマ～
グループワーク(テーマ選択)「例:環境・福祉・キャリア・情報・経済・遺産・STEAM等」
- 第7回:「総合的な学習の時間」の事例探究(演)～プレゼンテーションのためのスキルとその活用～
グループワーク(ICT操作)「プレゼンテーションの準備(発表用資料作成、リハーサル等)」
- 第8回:「総合的な学習の時間」の事例探究(演)～発表形式と内容省察の観点～
プレゼンテーション(ICT活用、サークル対話:リフレクション)「発表と省察」
- 第9回:「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策(講・演)～カリキュラムマネジメント「年間指導計画・教科横断・探究プロセス」への工夫～
グループワーク(共同作成モデル)「教科横断型、探究型」「年間指導計画」
- 第10回:「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策(講・演)～教材開発の視点とそのアクセス～
スキルアップワーク(ブレイン・ストーミング、KJ法)「教材開発・教材分析」
- 第11回:「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策(講・演)～指導・評価スキルの内容と活用～
スキルアップワーク(資料分析)「指導上の留意事項、評価」
- 第12回:「総合的な学習の時間」の学習指導案(講・演)～アクティブラーニングを支援する指導案の試み～
スキルアップワーク(思考の可視化)「形式とその意図」
- 第13回:本講義のまとめ(講・演)～ラーニングストーリーの整理～
スキルアップワーク(リフレクション)「自らの学びに対する成果と課題」

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	溝邊 和成		
<p>[成績評価方法] 出席レポート提出(15%)、課題(スキルアップワーク/グループワーク/プレゼンテーション)レポート・作品等提出(65%)、授業中の態度(20%)とともに、学生による自己評価も加味して、総合的に評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 発表や提出レポート等の内容については、授業内で取り上げ、教員とともに学生同士のコメントを加えフィードバックを行うようにする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法：授業中の発表、課題レポート(スキルアップワーク)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：授業中の議論、課題レポート(グループワーク)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：授業中の報告(立案交流・実施レポート)</p> <p>[教科書(ISBN)] 小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 著者名：文部科学省 出版社：東洋館出版社 (9.78E+12) 中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 著者名：文部科学省 出版社：東山書房 (4827815615) 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編 著者名：文部科学省 出版社：学校図書 (4762505366)</p> <p>[参考書(ISBN)] 小学校学習指導要領解説 総則編 著者名：文部科学省 出版社：東洋館出版社 (4491034613) 中学校学習指導要領解説 総則編 著者名：文部科学省 出版社：東山書房 (4827815593)</p>			

科目名	道徳教育の理論と指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中 美紀子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 教育活動全体を通じて行われる道徳教育の意義を考え、道徳教育の内容を把握し、教育の現場における様々な状況を想定しながら、実践的な指導力が身につく。</p> <p>[授業概要] 本講義では『学習指導要領』に明記される道徳教育の意義と目標、道徳教育の内容、道徳教育の実践を主要な柱として扱う。児童・生徒の発達段階に応じて、道徳心を培うために選択した資料を用いて学習指導案を考案・作成する。それに基づいて模擬授業を行い、実践的能力を養う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 指定されたテキスト・資料をあらかじめ読んでおくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 第1回:オリエンテーション、道徳教育の意義 第2回:道徳教育の目標 第3回:道徳教育の内容① 自分自身に関すること、人とのかかわり 第4回:道徳教育の内容② 集団や社会とのかかわり:公平、公正、社会正義 第5回:道徳教育の内容③ 生命、自然、崇高なものとのかかわり 第6回:道徳の指導法について 第7回:学習教材・資料の分析 第8回:学習指導案の考案・作成、班に分かれて模擬授業の準備 第9回:研究授業鑑賞(DVD)、班に分かれて模擬授業の準備 第10回:模擬授業① 低学年 第11回:模擬授業② 中学年 第12回:模擬授業③ 高学年 第13回:総括および授業に関する反省と評価</p>			

科目名	道徳教育の理論と指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中 美紀子		
<p>[成績評価方法] 学習指導案と模擬授業(20%)、模擬授業観察シート提出(12%)、筆記試験(68%)。授業態度も考慮する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 模擬授業のコメントと筆記試験の解答例はmanabaで公表する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：模擬授業、筆記試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：模擬授業</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：模擬授業</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：筆記試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」 著者名：文部科学省 出版社：廣済堂あかつき (978-4-908255-35-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] 「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(購入する必要はない) 著者名：文部科学省 出版社：教育出版 (978-4-316-30084-9)</p>			

科目名	特別活動の指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	長瀬 善雄		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- 1.特別活動の目標及び各活動・学校行事の目標と内容を理解し、現在の学校教育における不登校などの現代的な諸課題の解決に繋がる特別活動の教育的な意義について考察できる。
- 2.生徒指導、教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連を理解し、教育課程における特別活動の特質をより活かすことのできる専門的な知識や素養を備えている。
- 3.教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方について理解し、諸活動における実践的な指導について高い能力を身に付けている。
- 4.特別活動における評価の考え方や指導の改善の方法に関する深い専門的な知識を修得している。
- 5.特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解し、特別活動の役割を考察できる。

[授業概要]

特別活動は様々な構成の集団から学校生活を捉え、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体である。そこでの集団活動を通して育まれる資質・能力は社会に出た後の多様な集団や人間関係の中で生かされていくこととなる。これを踏まえ、学習指導要領に示された目標及び内容について理解を図るとともに、学校教育全体における特別活動の意義について考察する。また、特別活動で目指す資質・能力については「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点を基に学級活動、児童会活動・生徒会活動、クラブ活動及び学校行事を通して培われる資質・能力の理解を図るとともに、学校生活の諸課題の解決方法としての合意形成のもつ意味について考察する。そして、学校現場における教員経験を活かして現在の学校教育における不登校などの現代的な諸課題と特別活動との関連を考察し、特別活動の指導に必要な知識や素養を身に付けることの重要性を認識できる学修にする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- 1.テキストの指定した範囲の熟読(質問事項など考えておいてください)
 - 2.毎回の学修内容の整理(不明な点があればたずねてください)
 - 3.レポート課題への取組
 - 4.学習指導案作成の取組
 - 5.模擬実践の取組と考察
- 以上について、各回、予習復習合わせて4時間程度の学修を行う。

[授業計画]

- 1.学習指導要領における特別活動の歴史的変遷
- 2.特別活動の目標から見た教育活動全体における意義
- 3.学級活動の内容と指導
- 4.人間形成と特別活動
- 5.児童会・生徒会活動、クラブ活動の内容と指導
- 6.学校行事の事例研究と家庭・地域との連携
- 7.特別活動と生徒指導、各教科、道徳等との関連
- 8.体験活動の言語化と特別活動における評価の考え方
- 9.「学級活動(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の模擬実践と考察①
 - ・学級や学校における生活上の諸課題の解決
- 10.「学級活動(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察②
 - ・食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
- 11.「学級活動(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬実践と考察③
 - ・思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応
 - ・心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
- 12.「学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」の模擬実践と考察④
 - ・社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
- 13.まとめ

科目名	特別活動の指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	長瀬 善雄		
<p>[成績評価方法] 試験(50%)、学修課題(40%)＜学習指導案、レポート、模擬実践の考察など＞、主体的な学修態度(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 1.レポートに対する評価は、manaba・KISSシステムを通じて行う。また、ペーパー提出の場合は添削して返却する。 2.学習指導案のフィードバックは、manaba・KISSシステムを通じて行う。 3.「模擬実践の考察」に対するフィードバックはmanaba・KISSシステムを通じて行う。 4.試験後、解答の解説を必要に応じて行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:グループ別課題討議、プレゼンテーション、課題レポートなど</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:グループ別課題討議、プレゼンテーション、課題レポートなど</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:学習指導案・模擬実践、課題レポート、プレゼンテーション、グループ別課題討議など、</p> <p>[教科書(ISBN)] 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編』東山書房、平成29年7月 著者名:文部科学省 出版社:東山書房 (978-4-8278-1578-8)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	特別支援教育	後期	2 単位
サブタイトル	発達障害を含む障害のある子ども等が在籍していることを前提にした授業づくり <small>（学級づくりを主眼とするため）</small>	講義	
担当者	田中 裕一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊教育から特別支援教育への変遷をふまえ、その理念と背景、歴史、思想、制度と内容、障害特性と支援などについて理解する。 ・通常の学級にも在籍している発達障害や知的障害など様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児児童生徒が、授業において学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら学び、生きる力を身につけよう、必要な知識と支援方法を理解する。 ・学校と関係諸機関が連携しながら個別の教育的ニーズに対して継続的かつ組織的な支援ができるような知識と方法を理解する。 ・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。 <p>[授業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この授業では、学校現場での教員や教育行政(教育委員会、文部科学省)等の経験のある教員が、その経験を活かして、特別支援教育やインクルーシブ教育システムの理念やその背景、歴史、仕組み等について解説する。 ・特別支援学校や特別支援学級、通級による指導、特別な支援を必要とする子どもが在籍する通常の学級において、学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。 ・グループワークなど主体的で協働的な学びの手法で授業を進める。 ・これらの授業を通じて、障害を含む学びに困難を抱える子どもの現状とその対応方法等について学び、インクルーシブな社会の基礎となる多様性を認め合うための、授業づくり、学級づくりを目指す教員となるための資質を涵養する。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に各回テーマに関する書物や資料を読み込んでおくこと。指定する場合もある、<2時間> ・授業で指定された課題について主体的、探究的に実行すること。<2時間> <p>※各回、予習復習合わせて4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回:特別支援教育の制度・理念(グループワーク)10/5 2限 第2回:視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱等さまざまな障害理解(グループワーク)10/5 3限 第3回:通常の学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒の特性(グループワーク)10/5 4限 第4回:自閉症スペクトラムの特性の理解と支援(グループワーク)11/16 1限 第5回:ADHDの特性の理解と支援(グループワーク)11/16 2限 第6回:学習障害の特性の理解と支援(グループワーク)11/16 3限 第7回:ユニバーサルデザインの授業とインクルーシブ教育システムの理解(グループワーク)11/16 4限 第8回:障害のある子どもの保護者理解(グループワーク)11/30 2限 第9回:特別支援教育コーディネーターの仕事と関係機関連携(グループワーク)11/30 3限 第10回:障害のある児童生徒の学びの場(通級指導・特別支援学級等)(グループワーク)11/30 4限 第11回:母国語や貧困等から教育的ニーズのある幼児児童生徒の理解(グループワーク)12/7 2限 第12回:個別の指導計画と個別の教育支援計画の作成と活用(グループワーク)12/7 3限 第13回:まとめ12/7 4限</p>			

科目名	特別支援教育	後期	2 単位
サブタイトル	発達障害を含む障害のある子ども等が在籍していることを前提にした授業づくり （学級づくりを室論するため）	講義	
担当者	田中 裕一		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題・発表内容(50%)、グループワーク等の討議内容(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・授業中におけるコメント等によるフィードバック ・オフィスアワーにおける対応</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『介護体験ガイドブック新フィリア』 著者名：全国特別支援教育推進連盟 出版社：ジアース教育新社 (9.78E+12)</p> <p>[参考書(ISBN)] 通常学級の発達障害児の「学び」を、どう保障するか 著者名：田中裕一 出版社：小学館 (978-4827815801) 小・中学校でできる「合理的配慮」のための授業アイデア集 著者名：田中裕一／監修、全国特別支援学級設置学校長協会／編著 出版社：東洋館出版社 (9.78E+12) 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 著者名：文部科学省 出版社：東山書房 (978-4827815801) 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編 著者名：文部科学省 出版社：東洋館出版社 (978-4491036397)</p>			

P19020040 [GSH1-057]

【教職】[1栄2看]*後期集中

科目名	養護実習A	後期	4 単位
サブタイトル		実習	
担当者	細川 愛美、宮本 晃郎、宮垣 覚		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 実習校の教育環境や状況を理解し、学校組織の実際と、その中での学校保健の位置づけを学び、養護教諭の役割について理解する。実際に子供と対応し、養護教諭としての児童生徒への適切な接し方を身につける。</p> <p>[授業概要] 養護実習Aでは、大学で学んだ理論・技術を実習校での実際の体験を通じて応用し、さらに深く理解することを目的とする。各学校での管理職をはじめ、校務担当教員の講話、学級担任、教科担任、養護教諭の指導を受けて、学校教育や、児童生徒理解、児童生徒の健康課題について学び、それらに関わる養護教諭の役割について理解する。観察実習、保健指導、救急処置等を行い、また、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。事前指導では教育実習の意義、実習記録のとり方、教育課題への対応の仕方などを学ぶ。本科目は学校現場での教員経験がある者が指導を行い、学校現場の現状に即した実践力を身につけられることを目指すものである。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 過去の授業内容を復習しておく。学校現場に出る上では、一社会人として、また一教員としての自覚を持ち、誠実な態度で実習に臨むこと。 各回、予習復習合わせて2時間程度</p> <p>[授業計画] 事前指導(大学にて) 教育実習の目的と意義、実習生としての心構え等</p> <p>教育実習(各実習校にて) 1.管理職の講話、校務担当教員の講話と指導 2.学級担任、教科担任の指導 3.保健室の整備および備品の管理について 4.教室等における学習場面の参観および児童生徒観察の実際 5.保健室来室者への対応と救急処置の実際 6.学校安全管理と環境衛生管理の実際 7.学校救急体制の実際 8.児童生徒の健康管理 9.慢性疾患や障害を抱える児童生徒への配慮 10.教職員の健康管理の実際 11.学校行事、児童生徒保健委員会活動 12.健康教育の実際 等</p>			

科目名	養護実習A	後期	4 単位
サブタイトル		実習	
担当者	細川 愛美、宮本 晃郎、宮垣 覚		
<p>[成績評価方法] 実習の成績評価票に基いた実習校の指導者の評価(70%) 実習記録の内容等(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 実習記録等の評価については希望者に開示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 実習校の評価、実習記録の内容等</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範 やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 実習校の評価、実習記録の内容等</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿 勢 成績評価方法: 実習校の評価、実習記録の内容等</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して 行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 実習校の評価、実習記録の内容等</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ 人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 実習校の評価、実習記録の内容等</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に 伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 実習校の評価、実習記録の内容等</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 実習校の評価、実習記録の内容等</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決 方法を見出せる能力 成績評価方法: 実習校の評価、実習記録の内容等</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実 行する能力 成績評価方法: 実習校の評価、実習記録の内容等</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	養護実習指導	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	細川 愛美、宮垣 覚		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

養護教育実習生として必要な心得や行動、救急処置や保健指導の実際、保健室経営に携わる素地を身につけ、養護教諭としての責務を理解する。また、それぞれの教育実習に臨む前に自己の課題を見出し、より効果的な実習ができるように準備をする。

[授業概要]

「養護実習」参加の前提として、事前の履修が課せられている。

本講義では、教育職員免許法の趣旨に基づき、これまでに学習した関係科目の内容の総合的理解を図り、教育実習生として必要な心得や行動を学ぶ。それとともに、保健指導や保健管理の実際、保健室経営などの養護教諭の職務に携わる素地を身につける。また、模擬授業の実施により、学習指導案の書き方や保健指導の方法等も整理する。合わせて、養護教諭の職務の中核をなす救急処置について演習を行い、学校現場で即対応できる技術を身につける。

本科目は、学校現場での教員経験を有する者が、これらの養護教諭の多様な職務に関して、教育活動の一環としてその機能を果たすために、どのように職務をとらえ、展開するのかを、学校での実際の活動場面に即して指導する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

これまでに学んだ関連分野の内容について、復習して理解を深めておく。

各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]

- 1.実習の目的・意義、および実習内容・準備について(細川 愛美)(4月17日水曜日)5限
- 2.養護実習の心得・目標、および学級経営・授業について(宮垣 覚)(7月30日火曜日)1限
- 3.生徒指導・特別支援教育・人権教育について(宮垣 覚)(7月30日火曜日)2限
- 4.養護教諭の職務と役割、求められる養護教諭像を考える(細川 愛美)(7月30日火曜日)3限
- 5.保健指導の実際、指導案の書き方、および実習記録の書き方について(細川 愛美)(7月31日水曜日)1限
- 6.保健指導案に沿って模擬授業を行う。(細川 愛美) (7月31日水曜日)2限
- 7.学校における安全管理と養護教諭の役割、緊急時対応について(細川 愛美)(7月31日水曜日)3限
- 8.人形を使い、演習形式で心肺蘇生法を学ぶ その1(細川 愛美)(8月2日金曜日)1限 F529
- 9.人形を使い、演習形式で心肺蘇生法を学ぶ その2(細川 愛美)(8月2日金曜日)2限 F529
- 10.学校現場でよく見られるけがや病気の対応について学ぶ。(細川 愛美) (8月2日金曜日)3限 F529
- 11.けがの手当て、救急処置について学ぶ(細川 愛美)(8月2日金曜日)4限 F529
- 12.実習生の実習報告(宮垣 覚)(11月30日土曜日)3限
- 13.今後の課題・レポート作成(宮垣 覚)(11月30日土曜日)4限

科目名	養護実習指導	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	細川 愛美、宮垣 寛		
<p>[成績評価方法] 授業への取り組み姿勢(授業態度、発表・活動内容等) 40% 授業内課題、レポート等 60%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートの評価は希望者に開示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み姿勢、レポートの内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範 やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み姿勢、レポートの内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して 行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み姿勢、レポートの内容</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に 伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業への取り組み姿勢、レポートの内容</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(適宜指示する)</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜指示する</p>			